

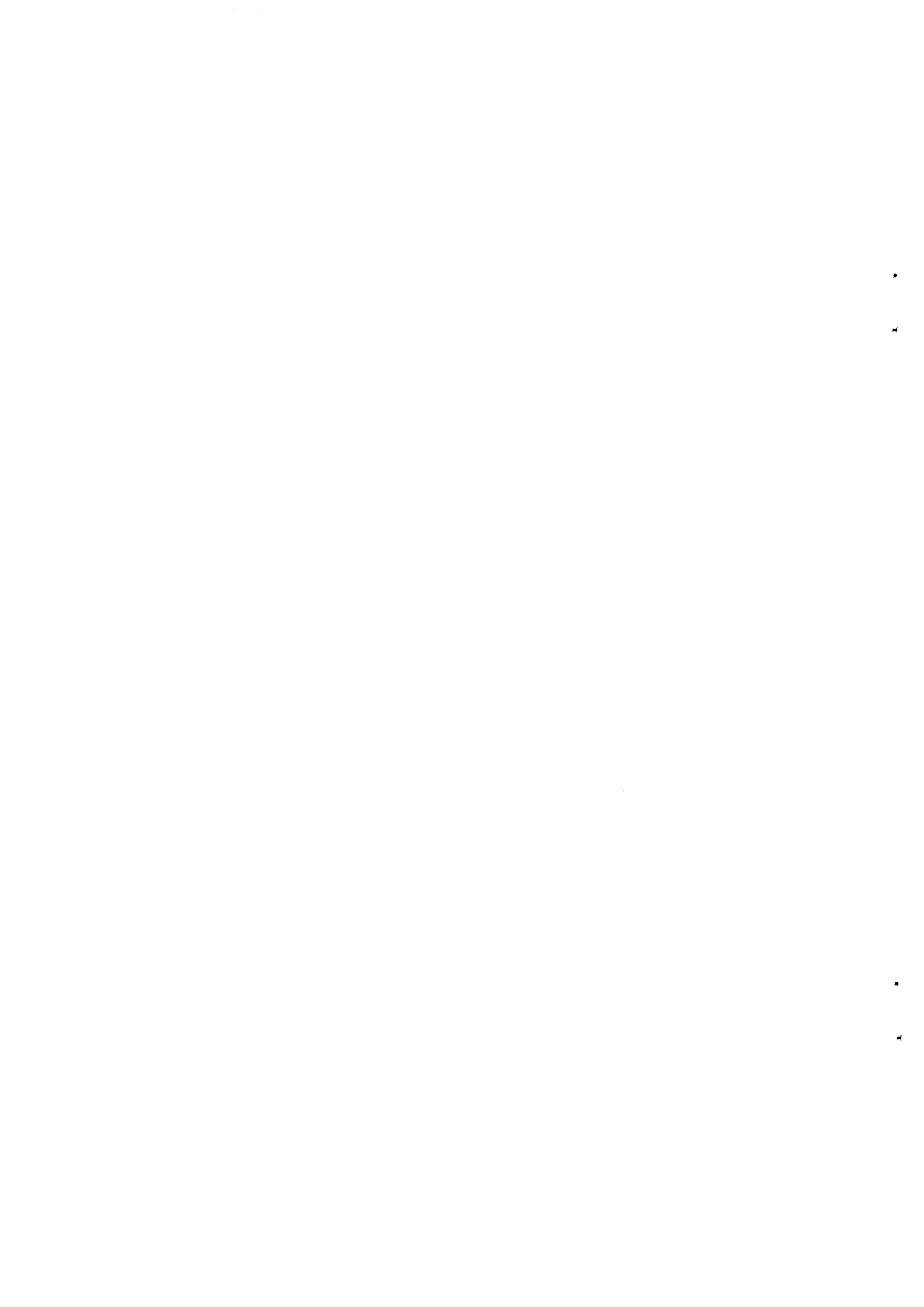
平成 27 年 度

事業報告書

祥風会	法人本部
研修室	介護職員初任者研修事業
飛羽ノ園	特別養護老人ホーム デイサービスセンター指定通所介護事業所 指定居宅介護支援事業所 土浦市在宅介護支援センター
憩いの里	特別養護老人ホーム デイサービスセンター指定通所介護事業所 指定居宅介護支援事業所 土浦市在宅介護支援センター
飛羽ノ園	デイサービスながみね 土浦市ふれあいセンターながみね

社会福祉法人祥風会 本部
〒300-0823 茨城県土浦市小松1-3-33 ハトリビル6F
TEL 029-896-3520 FAX029-896-3522

祥風会	理事長	羽鳥	圭一
法人本部	事務長	村山	直希
研修室	室長	河田	輝子
飛羽ノ園	施設長	和田	宏一
憩いの里	施設長	齋藤	美智子
ながみね	管理者	山本	賢太郎



目次

祥風会本部 事業報告書	P. 1～11
介護職員初任者研修事業報告書	P. 12～13

ピンク色

特別養護老人ホーム 飛羽ノ園事業報告書	P. 1～67
飛羽ノ園デイサービスセンター 事業報告書	P. 68～81
飛羽ノ園指定居宅介護支援事業所 事業報告書	P. 82～90
土浦市在宅介護支援センター 事業報告書	P. 91～95

緑色

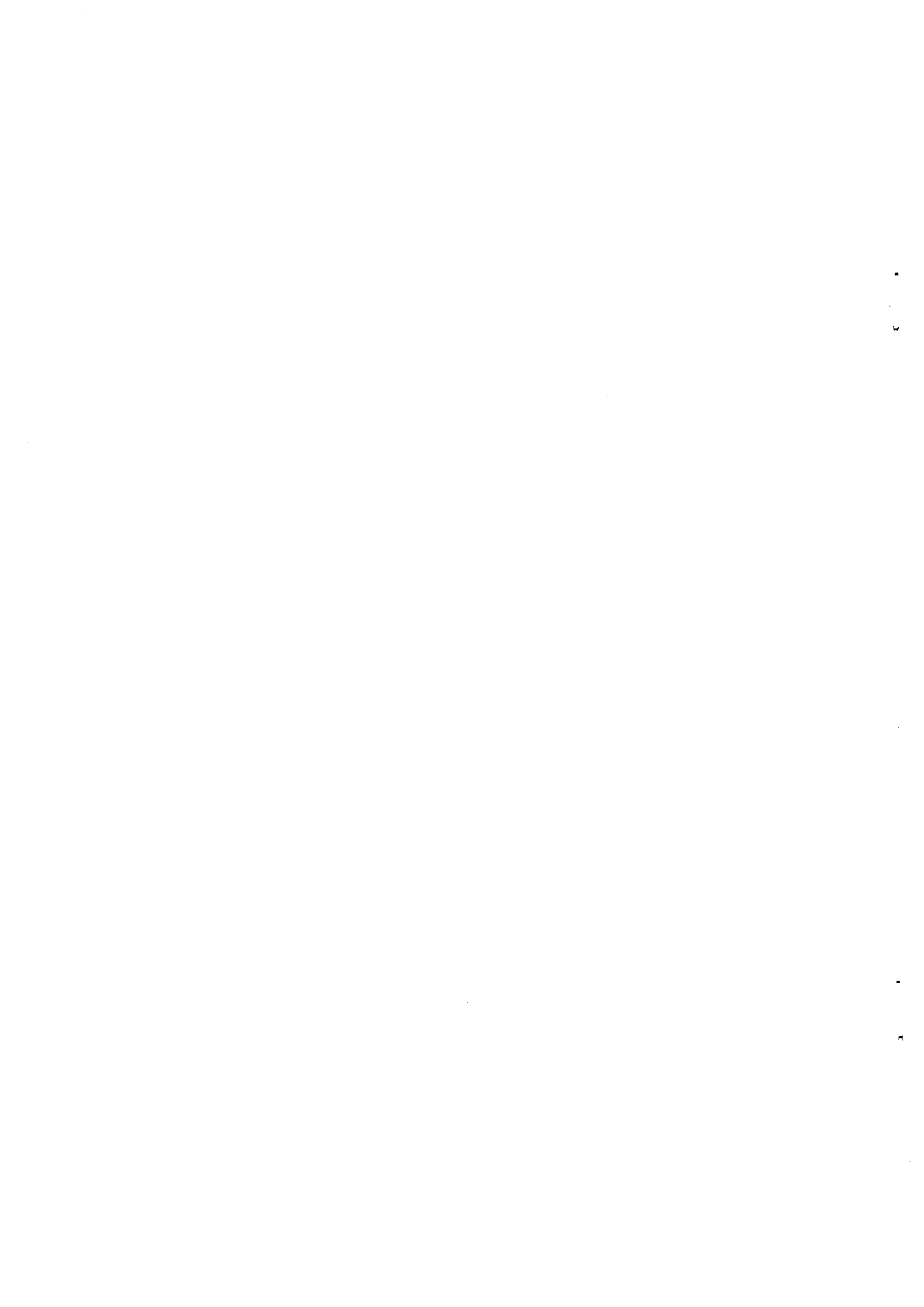
特別養護老人ホーム 憩いの里事業報告書	P. 1～20
デイサービス憩いの里 事業報告書	P. 21～30
支援センター憩いの里 事業報告書	P. 31
土浦市在宅介護支援センター 事業報告書	P. 32
憩いの里家族会会議録	P. 33～39

黄色

飛羽ノ園デイサービスながみね 事業報告書	P. 1～18
----------------------	---------

青色

土浦市ふれあいセンターながみね 事業報告書	P. 1～8
-----------------------	--------



平成27年度 社会福祉法人祥風会 法人本部経営報告

1. 法人事業活動状況

①施設関連

「飛羽ノ園」は施設長就任1年目で不慣れな中での運営であったが大きな事故もなく、全館床貼り工事の実施、デイサービス浴室改修工事に向けた計画を順調に進めることができた。

「憩いの里」は厨房業務委託開始（エームサービス）し、委託業者との連携を密にお願いし食事提供に努めた。本館は10年が経過し、電気系統（厨房防水コンセント、エアコンリモコン等）の修繕が目立った。その他、居室内装工事（和室を洋室に改修）、大浴場の鏡、浴室ヒーター交換工事、ばらユニット浴室改修工事（メトスの導入）、防犯カメラ増設を実施した。

「ながみね」は「ふれあいセンター」市内登録者10,000人達成イベントを開催し、利用者の新規獲得に努めた。平成28年度指定更新に伴い、業者に委託していたふれあいセンター事務員を祥風会職員の割合を増やすために採用し、デイサービスとの連携強化が図れる準備を進めた。機械室の配管からの水漏れ工事を広範囲で行い安心して運営できるようにし、施設利用者が継続して利用できるよう努めた。デイサービスは介護記録システムの導入準備を進め、スムーズな運用を心掛けた。

②ITの活用

介護記録システム（飛羽ノ園・憩いの里・ながみねはH28年度実施予定）・マイナンバー収集システム・総合危機管理システム（NETウィルス対策、VPN構築）を導入し、記録の電子化による職員の負担軽減やセキュリティ強化や各施設のデータの連携強化を進めた。H28年度の各施設ひかり電話への移行に向け、関連業者との打ち合わせを開始した。

③経営の透明性の確保

ホームページ上に各施設の行事風景のスムーズな更新や法人としての取り組みを発信することで求職者への施設選定の情報収集の一つとなることを心掛けると共に現況報告書、資金収支計算書、事業活動計算書、貸借対照表を掲載することで社会福祉法人への正しい理解を得られるよう積極的な情報発信をした。

④人材確保・育成・管理

新卒者採用に向けたNET掲載や新聞折込、フリーペーパー、ポスティングなどの多様な媒体の活用により人材確保に努めたがスムーズな採用が困難であり、人材紹介業者に頼らざるを得ない状況が目立ってきた。研修室を設置し、介護職員初任者研修の実施、内部研修を充実させることができた。事業拡大を視野に入れ、職員の異動によるスキルアップに努めた。

【各種規程作成、変更】

マイナンバー制度施行に伴い、特定個人情報等取扱規程・マニュアルの整備するとともに既存の各種規程を実態に即した内容に整備した。

【総括】

平成 27 年度の介護報酬改定では、大幅なマイナス改定で収入は減少したが、支出を抑えることを念頭に置き、大幅な収益減をすることなく経営できたと考える。

各施設の修繕は増加しているが、施設利用者に関わる部分であるので必要不可欠な経費支出であり、今後も綿密な計画の上で必要な箇所の修繕に取り組んでいく。

収入増の手段としては加算の算定が必要となり、そのためには有資格者や基準以上の人材が必要となる。しかし、求人を出すだけでは有資格者が来ないのが現状であり、現職員が「この施設で働くことができて良かった」と思えるような職場環境に向けた取り組みが必要である。

また、入居待機者の減少や他法人のデイサービス事業所の進出により利用者数が減少している。今までのように待っている経営では非常に厳しい施設運営を強いられることとなるのは明白であり、関連機関への積極的な営業や介護の質の向上、施設取組の周知が必要不可欠である。

平成 28 年度は社会福祉法が改正施行され、地域における公益的な取り組みの実施、財務規律の強化、事業運営の透明性の向上や経営組織のガバナンスの強化等が求められ、社会福祉法人としてのターニングポイントの年である。社会福祉法人としての使命を全うし、地域からも必要な組織として信頼を得ることで今後の社会福祉法人としての道が開かれると考える。

2. 事業内容

* 祥風会設立認可・・・平成元年 6 月 26 日

* 創立登記・・・平成元年 6 月 27 日

* 理事長 羽鳥圭一 就任年月日・・・平成 21 年 8 月 10 日

* 土浦市小松 1-3-33 ハトリビル 6 階 (平成 24 年 12 月に移転)

介護職員初任者研修事業申請 (平成 26 年 1 月 31 日)

平成 26 年 2 月 14 日指定 (指定番号 45)

※詳細は介護職員初任者研修事業報告書に記載

事業所名		所在地	事業開始年月日	介護保険指定日	事業所番号
飛羽ノ園	特別養護老人ホーム飛羽ノ園	茨城県 土浦市小松 3-18-18	平成 3 年 5 月 31 日	平成 12 年 3 月 10 日	0870300241
	特別養護老人ホーム飛羽ノ園・とわ		平成 26 年 4 月 1 日	平成 26 年 4 月 1 日	0890300106
	短期入所生活介護支援事業所		平成 3 年 5 月 31 日	平成 12 年 3 月 10 日	0870300241
	飛羽ノ園デイサービス		平成 3 年 5 月 31 日	平成 12 年 3 月 10 日	0870300431
	土浦市在宅介護支援センター		平成 6 年 8 月 17 日		
	飛羽ノ園居宅介護支援事業所		平成 11 年 11 月 30 日	平成 11 年 11 月 30 日	0870300175
ながみね (指定管理)	飛羽ノ園デイサービスながみね	茨城県 土浦中村西根 2078-1	平成 15 年 6 月 1 日	平成 15 年 5 月 29 日	0870300811
	土浦市ふれあいセンター		平成 23 年 4 月 1 日		
憩いの里	特別養護老人ホーム憩いの里	茨城県 土浦市高岡 2315	平成 17 年 9 月 25 日 平成 26 年 4 月 1 日 (増床 20 床)	平成 17 年 9 月 25 日	0873900765
	短期入所生活介護支援事業所		平成 17 年 9 月 25 日	平成 17 年 9 月 25 日	0873900765
	デイサービス憩いの里		平成 17 年 9 月 25 日	平成 17 年 9 月 25 日	0873900740
	土浦市在宅介護支援センター		平成 19 年 4 月 1 日		
	支援センター憩いの里 (居宅介護支援事業所)		平成 17 年 9 月 25 日	平成 17 年 9 月 25 日	0873900757

3. 評議員会・理事会開催状況

第1回評議員会・理事会 平成27年5月21日(木) 法人本部にて 18:30~20:00	
評議員会(出席者10名)	理事会(出席者7名)
第1号議案 評議員の改選について(鈴木美緒氏の退任に伴い物江学氏が選任)	
第2回理事会 平成27年5月21日(木) 法人本部にて 20:00~20:45	
理事会(出席者7名)	
第1号議案 平成26年度事業報告書(案)	
第2号議案 平成26年度決算報告書(案)	
第3号議案 職員給与規程の変更について(処遇改善加算関連)	
第2回評議員会・第3回理事会 平成27年7月23日(木) 法人本部にて 18:30~19:40	
評議員会(出席者14名)	理事会(出席者8名)
第1号議案 理事・監事任期満了に伴う改選について	
第2号議案 運転資金借入極度設定について	
第3号議案 職員給与規程の変更について(扶養手当・通勤手当関連)	
第4号議案 入居者預り金等管理規程の作成について	
第3回評議員会・第4回理事会 平成27年12月17日(木) マウト 筑波にて 18:00~18:30	
評議員会(出席者12名)	理事会(出席者8名)
第1号議案 特定個人情報等取扱規程(案)、職員就業規則新旧対照表について(マイナンバー関連)	
第2号議案 積立金積立について	
第4回評議員会・第5回理事会 平成28年3月24日(木) 法人本部にて 18:30~21:30	
評議員会(出席者13名)	理事会(出席者8名)
第1号議案 平成27年度 第1回補正予算書(案)	
第2号議案 平成28年度 事業計画書(案)	
第3号議案 平成28年度 当初予算書(案)	
第4号議案 定款変更について(憩いの里の土地面積変更)	
第5号議案 各種規程の変更について(忌引き、オンコール手当関連)	
第6号議案 飛羽ノ園外壁塗装・デイサービス浴室改修について	
第7号議案 6月1日付人事異動について(ながみね管理者、憩いの里副施設長)	

理事(8名)

羽鳥 圭一、羽鳥 栄子、岡田 司、増山 栄、今高 國夫、君山 毅、高橋 敏夫、河田 輝子

評議員(17名)

羽鳥 圭一、羽鳥 栄子、岡田 司、増山 栄、今高 國夫、君山 毅、高橋 敏夫、宮崎 三弘
 島田 源、今高 博子、竹若 栄吾郎、春原 豊、廣瀬 弘、桐島 浩子、説田 賢哉、物江 学
 高野 久

4. 監事監査の実施状況

平成 27 年 5 月 15 日（金）法人本部にて

理事の業務執行状況・・・・・・・・適正である

法人の財産管理状況・・・・・・・・適正である

法人・施設の業務執行状況・・・・・・・・適正である

法人・施設の会計状況・・・・・・・・適正である

監事（2名）

仲田 秀治、鈴木 茂輝

5. 職員状況

●在職・入職・退職者数一覧● ※在職人数は月末時点

「飛羽ノ園」は特養の正職員の退職が多く、「憩いの里」は厨房委託に伴い特養の職員在職数が前年度より減少した。在職人数が多いこともあり、退職、入職者数は両施設とも特養が多くなっている。

退職の理由としては様々であるが人間関係等の職場環境によるもので退職することは募集活動にも影響が出てくるので相談を受けた際の適切な対応が必須であると感じた。

①法人本部

(1)本部

単位:人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計	離職率
在職	正職	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4		
	パート	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
入職	正職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	パート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
退職	正職	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	20%
	パート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%

②飛羽ノ園

(1)飛羽ノ園特養 単位:人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計	離職率
在職	正職	30	27	28	28	27	26	26	23	23	23	23	23		
	パート	5	6	6	6	6	8	8	8	8	7	8	8		
入職	正職	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	パート	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	4	
退職	正職	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5	15%
	パート	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	20%

※8月にパートから正職へ1名異動
 ※9月に正職からパートへ1名異動
 ※11月にとわへ2名異動

※10月に憩い特養から2名異動
 ※10月に憩い特養へ2名異動
 ※11月に憩い特養へ1名異動

(2)飛羽ノ園とわ 単位:人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計	離職率
在職	正職	8	8	8	8	9	8	8	10	10	11	10	10		
	パート	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
入職	正職	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	
	パート	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
退職	正職	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	13%
	パート	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	33%

※11月に特養から2名異動
 ※2月にデイサービスへ1名異動

(3)飛羽ノ園デイサービス 単位:人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計	離職率
在職	正職	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	7	7	/	/
	パート	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2		
入職	正職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	/
	パート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
退職	正職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
	パート	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		
														1	33%

※2月にとわから1名異動

(4)飛羽ノ園支援 単位:人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計	離職率
在職	正職	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	/	/
	パート	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
入職	正職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	/
	パート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
退職	正職	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	25%
	パート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
														0	0%

③憩いの里

(1)憩いの里特養 単位:人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計	離職率
在職	正職	45	46	47	47	44	45	45	45	46	46	46	47	/	/
	パート	8	8	8	9	8	11	12	10	10	9	8	10		
入職	正職	0	1	1	0	0	1	1	1	2	0	1	1	9	/
	パート	0	0	0	1	0	3	0	1	0	0	0	2		
退職	正職	0	0	0	2	0	0	1	1	1	0	0	1	6	13%
	パート	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	2		
														5	63%

※4月に正職からパートへ2名異動

※1月にパートから正職へ異動

※4月にデイから1名異動

※2月にデイへ2名異動

※10月に正職からパートへ1名異動

※2月にパートから正職へ異動

(2)憩いの里デイサービス 単位:人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計	離職率
在職	正職	8	9	9	10	10	10	10	10	10	8	10	10	/	/
	パート	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
入職	正職	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	/
	パート	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
退職	正職	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	25%
	パート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
														0	0%

※4月にパートから正職へ1名異動

※2月に特養から2名異動

※4月に特養へ1名異動

※7月にパートから正職へ1名異動

(3)憩いの里支援 単位:人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計	離職率
在職	正職	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	/	/
	パート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
入職	正職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	/
	パート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
退職	正職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
	パート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
														0	0%

④ながみね

(1)デイサービスながみね 単位:人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計	離職率
在職	正職	8	8	8	8	8	8	7	8	8	8	8	8		
	パート	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5		
入職	正職	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
	パート	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
退職	正職	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	25%
	パート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%

※10月に憩い特養から1名異動

※10月に憩い特養へ1名異動

(2)ふれあいセンターながみね 単位:人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計	離職率
在職	正職	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
	パート	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
入職	正職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	パート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
退職	正職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
	パート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%

●採用・不採用者数一覧●

年度内退職者数と比較すると採用者数はほぼ同数で、適正な人員配置を常に意識し、介護の質とのバランス、心身の負担の軽減等を考慮した採用を心掛けた。

採用の意思があってもいくつかの施設を同時期に面接している求職者も多くなり、施設としての特色を出したり、給与面の見直しが必要であると感じた。

<H27年度採用・不採用結果一覧> 単位:人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
面接回数	6	3	2	2	4	4	1	4	2	5	4	5	42
採用数	3	2	0	1	4	3	1	4	1	4	2	3	28
不採用数	3	1	2	1	0	1	0	0	1	1	2	2	14
辞退数	4	3	1	0	2	1	1	1	2	2	1	0	18
合計	10	6	3	2	6	5	2	5	4	7	5	5	60

●募集媒体一覧●

媒体名	採用	不採用	辞退	合計
ハローワーク	5	4	6	15
新聞折り込み	1	8	4	13
施設問い合わせ	4	0	3	7
祥風会HP以外のネット申込	10	2	3	15
祥風会HP	2	0	2	4
人材紹介業者	2	0	0	2
現職員紹介	3	0	0	3
フリーペーパー	1	0	0	1
合計	28	14	18	60

6. 研修・講習・交流会状況

①内部研修

日・曜日 開催時間	研修名 対象者	参加人数	備考
4月8日(水) 10:00～15:00	祥風会概要・職員として 新人・中途採用者	13	土浦市出前講座 各相談員・本部
5月19日(火) 13:00～15:00	専門員としてあるべき姿 介護支援専門員	10	ケアリング大沼管理者 (外部講師)
6月2日(火) 10:00～12:00	新人フォローアップ 新人・中途採用者	10	ファシリテーター河田
6月16日(火) 10:00～12:00	ニコニコ献立 栄養士	4	ファシリテーター河田
7月10日(火) 13:00～15:00	地域包括ケアと看護 看護師	5	講義河田・村山
10月16日(金) 13:00～15:00	能力・やりがい コーチングスキル 中堅職員	15	介護労働安定センター (外部講師)
11月20日(金) 13:00～15:00	振り返り ストレスマネジメント 新人・中途採用者	10	講義河田 アドバイザー小松澤
12月22日(火) 11:00～13:00	ニコニコ献立 栄養士	4	ファシリテーター河田 ふれあいセンターながみね見学
1月19日(火) 13:00～15:00	施設間連携・書式変更 看護師	7	憩いの里・医務室見学 ファシリテーター河田
1月20日(水) 10:00～12:00	事業所間意見交換 介護支援専門員	9	ファシリテーター河田
1月22日(金) 10:00～12:00	書式・業務の統一化 事務職員	6	ファシリテーター村山
2月23日(火) 13:00～15:00	チームケアを高めるには? 全職員	13	介護労働安定センター (外部講師)
研修回数 12回		延べ参加者数 106名	

平成 27 年度は、研修室設置初年度として関係職員の多大な協力を得た。新人職員が組織の中で自分のポジションを認識して楽しく働いていけるように工夫しながら研修を企画した。

法人内職員の顔のみえる関係作りから風通しの良い職場環境を整え利用者にところの通ったサービスを提供していくことに繋がっていかねばと願いを込めた。

研修修了後のアンケートは、毎回実施した。結果、改善出来る点は、施設長会議等に報告して解決を図った。出来ない点については、話し合いを重ねている。また、アンケートの中では、

- ・ 場所が近くて良い。
- ・ 時間が短いので集中できる。
- ・ 改めて学ぶことで振り返りができた。
- ・ 根拠が理解できた。
- ・ 知識よりも事業所ごとの意見交換の時間をもっと取ってくれればよいと感じた。

等今後も参加したいとの意見が多かった。

職員が楽しく安心して働ける職場づくりに貢献する研修室として取り組んだ。

②外部研修

年月日	研修名	場所	参加人数
平成27年6月25日	茨城県企業防衛対策協議会	L'AUBE	1
平成27年7月14日	茨城県社会福祉経営者協会	茨城県総合福祉会館	2
平成27年8月24日	第16回土浦市内理事長会	L'AUBE	1
平成27年9月1日	きさらぎ会	プレジデントホテル水戸	1
平成27年10月8日	安全運転管理者講習	ワークヒル	1
平成27年11月5日	社会福祉施設職員等退職手当共済制度実務研修会	茨城県総合福祉会館	2
平成27年11月27日	特別養護老人ホーム経営セミナー	茨城県総合福祉会館	1
平成27年11月25日	マイナンバー制度に関する研修	みのーれ	1
平成27年12月4日	地域で向き合う認知症	生涯学習センター総和 とねミドリ館	2
平成28年1月29日	平成27年度第2回土浦地区研修会	土浦訪問看護ステーション2階	1
平成28年2月1日	茨城県企業防衛対策協議会	L'AUBE	1
平成28年2月11日	生活支援技術演習講師養成研修会	戸山サンライズ	1
平成28年2月26日	第17回土浦市内理事長会	L'AUBE	2
平成28年2月26日	障害者雇用納付金制度事務説明会	ワークヒル	2
平成28年2月22日	求人事業所セミナー	茨城県総合福祉会館	2
合計			21

平成27年度 社会福祉法人祥風会 介護職員初任者研修 事業報告書

1 事業活動方針

少子高齢化の進展や世帯構造の変化にとり、介護人材の安定的な確保と資質の向上が急務となっている。また、在宅生活を継続するためにも家族介護力の強化も重要である。

事業方針にのっとり研修室としての役割に取り組めた。社会的に介護現場の様々な事件がメディアに取りあげられる昨今、技術や知識を修得し、介護現場に出た本人達が、悩んだり、迷った時には、再度、テキストを振り返ったり、上司や周りの仲間と「なぜ?」「どうして?」を追及して活動していくことの重要性を伝えた。

2 事業内容

在宅・施設を問わず、介護の業務に従事しようとする者を対象とし、介護をするにあたって、最低限必要な知識や技術を修得するための研修を行う。

フィリピン出身の受講生がいた。テキストや試験問題にルビをふったり、フォローアップの時間を調整した。カリキュラム通りにすすめたが、本人の時間調整が出来ず、補講で対応した。第1回の130時間の通学制から第2回目以降90時間の通信制を実施した。

3 研修期間 ・ 受講者数 ・ 修了者数

- ・ 第1回 平成27年 5月13日～平成27年 7月26日 水・木コース 全22日間
- ・ 第2回 平成27年 7月11日～平成27年 8月30日 土・日コース 全11日間
- ・ 第3回 平成27年 9月26日～平成27年12月19日 土コース 全12日間
- ・ 第4回 平成27年11月26日～平成28年 2月25日 木コース 全12日間

開催	受講者〈名〉	修了試験合格者〈名〉
第1回	13	12
第2回	4	4
第3回	12	10
第4回	9	9
合計	38	35

※35名の修了者の内法人に就労したのは5名である。

4 実施場所

- ・社会福祉法人祥風会本部研修室（講義・演習）茨城県土浦市小松 1-3-33 ハトリビル 6F
- ・特別養護老人ホーム飛羽ノ園（実習施設）茨城県土浦市小松 3-18-18
- ・特別養護老人ホーム憩いの里（実習施設）茨城県土浦市高岡 2315
- ・デイサービスながみね（実習施設）茨城県土浦市中村西根 2078-1

施設実習（単位：人）

	第1回	第2回	第3回	第4回
飛羽ノ園	5	0	0	1
憩いの里	1	0	0	0
ながみね	1	0	0	0
合計	7	0	0	1

5 講師人員

講師担当として科目に応じ介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員、看護師からの協力を得た。講師の異動や退職があり調整に苦慮した時期があった。担当講師一覧表通りに実施できたが、課題として講師増員を考慮する。

6 対象者

- ・心身ともに健康で介護福祉サービスに従事することを希望する、及び既に従事している人。
- ・開講日時点において義務教育を修了している人（未成年者は、保護者の同意が必要）
- ・介護の知識・技術を学び、家庭や地域活動に活用することを希望する人。
- ・近隣の福祉現場で無資格で働いている人、これから就労しようとしている人（特養なごみ・やすらぎの園・ときわぎ・もりの家サテライト・築水会・コミュニティガーデンつくば・山手医院・ケアパートナーつくば・静霞園・みなみつくば会）又、通信制高校在学中の2名は、今後、福祉の道に進みたいと話していた。60代の受講生は、これから介護を受ける側になる自分の為と両親の介護や仕事として頑張りたい等様々な思いを抱いていた。

・年齢別修了生

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代
修了生(名)	7	9	6	8	2	3
平均年齢(才)	34.74					

労働人口が減少してくる中で介護分野への人材確保が難題となっている。ロボットや人工知能の発展も目覚ましい。それらを現場でどの様に活用して行くか迷った時に活躍できる、基本の知識、技術の根拠を振り返り行動するぬくもりのある修了生を送り出すことが出来たのではないかと考える。



平成 27 年度 特別養護老人ホーム飛羽ノ園事業報告書
介護老人福祉施設・短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護
ユニット型サテライト型地域密着型介護施設（とわ）

1. 運営

本年度は介護保険制度・報酬改定を受け、これまで以上に「介護力の向上」が求められることを念頭に置き、部署ごとの取り組みに力を入れた。

従来型では「おむつゼロ2年次」ということで、外部研修「介護力向上講習会」に参加し前年度からの取り組みを継続した。根拠が理解できていることで、利用者の ADL の向上が偶然ではなく自分達のケアによるものであると自信を持つことが出来た事例もあったが、職員体制が不安定になってしまったり感染症への対応を優先する必要があったことで、常に意識高く「おむつゼロ」に取り組むことが出来ない状況も生まれてしまった。しかし、そういった状況が生まれたことで、そもそもケアは受ける側の利用者の状況によって変わっていくものであるということを再認識出来たともいえる。必要なのは、学んだ知識を臨機応変に生かしていく柔軟性・対応力であり、その気づきは今後のケアに活かしていきたいと考えている。感染症（皮膚感染症、インフルエンザ）に対しては、多職種間で協力し、一致団結してケアに当たることが出来た。多職種間でそれぞれの専門的意見を出し合い、話し合い、より良い対応に繋げることが出来た事は組織力がアップしたと捉えても良いのではないだろうか。

ユニット（とわ）では、以前からの自律支援をさらにきめ細かく行える様に職員1人1人の成長を促した。個人の成長度に合わせた指導をして行く事で、それぞれが介護職として自覚を持ち、利用者に関わることが出来る様になった。今後もさらなる成長を期待したい。

本年度は、制度改正により社会福祉法人・特別養護老人ホームとしての在り方が問われるようになり、施設としてどう地域に貢献していけるかを考えた1年でもあった。介護施設として求められるニーズに確実に応えていくことの他に、主体的に地域に発信出来る何かを見つけないかと考え、前年度から始まった「ふらっと HIWA」での活動内容を深め、毎月の定期開催に加え、ピアカウンセリングの機会を設けた。参加者からの反応も良く、今後継続して開催していくことで少しずつ存在意義を見出せる手ごたえを感じている。専門性を伸ばしていく為に本年度の目標のひとつに定めた「認知症介護の実践・看取りケア介護の充実・医療ニーズへの対応等の計画的な研修」は実施が不十分な為、来年度への課題として引き続き取り組みたい。

2. 事業実績

(1) 利用者推移・実数

【入退所数】

月	入所		退所	
	従来	ユニット	従来	ユニット
4	2	0	2	0
5	0	0	0	0
6	1	0	1	0
7	1	2	1	2
8	1	0	1	0
9	2	2	2	3
10	1	1	3	0
11	3	0	1	1
12	1	1	1	0
1	0	0	1	0
2	4	0	3	0
3	1	0	1	0
計	17	6	17	6
合算数	23		23	
月平均	1.9		1.9	
前年度合算数	24		24	

【入所・退所経路】

入所経路	従来型	ユニット	退所経路	従来型	ユニット
居宅	12	4	永眠	7	3
病院	4	1	病院	9	3
老健	1	1	老健	1	0
GH	0	0	居宅	0	0
計	17	6	計	17	6

【要介護度別】※平成 27 年 3 月 31 日現在

要介護度	性別				人数計		前年度
	男		女		従来	とわ	従来+とわ
	従来	とわ	従来	とわ			
1	0	1	2	2	2	3	5
2	5	0	4	2	9	2	11
3	7	0	10	6	17	6	23
4	2	0	15	8	17	8	25
5	3	0	2	1	5	1	6
合計	17	1	33	19	50	20	70
平均要介護度	3.2	1	3.3	3.2	3.3	3.1	3.2

【入所者要介護度別利用状況】

①従来

月	要介護度	1	2	3	4	5	合計
4	実人数	5	12	15	16	4	52
	延人数	135	360	437	443	103	1,478
5	実人数	4	11	15	15	5	50
	延人数	124	340	465	453	155	1,537
6	実人数	4	10	15	16	5	50
	延人数	120	300	450	459	150	1,479
7	実人数	4	10	15	16	6	51
	延人数	124	310	465	451	186	1,536
8	実人数	3	10	17	15	6	51
	延人数	93	310	500	465	164	1,532
9	実人数	3	10	16	17	5	51
	延人数	90	300	471	478	150	1,489
10	実人数	3	9	17	16	6	51
	延人数	93	279	527	462	148	1,509
11	実人数	3	9	17	16	5	50
	延人数	90	270	510	457	122	1,449
12	実人数	3	10	15	16	6	50
	延人数	93	308	463	496	166	1,526
1	実人数	3	10	16	16	5	50
	延人数	93	307	496	472	155	1,523

2	実人数	3	9	18	17	5	52
	延人数	87	256	513	420	145	1,421
3	実人数	2	10	17	17	5	51
	延人数	62	295	514	481	138	1,490
合計	実人数	40	120	193	193	63	609
	延人数	1,204	3,635	5,811	5,537	1,782	17,969

②とわ

月	要介護度	1	2	3	4	5	合計
4	実人数	4	4	4	5	3	20
	延人数	120	120	120	149	90	599
5	実人数	4	4	3	6	3	20
	延人数	124	124	93	186	93	620
6	実人数	4	4	3	6	3	20
	延人数	120	120	90	180	82	592
7	実人数	4	3	4	8	2	20
	延人数	124	81	124	220	62	611
8	実人数	4	2	4	8	2	20
	延人数	124	62	124	248	62	620
9	実人数	6	2	4	8	2	20
	延人数	98	60	99	239	58	554
10	実人数	4	2	5	8	1	20
	延人数	95	62	151	248	31	1,141
11	実人数	4	2	5	8	1	20
	延人数	120	60	124	240	30	574
12	実人数	4	2	5	8	1	20
	延人数	124	62	135	248	31	600
1	実人数	3	2	6	8	1	20
	延人数	93	62	186	247	31	619
2	実人数	3	2	6	8	1	20
	延人数	87	58	174	232	29	580
3	実人数	3	2	6	8	1	20
	延人数	93	62	186	248	31	620
合計	実人数	47	31	55	89	21	243
	延人数	1,322	933	1,606	2,685	630	7,176

③従来型・とわ 合計

	要介護度	1	2	3	4	5	合計
27年度	実人数	87	151	248	282	84	852
	延人数	2,526	4,568	7,417	8,222	2,412	25,145
26年度	実人数	95	269	225	277	94	860
	延人数	2,880	5,140	6,832	6,370	2,767	25,388

【考察】

延べ合計に大きな変化はないが、ひと月に数名入退所が集中することがあり、段取り良く準備を進めることが難しい時があった。待機者数の減少が目立ってきている状況があるため、今後さらにスムーズな入退所が困難になると予測される。営業活動を行うと共に、先を読み準備を進めていける様にしたい。

また、「看取りケア」に力を入れたいと考えていたが、退所経路として「病院」となるパターンが増えてきているという現実がある。飛羽ノ園を生活の場として選んでもらった利用者・家族に対し、安心して最期まで過ごせる場と認識してもらえるよう努めたい。その為、来年度は施設での体制を見直し、体制・ケア内容を全体周知させたいと考える。

今年度より「(原則) 要介護3以上」の入所を求められるようになり、要介護1・2の利用者数が徐々に減ってきていることが分かる。これまで介護量のバランスを考えながら居室等の振り分けをしてきたが、全体的に介護量が増えていくことになる。職員の身体的負担を考慮し、将来的に介護動作補助としての HAL 等の介護機器の導入も含め、工夫した介護を検討していく必要があると考えた。

(2) 入所者の状況

【日常生活状況 (ADL の状況)】 ※平成 27 年 3 月 31 日現在

①従来型

区分	食事			排泄			入浴			着脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	38	3	7	11	23	13	11	33	16	11	33	16
前年度	39	7	2	8	29	13	8	28	14	9	27	14
区分	移乗			寝返り			移動(歩行)		移動(車いす)			
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	自立	一部介助	全介助	
人数	21	14	15	45	2	3	12	5	10	10	13	
前年度	19	22	9	41	5	4	11	8	11	6	9	

②とわ

区分	食事			排泄			入浴			着脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	16	3	1	5	14	1	1	17	2	5	13	2
前年度	14	4	2	7	13	0	4	10	6	5	7	8
区分	移乗			寝返り			移動(歩行)			移動(車いす)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	自立	一部介助	全介助	
人数	7	11	2	11	4	5	2	1	9	2	6	
前年度	7	10	3	12	5	3	3	4	4	2	7	

【年齢構成】※平成28年3月31日現在

①従来型

	～64歳	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90歳～	計
男性	0	3	0	5	5	3	1	17
女性	0	1	0	3	10	7	12	33
計	0	4	0	8	15	10	13	50

②とわ

	～64歳	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90歳～	計
男性	0	0	0	0	1	0	0	1
女性	0	0	1	2	0	3	13	19
計	0	0	1	2	1	3	13	20

③従来型・とわ 合計

	～64歳	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90歳～	計
男性	0	3	0	5	6	3	1	18
女性	0	1	1	5	10	10	25	52
計	0	4	1	10	16	13	26	70
前年度	1	2	1	10	18	15	23	70

【入浴実施状況】

①従来型

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特浴	97	105	124	115	110	106	104	113	127	108	115	107	1331
一般浴	267	265	313	284	293	285	276	298	350	319	304	292	3546
合計	364	370	437	399	403	391	380	411	477	427	419	399	4877

②とわ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
むべ	88	91	89	88	91	86	93	85	89	84	86	90	1060
わかくさ	85	84	85	92	88	81	79	82	86	83	83	87	1015
合計	173	175	174	180	179	167	172	167	175	167	169	177	2075

③短期入所生活介護（予防・空床利用含む）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	82	92	99	77	93	80	64	73	76	57	70	40	903

【長谷川式スケール実施状況】

※30点満点中20点以下は認知症の可能性が高いと言われている（診断結果は参考）

従来型		平成28年3月							計
年齢	性別	点数							
		0	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	
～64	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
65～69	男	1	0	0	0	1	0	0	2
	女	0	1	0	0	0	0	0	1
70～74	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
75～79	男	0	1	0	1	1	0	0	3
	女	0	2	1	0	0	0	1	4
80～84	男	1	1	1	0	1	2	0	6
	女	1	4	2	0	1	0	1	9
85～89	男	1	2	1	1	0	0	0	5
	女	0	1	0	0	3	1	0	5
90～95	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	3	2	4	1	0	1	0	11
96～	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	0	0	2	0	0	0	3
計		8	14	9	5	7	4	2	49

ユニット(とわ)									平成28年3月
年齢	性別	点数							計
		0	1~5	6~10	11~15	16~20	21~25	26~30	
~64	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
65~69	男	0	0	0	0	1	0	0	2
	女	0	0	0	0	0	0	0	1
70~74	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	1	0	0	0	0	0
75~79	男	0	0	0	0	1	0	0	3
	女	0	0	1	0	0	0	1	4
80~84	男	0	0	0	0	1	2	0	6
	女	1	0	0	0	1	0	1	9
85~89	男	0	0	0	0	0	0	0	5
	女	0	1	0	1	3	1	0	5
90~95	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	5	1	0	0	1	0	11
96~	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	2	0	0	0	3
計		1	6	3	3	7	4	2	49

【ケアカンファレンス実施回数】

入所している要介護者等の人格を尊重し、常に入所者の立場に立って、施設サービスが提供されるように、生活全般の解決すべき課題を本人、家族と共に計画を立て、実施状況の把握を行った。それと共に、必要に応じて施設サービスの見直しを行い、より良い生活を送れるように支援した。

ケアカンファレンス実施者

月	名	月	名	月	名
4	14	8	20	12	5
5	21	9	26	1	14
6	20	10	9	2	18
7	9	11	12	3	14

開催合計 58回・延べ 182名

認定調査の実施

月	名	月	名	月	名
4	2	8	4	12	2
5	6	9	1	1	3
6	6	10	4	2	5
7	4	11	5	3	5

認定調査 合計 47件

○短入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

月	要介護度	支1	支2	1	2	3	4	5	合計
4	実人数	0	0	2	4	2	8	5	21
	延人数	0	0	16	20	15	111	66	228
5	実人数	0	0	3	6	1	9	4	23
	延人数	0	0	39	30	24	144	40	277
6	実人数	0	0	3	5	1	10	6	25
	延人数	0	0	11	28	30	172	52	293
7	実人数	0	0	1	5	1	7	5	19
	延人数	0	0	5	32	31	116	69	253
8	実人数	0	0	0	6	4	6	6	22
	延人数	0	0	0	62	57	97	52	268
9	実人数	0	0	1	7	3	7	6	24
	延人数	0	0	10	59	51	76	46	242
10	実人数	0	0	0	7	1	7	6	21
	延人数	0	0	0	73	31	65	42	211
11	実人数	0	0	1	6	3	4	4	18
	延人数	0	0	1	44	46	51	57	199
12	実人数	0	0	2	6	4	3	3	18
	延人数	0	0	27	59	38	52	64	240
1	実人数	0	0	2	7	3	4	4	20
	延人数	0	0	28	62	42	67	47	246
2	実人数	0	0	2	6	2	5	3	18
	延人数	0	0	32	47	10	100	58	247
3	実人数	0	0	3	6	2	5	1	17
	延人数	0	0	10	23	29	60	24	146
27年度	実人数	0	0	20	71	27	75	53	246
	延人数	0	0	179	539	404	1111	617	2,850
26年度	実人数	2	0	49	74	38	78	39	270
	延人数	10	0	678	919	439	713	358	3,117

【考察】

感染症対策として10月下旬（皮膚感染症）・3月下旬（インフルエンザ）に半月ずつの受入制限が必要となった。稼働率への影響はもちろん大きく、今後同じことのない様、施設としての予防策を講じていかなければならない。また、本年度より長期利用者に対しての減算もあり、今後に向け計画的な利用調整と受入における体制を整えたい。

(3) 外部機関受入体制

○介護相談員活動実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

○実習生受入（デイサービス含む）

学校名	実習月	日数	人数	延日数
筑波研究学園専門学校	6・7・2・3	10	6	60
友部東特別支援学校	6・10	17	1	17
茨城大学	6・7	7	2	14
祥風会	7・2	2	6	12
ニチイ学館	7	2	5	10
國學院大學	8	5	1	5
常磐大学	8	5	1	5
女子栄養大学	8	5	1	5
筑波総合福祉専門学校	9・10・2・3	41	3	67
明星大学	9	1	1	1
文教大学	9	5	1	5
東京未来大学	10	5	1	5
筑波大学	10・1・2	42	16	67
つくば国際大学	2・3	4	4	8
つくば国際短期大学	3	1	1	1
合計			50	282

○実習種類別集計（デイサービス含まず）

①介護福祉士

学校名	実人数	延日数
筑波総合福祉専門学校(実習Ⅱ-①)	1	20
筑波総合福祉専門学校(実習Ⅱ-②)	2	40

②介護職員初任者研修

学校名	実人数	延日数
ニチイ学館	5	5
祥風会	3	3
つくば国際大学	3	6
筑波研究学園専門学校	2	10
つくば国際短期大学	1	1

③介護等体験（茨城県社会福祉協議会より）

受入期間	実人数	延日数
4～6月	0	0
7～9月	4	20
10～12月	2	10
1～3月	6	30

④その他

内容	実人数	延日数
体験学習（土浦市役所）	7	1
介護実習（友部東特別支援学校）	1	10

⑤受入合計 ○実人数 37 人 (H26 年度 47 人) ○延日数 156 日 (H26 年度 166 日)

【考察】

受入依頼に対し積極的に応え、出来る限りのノウハウを伝えられるよう努めた。

年々実習生の数が減少してきている。介護職員初任者研修においては実習が必須でなくなったことも影響していると考えられるが、そもそも「介護職を目指す人材」が減ってきているというのが大きい。実習受入はその限られた人材と接触出来る大切な機会となる為、実習生に対し少しでも介護の魅力・飛羽ノ園の魅力を伝えられるようにしたい。

○ボランティア受入

ボランティア名	回数	総人数	ボランティア名	回数	総人数
美々の会	65	98	散髪	24	24
介護支援ボランティア	58	58	喜和会	1	8
いずみの会	6	27	来留美会	1	1
小鈴会	3	12	ピースメーカー	1	20
さくらの会	10	44	ひまわりクラブ	1	2
しんらいの会	1	1	小松地区	1	2
こもれびの会	73	36	霞ヶ岡地区	1	1
すずめの子	2	9	4中福祉部	1	9
竹の子会	2	4			
水戸信用金庫	1	12			
ハッピーサウンド	1	3			
介護相談員	5	13			
歌謡教室ひろか	1	10	合計	259	394

○面会簿統計

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		
	家族	その他	家族	その他	家族	その他	家族	その他	家族	その他	家族	その他	
面会者	285	0	386	5	344	0	336	0	350	0	459	0	
外出者	10	0	24	0	11	0	2	0	20	0	11	0	
外泊者	0	0	4	0	3	0	13	0	4	0	3	0	
小計	295	0	414	5	358	0	351	0	374	0	473	0	
10月		11月		12月		1月		2月		3月		年間合計	
家族	その他	家族	その他	家族	その他	家族	その他	家族	その他	家族	その他	家族	その他
374	0	308	0	387	0	406	0	286	0	233	2	4154	7
30	0	17	0	25	0	4	0	25	0	17	0	196	0
1	0	0	0	6	0	40	0	1	0	0	0	75	0
405	0	325	0	418	0	450	0	312	0	250	2	4107	

3. 活動実績

特別養護老人ホーム 飛羽ノ園（従来型）

（1）重点目標：おむつゼロへの取り組み

<おむつゼロ作戦>

【年間計画】

段階	時期	内容
1	4・5月	・委員会活動内容の確認 <勉強会> ・水分・運動・排泄の理論の再確認・認知症ケア理論
2	6・7月	・水分・歩行・排泄・食事の記録表の見直し <勉強会> ・身体的自立支援の基礎知識と理論
3	8・9月	・提供している水分の種類の見直し・おむつ外し状況報告
4	10・11月	・食事常食化の実践開始 <勉強会> ・食事常食化への理論
5	12・1月	<食事の常食化について> ・実践による変化、ヒヤリハット分析・実践内容の見直しをする
6	2・3月	<食事常食化取り組みの見直し> ・食事常食化の状況報告・次年度目標の設定

【取り組みの結果】

おむつゼロアンケート（職員対象）集計 ※H28.3実施

1、今回の取り組みでの成果と考えていることについて記入して下さい

- ・オムツ自体やおむつ代の節約
- ・利用者の自立支援になって行く事
- ・下剤の使用者が前より少なくなった
- ・水分により脱水による熱発が無い。下剤使用率が少なく、排便コントロールが出来る
- ・歩行できなかった人が出来るようになった
- ・下剤の使用者が減った
- ・下剤を使用せずに排便コントロールをすることが出来ていた
- ・常食化により、好きな物が認識でき楽しむことが出来た

2、今回の取り組みでのメリット・デメリットと考える事について記入して下さい

- ・利用者が水分を取りたくないのにすすめている。利用者の中には、出されるから飲むしかないと話される方も…
- ・利用者が一日どのくらいの水分を取っているのか把握できた
- ・歩行練習を始めた人が歩けると思い込み転倒してしまったことが何度かあった
- ・水分摂取量の負担か、体調を崩す人も多かったように思う
- ・業務負担が多い
- ・現在CW不足で日々の業務をこなすことで精いっぱいです
- ・職員一人一人が意識することにより、水分、食事、排泄の大切さが分かる様になった
- ・水分に集中してしまい、業務がおろそかになってしまった
- ・利用者の一日の水分がわかった
- ・水分あまり飲みたくない利用者も飲ませている。利用者より「そんな飲めない」と話しあり
- ・現在、CW不足で日々の業務をこなすことで精一杯です

3、今回の取り組みを次年度へどうつなげていくか？

- ・職員同士で話し合いや相談しながら利用者へのオムツゼロや自立支援に向けて答えを出して行く事だと思います
- ・まずは、CWの充足をお願いします
- ・このまま水分提供を増やしていき下剤使用者をゼロにする
- ・水分、食事、排泄等2年間で学んできたことを職員一人一人が意識を高め継続して行ければと思う
- ・水分摂取量の記入は続けてほしい、脱水などの目安になるから
- ・このまま水分提供を行っていく
- ・上を見すぎるのではなく、まず地を固めるべき。サービスの向上にても、働きやすい環境を作るにしても、園を良くすると考えた場合方法はいくらでもある。

【考察】

平成26年度・27年度と2年間に渡り「おむつゼロ」への取り組みを行った。目に見えて大きな成果に繋がったとは言えないが、取り組みを通し、すべてのケアには根拠があること（根拠を持ったケアが必要であること）を学ぶことが出来た。講習会の流れに沿ったスケジュールとなり、また、講習会での課題に合わせた取り組みだったこともあり、じっくりと1人1人の利用者に向き合っただけのケアが出来なかったことが反省として出てきている。「おむつゼロ」の取り組みを行ったからこそ、自分達が目指すケアについて考える機会が出来たのだと考える。今後は学んだ知識を活かしつつ、利用者に合わせてペースで日々の支援を行っていきたい。また、幅広い視野を持ち、ケアの質の向上に努めたい。

(2) 内部研修報告

①施設全体研修（従来型・ユニット・デイ・在支・居宅・事務）19:00～19:30

開催日時	内容（対象者）	参加人数
4月10日（金）	倫理・法令遵守	36
6月10日（水）	マニュアル活用法	36
8月10日（月）	権利擁護・身体拘束	32
10月10日（土）	ターミナルケア	34
12月10日（木）	認知症ケア①	36
1月10日（日）	認知症ケア②	36
2月10日（水）	サービスの質の評価	30

②部署内研修（従来型）

日時	内容（対象者）	参加人数
5月10日（日）	おむつゼロ①（認知症ケア理論）	15
7月10日（金）	処遇について	22
9月10日（土）	感染予防	16
11月10日（火）	おむつゼロ②（常食化）	17
3月10日（木）	おむつゼロ③（総括）	15

③外部機関研修

○その他 年間 外部研修参加一覧

研修名	開催時期	参加者職種	研修内容	研修結果と報告方法	人数
茨城県認知症介護実践者研修	4月9日 ～5月19日	相談員	認知症介護研修	復命書・職場で報告	1
科学的介護実践講座	4月13日	看護師 介護士	認知症ケア論理	復命書・職場で報告	3
成年後見制度活用講座	4月18日 ～19日	相談員	福祉関係者のための成年後見講座	復命書・職場で報告	1
リーダーシップ研修	4月28日	介護士	これからのリーダーを目指す人のため	復命書・職場で報告	1
土浦地区老人ホーム栄養士給食研修会	5月12日	栄養士	厨房設備機器展の視察	復命書・職場で報告	1

県南・土浦ブロックケアマネ研究会	5月22日	相談員	認知症ケアについて	復命書・職場で報告	2
県南・土浦ブロックケアマネ研究会	5月22日	栄養士	平成27年度事業計画	復命書・職場で報告	1
介護サービス施設・事業所管理者研修会	6月3日	ケアマネ	労働災害防止対策について	復命書・職場で報告	1
茨城県学校給食会研修	6月10日	栄養士	総会並び研修会	復命書・職場で報告	1
ワークフォーラム2015	6月11日	施設長 ケアマネ	正しい職業観を身につけるお手伝い	復命書・職場で報告	2
基礎・管理職研修	6月11日	相談員	理解と気づきの大切さ	復命書・職場で報告	1
老人ホーム施設長会議	6月17日	施設長	社会福祉法人制度改革について	復命書・職場で報告	1
茨城県老人福祉施設協議会	6月17日	施設長	H27年度事業計画について	復命書・職場で報告	1
科学的介護実践講座	6月22日	介護士 看護師	身体的自立支援の基礎知識と理論	復命書・職場で報告	3
安全運転管理者等講習	7月7日	施設長	企業における安全運転管理の重要性	復命書・職場で報告	1
神立病院回復期病棟およびリハビリテーション科見学会	7月7日	ケアマネ	回復期病棟とは	復命書・職場で報告	1
生きがいフォーラム	7月14日	施設長 ケアマネ	正しい理解とケアのために	復命書・職場で報告	2
茨城県社会福祉施設経営者協議会定期総会	7月14日	施設長	H27年度事業計画について	復命書・職場で報告	1
茨城県社会福祉法人経営青年会	7月15日	施設長	次なる災害に備える	復命書・職場で報告	1
コーチングスキル研修	7月29日 ～30日	介護士	個別ケアの実践とその質の確保	復命書・職場で報告	1
土浦市ブロックケアマネ研修会	7月31日	相談員	事例検討・情報交換	復命書・職場で報告	2

災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーバード10周年記念フォーラム	8月23日	施設長	災害時要援護者支援のために	復命書・職場で報告	1
科学的介護実践講座	8月17日	看護師 介護士	認知症ケア（事例）	復命書・職場で報告	1
OJT マネジメント力向上研修	9月2～3日	介護士	リーダーの人間力向上	復命書・職場で報告	1
タクティールケア入門	9月7日	介護士	由来する言葉で「触れる」という意味	復命書・職場で報告	2
関東ブロック老人福祉施設研究総会	9月10日	相談員	「新たな社会福祉保人・新たな介護」	復命書・職場で報告	1
看取りの学習	9月15日	看護師	施設での看取り介護職との連携	復命書・職場で報告	1
給食施設栄養管理者研修会	9月17日	栄養士	栄養管理の連携、食事摂取基準	復命書・職場で報告	1
認知症介護アドバイザー養成研修会	9月24日	ケアマネ 相談員	認知症サポーター養成運営について	復命書・職場で報告	2
ワンランク上の管理職目指して	9月28日	施設長	社会人基礎力	復命書・職場で報告	1
クレーム対応力強化研修	10月1日 ～2日	相談員	研修ねらいとカリキュラムの説明	復命書・職場で報告	1
土浦地区看護研修会	10月2日	看護師	嚥下障害患者のケア	復命書・職場で報告	2
マイナンバー制度の勉強会	10月2日	施設長	マイナンバー制度の概要とポイント	復命書・職場で報告	2
茨城県栄養士会福祉専門研究会	10月5日	栄養士	事例に基づいた口腔ケアと食事支援	復命書・職場で報告	1
科学的介護実践講座	10月13日	相談員 介護士	おむつゼロのまとめ 常食化理論	復命書・職場で報告	4
アンガーマネジメント研修	10月28日～ 29日	ケアマネ	アンガーマネジメントの理解	復命書・職場で報告	1
栄養士会福祉専門研究会	11月5日	栄養士	口腔ケアと食事支援の技術を学ぶ	復命書・職場で報告	1
年末調整説明会	11月19日	事務員	年末調整のしかた	復命書・職場で報告	1

特別養護老人ホーム 経営セミナー	11月27日	施設長	今後の介護保険をとりまく状況	復命書・職場で報告	1
キャリアアップ	11月28日	介護士	利用者様とのコミュニケーションの取り方、介護保険法高齢者虐待防止について	復命書・職場で報告	1
茨城県高齢者権利擁護推進員養成研修	11月20日～ 24日12月7日	相談員	高齢者介護の実際と権利擁護について	復命書・職場で報告	1
認知症実践者研修	8月21・25日、 9月8、10月8日	介護士	認知症の人のためのケアマネジメント	復命書・職場で報告	1
職場におけるストレスとメンタルヘルス不調について	12月7日	介護士	心の病を持つ職員との接し方・対処など	復命書・職場で報告	1
リスクマネジメント研修会	12月18日	介護士	福祉従事者に求められる対人関係～事故をめぐるリスクマネジメントという視点から～	復命書・職場で報告	1
地域リーダー研修会	12月19日	相談員	連携に向けた課題解決への提案などの周知啓発できるリーダーを養成する	復命書・職場で報告	1
社会福祉施設看護研修	2月8日	看護師	感染症に対する対応について	復命書・職場で報告	1
土浦地区・県南地区老人ホーム栄養士・調理師（員）給食研究会	2月9日	栄養士	摂食嚥下と食事介助	復命書・職場で報告	1
社会福祉法人制度改革対応セミナー	2月18日	施設長	各法人における社会福祉法改正への対応～施行に向けた準備～	復命書・職場で報告	1
求人事業所向けセミナー	2月22日	事務員	知っておきたいワーク・ルール	復命書・職場で報告	1
在宅ケア事例検討会	2月23日	施設長 ケアマネ	病院との連携困難事例	復命書・職場で報告	5
社会福祉法人管理・代表者研修	2月29日	施設長	長期的な安定経営を目指して	復命書・職場で報告	1

認定調査員現任研修	3月3日	施設長 ケアマネ 栄養士 介護士	認知症の理解と認定調査について	復命書・職場で報告	8
社会福祉施設等給食担当職員研修	3月4日	栄養士	日本人の食事摂取基準の総論の理解と活用について	復命書・職場で報告	1
講演会	3月18日	施設長	社会福祉法の改正に向けた事前対応	復命書・職場で報告	1
合 計					79

④介護プロフェッショナル・キャリア段位制度を活用した研修

→実施なし

⑤フォローアップ研修

本部研修室主催の研修に参加し、それぞれのスキル・キャリアに合わせた学びを得ることが出来た。

⑥老人福祉施設協議の県南・土浦地区ケアマネジャー研究会・交流研修

年3回の定例会と研究会主催の研修に参加し、他施設との情報交換を行った。専門職として横の繋がりを持てた事で、気づきや刺激を得ることが出来た。

【考察】

職員のスキルアップを目標に、重点を置いて参加予定を立てた研修において、実際の参加に至らなかった件が多くなってしまった。外部研修への参加を行なう余裕を捻出できなかったことが原因の一つと考えるが、今後も余裕を持った人員配置は困難であると理解した上で、参加時期も把握し計画的に参加予定を立てることで現在の人員数でも参加を可能にしていきたい。

(3) 介護職員反省

<主任>

小松澤 雅美	一部の利用者はオムツを外すことができた。しかし基本ケアがまだまだ行き届いていないと感じた。
島田 雄介	人事異動に伴い、勤務体系の把握・利用者の把握に努めた。

<ユニット別目標>

○南棟

かすみ	「確実な水分ケア・歩行練習の時間の確保」という目標に沿って、少しずつであるが実践することができた。
副主任 横山 玲	異動し日が浅く、仕事内容についていくだけで精一杯の部分があった。来年度はより内容を理解し対応に努めたい。
幸口 綾佳	昨年よりも落ち着いて業務を行なう事が出来、プライバシーに配慮することが出来た。
小林 摂	利用者に対しての声掛けに気をつけていたと思うが、上手く出来ていない時もあり、さらに気をつけていく必要がある。また、おむつゼロに向けての提案が出来ていなかった。
荒関 裕己	テーマに沿ってよく出来たと思う。
宮本 実保	決まったことに対しては忠実に行えていたが、水分ケアに対して深く理解するには至らない部分があった。来年度は理解を深め対応していきたい。
鈴木 喜代子	周りの職員と協力して業務を行う事が出来た。
あさひ	「自立支援に向けた援助とほっとできるユニット作り」に向け努力することが出来た。
副主任 宮邊 美子	ユニット内が明るくなるよう心掛けたがうまくコミュニケーションを多くとることが出来なかった。歩行や水分摂取率を増やしていけなかったので、来年度も継続していきたい。
笠原 香織	利用者よりトイレの訴えがあっても待たせてしまうことがあり、嫌な思いをさせてしまったので、余裕を持って対応していきたい。
細谷 美和子	排泄や移乗などの際、介助のしすぎなのではないかと思うことが時折あった。利用者が自分で出来ることは出来る様に前向きな声掛けを心掛け、また、利用者1人1人の自立度を把握し、援助していける様にしたい。また、声掛けを行う際は笑顔で出来る様に心掛けていきたい。
町田 友美	自分なりに目標に向け努力したが、余裕を持って対応できない時があった。

太田 律子	利用者の心身状況の把握が不十分な場面があった。職場での情報の共有化を深め、利用者が安全に自立的な生活が出来る様な介護に努めたい。
-------	--

○北棟

やまなみ	少数ではあるが、オムツ使用者がトイレで排泄できるようになった。歩行・運動に関しては課題が残った。
副主任 大海 進一郎	積極的に立位を促す介護等は出来ていなかったが、利用者の筋力低下予防・維持の為の介護は出来ていたと思う。
村山 翔	排泄訴え時にすぐ対応出来ていた。
金 美禮	先輩から排泄介助等の技術を教えてもらい、自分の介護レベルの向上に努める事が出来た。
合津 卓哉	利用者一人をポータブルトイレ使用に出来た。また、失禁を減らすためにオムツ形態等の見直しについて CW 会議でよく話せていたと思う。
松本 暁子	利用者に対し、本人の好きな水分を多めに提供出来たと思う。
さくら	声を掛け合いながら職員同士協力し目標に向け努力できた。
副主任 高野 綾	仕事を優先してしまい、おむつゼロを目指す事が出来ていない時があった。
山口 剛史	水分摂取量を増やすことで意識レベルを上げる事が出来、ベッド上だった排泄がポータブルトイレで行えるようになった利用者がいた。以前より状態改善出来たと思う。
大塚 雄太	水分提供等、至らない所が多々あったと振り返る。来年度は余裕を持って対応していきたい。

(4) 行事報告

月	日	内容	参加者			
			利用者	職員	その他	計
4	22	春麺（焼きそば）・甘味処（プリン）	43	16	0	59
	29	買い物会	3	3	0	6
5	9	甘味処（大判焼き）	55	4	0	59
6	13	甘味処（コーヒーゼリー）	54	5	0	59
	17	誕生会	6	2	0	8
7	11	甘味処（かき氷）	56	5	0	61
	23	誕生会	3	2	0	5
8	2	納涼祭	75	30	115	220
	8	甘味処（すいか割）	47	5	0	52
	23	誕生会	4	2	0	6
9	13	敬老祝賀会	79	30	68	177
	12	甘味処（あんみつ）	51	5	0	56
	20	誕生会	3	2	0	5
10	21	誕生会	8	3	0	11
	28	甘味処（大判焼き）	54	5	0	59
11	11	紅葉ドライブ	4	4	0	8
	14	甘味処（焼き芋）	57	4	0	61
	21	運動会	47	11		58
	25	誕生会	4	4	0	8
12	7	買い物会	2	2	0	4
	12	甘味処（お好み焼き）	57	5	0	62
	16	ドライブ（平和記念公園）	3	3	0	6
	20	クリスマス会	57	21	42	120
	23	誕生会	2	2	0	4
	30	甘味処（お汁粉）	55	5	0	60
1	1	元旦式	76	18	0	94
	10	初詣①	4	3	0	7
	16	甘味処（栗茶巾）	57	5	0	62
	17	初詣②	4	4	0	8
	17	誕生会	5	3	0	8
2	3	節分	50	5	0	55
	14	誕生会	7	3	0	10

	24	甘味処 (チョコレートファウンテン)	57	5	0	62
	28	ドライブ (水郷公園)	3	3	0	6
3	12	甘味処 (スイートポテト)	47	4	0	51
	26	誕生会	7	3	0	10

(5) 委員会活動報告・反省

① 入所基準検討委員会	委員会において、申込者の緊急性等について公正な判断を行うことが出来た。しかし、申込者に対し定期的な現状把握が出来ず、リストの整理が追いつかない状況があった。円滑に委員会を実施する為にも、リストの更新を随時行える体制作り・見やすく分かりやすいリスト作りを今後の課題とする。
② 身体拘束廃止委員会	身体拘束を行う利用者をゼロに出来なかった。全職員で「身体拘束廃止」に向け認識を強め統一して取り組むことができれば良かったと思う。
③ 感染予防対策委員会	吐物処理法・疥癬対応関連の掲示物等、スタンダードプリコーションの徹底を含め、ある程度作成・掲示できた。今後としては、ご家族への呼びかけを掲示物に頼るのみでなく、現場職員から直接的に呼びかけていくようにしたい。疥癬対応においては感染拡大を防ぐために迅速な対応が求められる。看護師・介護職員だけでなく、多職種間全体で連携し、的確な対応を決議していく必要がある。
④ 災害防火委員会	避難時における経路の確保等の知識を全職員に周知することが出来たと思う。委員会内での他部署間の連携という面では、うまく報告が行えなかったのが今後の課題としたい。
⑤ 物品購入委員会	オムツ類を不足させてしまうことがあった。使用数の確認を定期的に行う必要性を感じた。また、リネン庫内が紐やゴミ等で雑然としている状態になってしまっていることが多々あったので、全職員で整理整頓を心掛けるよう促していきたい。
⑥ 広報委員会	「読み応えのある広報誌」を目指し、少しずつ内容を変えていく事が出来た。今後も読み手の立場から欲しい情報を考え、誌面に載せていきたい。
⑦ レクリエーション委員会	行事・甘味処等、連絡不足により準備が遅くなるが多かった。次年度は早め早めに企画をして事前の職員への周知を徹底していきたい。

⑧ 褥瘡対策委員会	褥瘡になる前の対応や褥瘡になってしまった利用者への対応で、介護職員と看護師との連携が上手く出来ていなかった。今後は連携を図れるよう話し合いを多くしていきたい。
⑨ 胃ろう・吸引対策委員会	介護職員・看護師間で連携することが出来た。今後介護職員もさらに知識を持ち、対応にあたっていきたい。
⑩ 科学的介護推進委員会	【水分】水分チェック表の活用がうまくできず、記入もれがあった。今後はカンファレンスをこまめに行っていきたい。
	【食事】前半はどう活動していけばよいか分からず行動できていなかった。委員会の活動計画をしっかりと立てて動いていきたい。
	【入浴】利用者に対し週2回以上の入浴を提供できた。今後は拒否ある方への対応策を探っていきたい。
	【排泄】職員異動により、委員会活動が減ってしまった。メンバー全員が活動目的を理解し行動出来るようにしたい。
	【運動】具体的な活動は歩行表の作成・計測のみであった。歩行可能な利用者を検討したが、実践することが難しかった。
⑪ 認知症対応対策委員会	計画的な開催が出来なかった。その都度の対応をしており、多角的な視点で認知症の方を捉えられなかった。
⑫ 行動規範策定委員会	準備で立ち止まってしまい、実際の話合いが持てなかった。
⑬ 職員わくわく委員会	職員の交流と気分転換を図りバーベキューを開催したが、勤務上参加できなかった職員のためにも回数を増やし、全職員が一度は参加できる様にしたい。
⑭ 環境美化委員会	計画的な委員会運営が出来なかった。
⑮ 地域交流活性化委員会	地域の行事に積極的に参加できた。

※今年度より委員会ごとに毎月の報告と翌月の目標を記入し、計画的に活動した。

(6) 生活相談員

笠原 ちさと	事務作業については以前より覚える機会が出来、スムーズにできるようになったと思うが、その反面、現場との関わりが少なくなってしまう。利用者・職員の現状把握が不十分となり、結果として生活相談員としてはうまく立ち回れていなかったと感じる。今後は両立していけるよう努めたい。
沼尻 知士	積極的なコミュニケーションを通して各部署との連携の基礎作りに心掛けた一年となった。また、研修の機会も頂き、自己研鑽ができる年であったが、満足な成長ができなかったのが次年度はこの点を改善したい。

(7) 医務室

主任:宮本 静子	体調不良のため病欠し、迷惑をかけてしまうことがあった。
井上 光子	看護師間の報・連・相はできる様になったと思うが、介護職員とのコミュニケーションがスムーズに図れなかったと思う。
高須 ミチル	介護力向上委員会に1年間参加させてもらい、また、自主的に外部の勉強会に参加することで認知症の知識は以前より深めることができた。既往・受診歴は1/3の利用者についてまとめることができた。
藤岡 恵未	学びながら覚えていく事で精一杯で、一つ一つに責任を持つての取り組みが出来ず先輩方に頼ってばかりになってしまった。
飛内 久子	利用者とのコミュニケーションに努め、医療面でのサポートが出来たと思う。職員間での連携強化に努めたつもりだが、上手に伝わらなかった点もあり、反省している。

①処置・看護記録集計(ショートステイ含む)

○従来型

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
点眼	0	0	0	15	10	0	51	62	48	76	86	55	403
処置	15	8	37	39	6	1	69	76	89	116	86	72	614
軟膏・湿布	42	14	47	61	98	87	264	244	191	125	178	129	1480
テープ	129	132	161	135	131	128	126	98	129	136	133	114	1552
救急対応	1	2	0	1	0	1	0	2	0	0	1	5	13

○とわ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
点眼	0	0	5	8	14	0	41	39	39	31	18	9	203
処置	14	8	47	42	6	1	15	13	7	4	4	0	161
軟膏・湿布	46	15	37	59	80	96	157	70	54	39	46	8	707
テープ	60	62	60	87	93	90	120	124	124	124	116	124	1184
救急対応	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3

②他科受診年間状況

○従来型

受診科名	眼科	内科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	心療内科	合計
延人数	6	26	25	30	25	1	
受診科名	外科	歯科	訪問歯科	脳神経外科	呼吸器科	乳腺外来	
延人数	7	3	209	2	2	5	

〇とわ

受診科名	眼科	内科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	心療内科	合計
延人数	3	10	16	1	1	0	695
受診科名	外科	歯科	訪問歯科	脳神経外科	婦人科	耳鼻科	
延人数	4	0	654	3	1	2	

【考察】

多職種との連携に努め、利用者の健康管理や傷病を早期発見するという看護師としての務めを果たすことが出来た。嘱託医への上申も迅速に行うことができ、必要な他科受診につなぐこともできていた。感染症（皮膚感染症・インフルエンザ）への対策もその場の状況に合わせ適切に行動できたが、今後は予防に努め、感染症による混乱を防ぎたいと思う。施設での看取りケアの充実、ショートステイを含めた利用者の医療ニーズへの対応等、今後ますます看護師による医療的視点が介護の場で必要となる。介護職員と連携し、レベル向上を図っていきたい。

(8) 厨房 給食

利用者にとっての一番の楽しみである食事は、健康を維持する上でも重要である。季節感のある食事、盛り付けや彩りの工夫、嗜好を尊重し食事の提供を行っている。

多職種協働による栄養ケアマネジメントを行い、体重、健康状態等を総合的に検討し、食事による低栄養状態の改善を図る等、個々の状態に合わせた食事の提供を行っている。

1. 平成 27 年度 栄養給与基準量及び通常食提供量

	エネルギー	蛋白質	脂質	カルシウム	鉄	ビタミン B1	ビタミン B2	ビタミン C	食塩
	Kcal	g	g	mg	mg	mg	mg	mg	g
目標値	1,632	60	45.3	600	10.0	1.00	1.17	100	7.3
4月	1,657	64.9	36.7	614.7	11.9	1.04	1.04	114	8.9
5月	1,665	64.2	38.1	612.8	11.5	1.05	1.01	105	9.0
6月	1,649	63.9	37.7	605.1	11.3	0.99	1.01	109	9.1
7月	1,648	65.8	37.3	606.9	11.1	1.10	1.02	107	8.6
8月	1,632	64.1	38.0	603	11.4	0.98	1.03	105	8.8
9月	1,633	62.1	37.2	600	11.3	1.02	1.02	109	8.9
10月	1,653	64.2	36.7	589.8	11.3	1.01	1.02	105	8.9
11月	1,634	63.8	37.4	596.2	11.4	1.07	0.98	99	8.8
12月	1,650	63.9	37.4	609.2	11.1	1.11	1.03	99	8.9
1月	1,669	63.4	36.5	596.4	10.9	1.09	1.00	99	8.7
2月	1,668	65.5	36.7	604.2	11.4	1.12	1.02	103	8.8
3月	1,655	64.3	36.8	601.5	11.2	1.07	1.07	1.00	8.8

2. 食事提供状況

(1) 食数

	朝	昼	夕	合計
特養	17,181	17,260	17,122	51,563
ユニットとわ	7,159	7,098	7,110	21,367
ショート	2,305	2,790	2,316	7,411
デイサービス	0	4,833	0	4,833
職員	366	2,047	368	2,781
来客	0	27	0	27
実習生	0	77	0	77
延べ人数	27,011	34,132	26,916	88,059

(2) 毎食事の検食実施（検食簿記入）

(3) 行事食

行事や旬の野菜などを使い季節を感じられるような献立を取り入れ、食事をより楽しく、食欲をそそり食べられるように毎月工夫している。通常の食事では見られない食欲を発揮し、笑顔が見られている。

日時	平成 27 年 4 月 8 日	日時	平成 27 年 4 月 22 日	日時	平成 27 年 5 月 8 日
行事名	イベント食	行事名	春麺	行事名	イベント食
献立	鯛めし 鶏団子と菜の花の お吸い物 春野菜の天ぷら うどんの酢味噌かけ フルーツ	献立	焼きそば ウインナー 漬物、フルーツ 鮭にぎり	献立	筍御飯吹き寄せ 味噌汁 鰹の変わりたたき 春野菜の白和え フルーツ
おやつ	春人参のゼリー			おやつ	ヨーグルトババロア
日時	平成 27 年 6 月 15 日	日時	平成 27 年 6 月 23 日	日時	平成 27 年 7 月 7 日
行事名	イベント食	行事名	出前食	行事名	イベント食
献立	梅とじゃこの 混ぜ御飯 鮎の甘露煮と 夏野菜の天ぷら オクラのサラダ 漬物、フルーツ	献立	釜飯 海鮮釜飯 五目釜飯	献立	七夕そうめん ささみのしそ天ぷら 夏野菜の冷やし鉢 フルーツ
おやつ	ももゼリー			おやつ	ババロア

日時	平成 27 年 7 月 24 日	日時	平成 27 年 8 月 2 日	日時	平成 27 年 8 月 5 日
行事名	イベント食	行事名	納涼祭	行事名	イベント食
献立	うなぎ散らし寿司 味噌汁 炊き合わせ 浅漬け くずきり黒蜜かけ	献立	焼きそば、おにぎり 唐揚げ、 フランクフルト 綿菓子、かき氷 ジュース	献立	枝豆とコーンの 混ぜ御飯 冬瓜の生姜汁 アジのさんが焼き 冷やし茶碗蒸し フルーツ
おやつ	牛乳ケーキ			おやつ	ドーナツ
日時	平成 27 年 9 月 13 日	日時	平成 27 年 9 月 14 日	日時	平成 27 年 10 月 9 日
行事名	敬老会	行事名	イベント食	行事名	イベント食
献立	散らし寿司、赤飯 天ぷら盛り合わせ 刺身、炊き合わせ 漬物、ジュース	献立	菊花御飯 お月見汁 秋刀魚の梅蒲焼 冬瓜のえびあん フルーツ	献立	鮭散らし寿司 里芋団子の そぼろかけ 漬物 松茸の土瓶蒸し風
おやつ	紅白饅頭	おやつ	ぶどうゼリー	おやつ	栗のパバロア
日時	平成 27 年 11 月 21 日	日時	平成 27 年 12 月 20 日	日時	平成 27 年 12 月 24 日
行事名	イベント食	行事名	クリスマス会	行事名	クリスマス
献立	きのこ御飯 味噌汁 蓮根饅頭 刺身 柚子羊羹	おやつ	骨付きチキン フルーツ盛り合わせ イチゴショート	献立	エビピラフ カリフラワーの スープ 和風ローストチキン ほうれん草のサラダ フルーツ
おやつ	紅茶ケーキ			おやつ	クロカンブッシュ
日時	平成 28 年 1 月 1 日	日時	平成 28 年 1 月 2 日	日時	平成 28 年 2 月 3 日
行事名	元旦式	行事名	イベント食	行事名	節分イベント食
献立	彩り散らし寿司 清汁 里芋饅頭のおんかけ おろしあえ りんごのコンポート	献立	赤飯 味噌汁 お煮しめ 刺身(すきみ) ミルク寒天の イチゴソース	おやつ	恵方巻き いわしのつみれ汁 白身魚のかぶら蒸し 胡麻和え フルーツ
おやつ	抹茶ゼリー	おやつ	カステラドーナツ	おやつ	ぜんざい

日時	平成 28 年 3 月 3 日
行事名	ひな祭りイベント食
献立	にぎり寿司 けんちん汁 含め煮 餅入りぜんざい
おやつ	ひなあられ

選択食も取り入れ楽しみを増やしている。

日時	A	B
平成 27 年 4 月 27 日	鯖の味噌煮	酢鶏
5 月 14 日	牛丼	穴玉丼
6 月 8 日	松風焼き	揚げだし豆腐のえびあんかけ
7 月 14 日	ミートローフ	手作りさつま揚げ
8 月 21 日	ポークソテー	鮭のちゃんちゃん焼き
9 月 2 日	鮭のムニエル	豚肉の冷しゃぶ
10 月 12 日	鶏肉のマスタードソース	天婦羅の盛り合わせ
11 月 19 日	あんかけ豆腐	鶏肉の唐揚げおろし添え
12 月 15 日	おでん	エビフライ
平成 28 年 1 月 29 日	小鉢 マグロすき身	小鉢 とろ湯葉の刺身
2 月 19 日	ぶりの照り煮	ミルフィーユカツおろし添え
3 月 2 日	親子煮	天ぷら

ユニットは開所から 3 年経過し、食事を作ったり、お菓子を作ったりすることが多くなった。時々、出前食やうどん、天ぷらなどを作り、豪華にし楽しみを増やしている。

日時	平成 27 年 4 月 15 日	日時	平成 27 年 4 月 23 日	日時	平成 27 年 5 月 22 日
行事名	3 周年記念	行事名	むべイベント食	行事名	わかくさいイベント食
献立	赤飯、清汁 天婦羅、刺身 炊き合わせ 菜の花のお浸し フルーツ	献立	炊き込みご飯 ジャーマンポテト ウインナー アスパラのピリ辛 ツナマヨ和え レタスのスープ フルーツ	献立	かき揚げ丼 ほうれん草のお浸し 茶碗蒸し 漬物 フルーツ

日時	平成 27 年 5 月 28 日	日時	平成 27 年 6 月 25 日	日時	平成 27 年 7 月 23 日
行事名	むべイベント食	行事名	むべイベント食	行事名	むべイベント食
献立	焼きうどん バーベキュー 卵スープ フルーツ	献立	焼きおにぎり 味噌汁 玉子焼き キャベツ・塩昆布和え チキンロール フルーツ	献立	そうめん 天婦羅 レタスと卵の炒め物 フルーツ
日時	平成 27 年 7 月 25 日	日時	平成 27 年 8 月 21 日	日時	平成 27 年 8 月 27 日
行事名	花火大会出前食	行事名	わかくさいイベント食	行事名	むべイベント食
献立	むべ ピザ わかくさい にぎり寿司	献立	とろろそば 天婦羅 しらすおろし	献立	ナポリタン 鶏肉のソテー 野菜サラダ 卵スープ フルーツ
日時	平成 27 年 9 月 18 日	日時	平成 27 年 9 月 24 日	日時	平成 27 年 10 月 16 日
行事名	わかくさいイベント食	行事名	むべイベント食	行事名	わかくさいイベント食
献立	うどん 豚汁 サラダ フルーツ	献立	きのこ御飯 ツナと大根の煮物 小松菜のサラダ 白菜と豚肉の 中華炒め 味噌汁、フルーツ	献立	きのこ御飯 唐揚げ、シュウマイ 大根とツナのサラダ 杏仁豆腐 大根と卵の味噌汁
日時	平成 27 年 10 月 22 日	日時	平成 27 年 11 月 20 日	日時	平成 27 年 11 月 26 日
行事名	むべイベント食	行事名	わかくさいイベント食	行事名	むべイベント食
献立	味噌ラーメン 肉団子の 甘酢あんかけ 野菜サラダ フルーツ	献立	チャーハン 春巻きとコロッケ 付け合せ フルーツ	献立	お好み焼き 唐揚げ 付け合せ フルーツ
日時	平成 27 年 12 月 17 日	日時	平成 28 年 1 月 28 日	日時	平成 27 年 2 月 19 日
行事名	わかくさい出前食	行事名	むべイベント食	行事名	わかくさいイベント食
献立	にぎり寿司	献立	すいとん入りなべ キャベツと昆布の漬物 フルーツ	献立	鶏白湯鍋 うどん or ごはん フルーツ

日時	平成 28 年 2 月 25 日	日時	平成 28 年 3 月 18 日	日時	平成 28 年 3 月 24 日
行事名	むべイベント食	行事名	わかくさいイベント食	行事名	むべイベント食
献立	御飯、味噌汁 鶏肉の柔らか マヨネーズソテー 人参のもやしの ポテベジ フルーツ	献立	散らし寿司 つみれ汁 天ぷら 大根サラダ フルーツ	献立	そば 天ぷら だし巻き卵 フルーツ

利用者のおやつを楽しみを甘味処として、毎月 1 回提供している。

甘味処としているが、甘くないものもと言う事で、今年は宅配ピザや焼き芋を購入し好評であった。一番人気はやはりあんこが入ったものだった。

4 月 22 日	プリン	プリン、カスタードプリン、イチゴプリン レアチーズ
5 月 9 日	大判焼き	焼き粉ミックス、卵、こしあん、
6 月 13 日	コーヒーゼリー	コーヒー、寒天、生クリーム、アイス
7 月 11 日	かき氷	氷、イチゴシロップ、メロンシロップ
8 月 8 日	すいか割り	すいか
9 月 12 日	あんみつ	寒天、こしあん、黒蜜、みかん缶
10 月 28 日	大判焼き	焼き粉ミックス、卵、こしあん、クリーム、
11 月 14 日	焼き芋	焼き芋
12 月 12 日	お好み焼き	小麦粉、卵、キャベツ、揚げ玉、豚肉、
12 月 30 日	おしるこ	こしあん、白玉粉
1 月 16 日	栗茶巾	さつま芋、さとう、栗
2 月 24 日	チョコファウンテン	チョコレート、マシュマロ、バナナ、イチゴ カステラ
3 月 12 日	スイートポテト	さつま芋、バター、砂糖、牛乳、卵

ユニットではお茶会と甘味処を月に 2 回設定し、おやつを作ったり買ってきたり、お抹茶を立てたりと色々イベントを用意し楽しみを増やしている。

5 月 1 日	柏餅づくり	上新粉、こしあん、柏の葉
5 月 10 日	母の日甘味	不二家ケーキ ets.
6 月 1 日	バナナピザ	ピザ生地、バナナ、アイス、チョコレート、生クリーム
6 月 21 日	父の日会	あんみつ (久月)

7月2日	冷やし白玉ぜんざい	白玉粉、つぶあん
7月10日	ところてん	ところてん
8月1日	かき氷	氷、イチゴシロップ、あずき
9月1日	フレンチトースト	食パン、卵、砂糖、牛乳、ジャム、生クリーム
9月10日	さつまいもの茶巾絞り	さつまいも、砂糖、
10月1日	ホットケーキ	ホットケーキミックス、卵、マーガリン、ジャム
10月9日	焼きうどん	うどん、豚肉、キャベツ、人参
11月2日	さつまいも入り蒸しパン	ホットケーキミックス、卵、さつまいも
11月10日	南瓜のタルト	タルト生地、南瓜のムース、生クリーム、みかん缶
12月10日	プリンアラモード	プリン、
2月15日	チョコレートファウンテン	チョコレート、バナナ、カステラ、マシュマロ
3月1日	桜もち、抹茶	桜もち(久月)、抹茶
3月10日	ビスケットケーキ	ビスケット、牛乳、生クリーム、イチゴ、チョコレートソース

(4) 利用者の嚥下、咀嚼能力に応じた食事形態の提供

ソフト食やトロミ食、キザミ、ペースト食など利用者の個々の状態に応じた食事の提供ができるようにしている。

3. 栄養ケアマネジメント

利用者の状態（健康状態、体重、血液検査の数値）の変化や定期的なカンファレンスを行い健康状態の維持向上を図るため、個々の状態に応じた食事の提供を行い、低栄養状態を改善できるように多職種協働のもとに栄養ケアマネジメントを行っている。

栄養ケアカンファレンス

月	人数	月	人数
4	8	10	8
5	25	11	25
6	18	12	18
7	6	1	5
8	5	2	10
9	12	3	11

開催回数 34回 合計 151人

4. 衛生管理

(1) 調理従事者の定期腸内細菌検査

年 12 回実施 委託給食の為管理栄養士以外は委託側で行う(新規採用者は入職前)

(2) 最終火入れ時間、食品の中心温度の測定及び記入

(3) 原材料及び検食の冷凍保存の実施(14日間)

(4) 厨房内の定期的な清掃の実施

(5) 害虫駆除の実施 害虫駆除の実施及び発生状況の確認(年2回)

(6) 包丁、まな板、調理台、水槽の使い分けの徹底、時間、温度管理

(7) 下処理室、調理室、洗浄コーナーの使い分け

5. 会議、研修

(1) 給食会議 毎月第4水曜日

(2) 全体会議 毎月10日

(3) 茨城県栄養士会研修、茨城県福祉栄養士会研修、土浦地区給食研究会研修、老施協栄養士研修

【考察】

食事量が減少したり、吸収率が低下したりして低体重となっている利用者、家族の理解の下、濃厚流動食(ゼリー状、ドリンク状)を延べ9名程度に提供している。体重増加を図り、健康が維持できるように、多職種で協働し、利用者が元気に過ごせるように努めている。

◎地域貢献活動「ふらっと HIWA～介護のことなんでも語らおう～」

毎月第1日曜日 9:00～12:00 担当者 2名配置し実施した。試行錯誤しながらの実施であったが、開催内容や周知方法等について随時見直しをし、12月に新たな試みとしてピアカウンセリングの場を設け、参加者から好評を得ることができた。今後継続していく事で徐々にこの活動に存在意義を見出せると感じている。

ふらっと HIWA 満足度アンケート結果

・ 7世帯8名参加 配布者7名 回収率100%

① 「介護経験について語る」事で感じた事に○をつけて下さい

とてもよかった 7名
ふつう 0名
どちらとも言えない 0名

A、「とても良かった」とお答えした方にお聞きします。具体的にどのように感じたか、一番近いものに○をしてください。 ※複数回答可

- ・ すっきりした 2名
- ・ 心の整理ができた 3名
- ・ 聞いてもらえて良かった 3名
- ・ 人の役に立った 3名
- ・ 振り返りができた 3名
- ・ 何となく良かった
- ・ その他

〔 ・ 皆様のお話を伺い、他の整理ができたように思います。
・ 介護していくことは苦しく容易でないことが共有できた。 〕

B、「どちらとも言えない」とお答えした方にお聞きします。

具体的にどのように感じたか、一番近いものに○をしてください。

- ・ 回答なし

② 開催時間（10時～12時）は適当であった。

とてもよかった 6名
ふつう 1名
どちらとも言えない 0名

<自由記述>

- ・ 不甲斐なさを自覚。あれもしてあげよう、これもしてあげようと気持ちだけで介護らしき事はほんの少しだけ。日々反省が多い
- ・ スタッフの皆様のお陰で、あっという間に終わったような時間でした。お陰で時間オーバーでしたようで大変だったと思います。
- ・ 出席者が以外と少なかった。
- ・ もっと長い時間でも良かったです。でも2時間というのが良いのかもしれませんがね。
- ・ 帰って、後から、あれも話したかった、これも話したかったと心残りがありました。時間的にもあまり長すぎてもだらけるし、疲れるから。少々物足りないところで、又次にとと思うことで良かったと思う。

① スタッフの対応は適切であったか

- ・とてもよかった 6名
- ・ふつう 1名
- ・どちらとも言えない 0名

その他自由にご記入ください

- ・いつも心から感謝しております。
- ・このような会が初めてとは思いませんでした。スタッフの皆様に気を使っていただき有意義な会でした。ありがとうございました。ケーキ美味しかったです。

② またこのような機会があれば参加したい ※複数回答可

- ・強くそう思う 3名 ・そう思う 3名 ・よくわからない 0名
- ・その時になってみないとわからない 0名
- ・そう思わない 0名 ・もう参加したくない 0名

③ その他、ご意見、ご要望、お気づきの点が御座いましたらご記入下さい。

- ・介護している人、終わった人、それぞれ本当に同じ思いで苦勞をしてる、してきたんだ。同じなんだと思った。自分だけがつらい思いをしてきたのではない。でも、まわりの人達の協力があったの介護でデイ、ショートがどんなに助けになっていたかが、つくづく感じた時間でした。
- ・不甲斐なさを自覚。あれもしてあげよう、これもしてあげようと気持ちだけで介護らしき事は、ほんの少しだけ、日々反省が多い。
- ・よそで話せないことも同じ悩みを持っている者同士で話し合える場があり、解決の方法や糸口を見つけられるならばと思う事があります。
- ・質問したい事があったがその機会がなかった。
- ・職員の皆様、ニコニコ対応されて良かったと思います。
- ・軽い体操とおしゃべりがあって楽しく過ごせました。ありがとうございました。

地域密着型特別養護老人ホーム 飛羽ノ園・とわ（ユニット）

(1) 重点目標:「ユニットケアの考え方に準じた自律支援の構築・地域に出て行ける、地域から来てくれる環境づくり」への取り組み

① 24時間シートのあり方を見直すと共に各居室担当制に移行していく。

【24時間シート移行予定表】

月	内容	取り組みの結果
(3月まで)	ユニットリーダー研修修了者を中心に勉強会への資料作りと再度知識の確認を行なう。	ある程度までの話し合いは出来たものの、資料作りを適切に行なう事が出来なかった。
4月～5月	先に資料を配布。 勉強会1回ごとに2名ずつ参加。1回きりではなく3回以上は同じ勉強会に参加し理解を深める。時間は30分～1時間を予定。 講師はユニットリーダー研修修了者が行い時間は勤務に応じて決めていく。	資料が完成出来なかった事、他の通常業務に時間を割かれてしまい勉強会の時間を確保できなかった事により、前回作成した24hシートの確認のみとなってしまった。
6月～7月	各ユニット毎に1～2名の入居者を対象に各職員が実際に24時間シートを見直し、修正を行っていく。	居室ごとの担当は決まっていたが、先の取り組みがうまく進まなかったこともあり、見直し・修正は行えなかった。
8月～10月	すべての入居者の24時間シートを見直し・修正を行なう。	8月までにユニットリーダーがまとめる事は出来たが、その後の見直し・修正は出来なかった。
11月～	各居室担当毎に6ヶ月毎に24時間シートの修正を行なう。	上記と同様見直しを行う事が出来ず、8月時点のままであった。

② ケアプランの原案作成を各居室担当で行ない、より入居者のニーズに添ったプランの作成を目指す。

→ アセスメントツールの確認は行ったが、とわに合ったツールを見つける事が出来ず、作成しようと試みたがそれも難しく完成させることが出来なかった。今後の課題として継続して取り組みたい。

③クラブ活動・個別活動の推進

スケジュール

月	内容	取り組みの結果
4月～5月	どのようなボランティアがいいか、どのような活動がいいか、入居者より聞き取りを行なう。(家族への聞き取りなど)	職員間で取り入れたいボランティアを話す事は出来たが、入居者・ご家族への聞き取りにまで至らなかった。
6月～7月	入居者のニーズに添ったボランティアを探していく。(生活相談員を中心に地域や社会福祉協議会を活用) 個別での活動を午後の時間を中心に行なっていく。 職員で出来るクラブ活動(書道・フラワーアレンジメント・アートセラピー等)を両ユニット合同で行っていく。	うまくニーズを聞きだせず、個別の活動に繋げる事が出来なかった。数名のみ塗り絵・計算等を行っている状況。
8月以降	24時間シートを元に個人の活動を入居者全体に広めていく。 ボランティアを決めて日程の調整をする。 ボランティアをユニットに呼び活動して頂く。 好評だった職員でのクラブ活動を定期的で開催して活動の幅を広げていく。 ボランティア・クラブ活動の見直しや検討を定期的で開催していく。	塗り絵や計算等の個別の取り組みをする事が出来たが、全体でのボランティアは導入する事が出来なかった。

④ユニットリーダー(主任)・サブリーダーの業務内容の確立を図る。

→業務内容を共有し、役割分担をすることが出来た。しかし、時間調整がうまくいかず、新たな役割業務に対し段取り良く遂行できない場面があった。今後の課題とする。

(2) 内部研修

① 施設全体研修 (全部署共通研修)

※本体施設・特別養護老人ホーム飛羽ノ園事業報告参照

② 部署内研修 (とわ職員のみ対象)

施設目標(ユニットとわ)に準じた部署内研修でケアの方向性を再確認し、理解を深めたが、人員配置の特性上集まることが難しく開催が少なかった。

日時	内容 (対象者)	参加人数
7月10日(金)	認知症への理解とケア	6
3月10日(木)	緊急時の対応	6

③ 外部機関研修

研修内容	参加予定者	参加者
認知症介護実践者研修	なし	中島 勇一
認知症介護実践リーダー研修	白橋 翼	なし

※その他の外部研修については従来型の【年間一覧】に記載

(3) ユニット別反省

わかくさ	<p>テーマ【ゆとりのある入居者目線での介護】</p> <p>入居者のできる事は職員間でコミュニケーションを図りながら連携し支援することができたと思う。しかし、入居者1人1人と向き合い、じっくりニーズキャッチするまでには至らず。「入居者目線」での暮らしの見直しは今後の課題として継続して取り組んでいきたい。</p>
------	---

【個人別】

<p>ユニットリーダー</p> <p>畑 仁</p>	<p>業務改善については普段の業務に追われてしまいなかなか職員間で話し合うことができずに実際に改善をすることができなかった。入居者視点での介助は自分なりにできていると思っていたが客観的に見るとまだまだできていないことがあった。</p>
<p>高橋 文</p>	<p>入居者個人に合わせた支援を行いできる事は大切にできたと思うが業務の忙しさで思いをおろそかにしてしまうことも時折見られた。</p>
<p>中島 勇一</p>	<p>転倒の回数は減ったと思うが自分で動ける入居者の転倒が目立ったので自立している入居者の見守りの仕方をもっと工夫できればよかった。</p>

高橋 洋子	目標に向かい業務に取り組みながら努力をすることができたと思う。
川島 秀夫	入居者個人個人に合わせて介護はできる様になってきたが情報を集約することができずに細かいところまで配慮できなかった。
永井 享美	クラブ活動に力を入れてきたが入浴や他のイベント等で参加者が徐々に減ってしまい自然消滅してしまった。

むべ	【穏やかで居心地の良いユニット】 職員同士のコミュニケーションが不足してしまい、不満やストレスにつながってしまった所があった。しかし協力できる事はしっかりとコミュニケーションが取れて連携することができたこともあった。入居者のケアについても残存機能を活かしたケアができて入居者、職員ともに笑顔も多く見られた。
----	--

【個人別反省】

ユニットリーダー 白橋 翼	入居者の思いを生活に活かせるように日々コミュニケーションを図りながら取り組めたがケアプラン等に活かすことができなかった。資格については勉強不足もあり今年度はチャレンジすることができなかったのので来年度の課題としたい。
竹内 真奈美	入居者が落ち着けるようなスペース作りはあまりできなかったが、居室の整理や本人に合ったベッドの位置、変更を行なうことができた。今後も一人一人が過ごしやすいスペースを整えて行きたい。
本橋 大樹	入居者の対応において視野を広げて様々なことに対応してきたつもりではあるが、細かい行動や変化に気付くことができなかった。
山中 阿紀子	作業としての業務を理解することはできてきているが、知識不足もありスムーズにこなす事はできなかった。
宮本 綾子	介助において安全第一を心掛け対応できたが、散歩する時間はあまり取れなかった。介助も積極的に取り組めると良かった。

(4) 行事報告

月	日	内容	参加者			
			利用者	職員	その他	計
4	14	クラブ活動	6	3	0	9
	28	クラブ活動（特別編：餅つき）	20	3	0	23
	1	柏餅づくり	20	4	0	24
5	10	母の日	20	4	0	24
	12	クラブ活動	5	2	0	7
	19	クラブ活動	6	2	0	8
6	1	クラブ活動	5	2	0	7
		バナナピザづくり	20	5	0	25
	21	父の日	20	4	0	24
7	2	冷やし白玉ぜんざいづくり	20	4	0	24
	10	ところてん	20	4	0	24
8	1	かき氷	20	5	0	25
	22	花火大会	18	8	0	26
9	1	フレンチトースト	20	3	0	23
	10	さつま芋の茶巾づくり	20	5	0	25
10	1	ホットケーキ	20	3	0	23
10	28	紅葉ドライブ①	3	3	0	6
11	2	さつま芋入り蒸しパン	20	5	0	25
11	5	紅葉ドライブ②	3	3	0	6
	6	紅葉ドライブ③	3	3	0	6
	10	かぼちゃのタルト	20	3	0	23
12	10	プリンアラモードづくり	20	3	0	23
12	20	クリスマスパーティー	19	7	22	48
1	7	初詣①	3	3	0	6
	11	初詣②	4	3	0	7
	12	初詣③	3	3	0	6
2	15	チョコレートファウンテン	20	5	0	25
3	1	桜餅・抹茶	20	4	0	24
	10	ビスケットケーキ	20	4	0	24
	31	お花見	4	2	0	6

※従来型・とわ合同イベントについては従来型行事報告参照

※その他、毎月ユニット毎に手作り昼食会の開催あり⇒P30 参照

平成 27 年度 第 1 回 家族会総会会議録

日 時 平成 27 年 5 月 17 日 (日) 午前 11 時 00 分～11 時 45 分
場 所 飛羽ノ園ディサービスホール
参 加 家族 39 名 和田施設長・河田室長・笠原相談員・沼尻相談員・宮本看護師・小松崎主任・飯村主任・畑ユニットリーダー・椎名・関・本田・松本 (書記)

1. 家族会会長挨拶

笠原相談員 それでは只今より、平成 27 年度第一回家族会総会を始めます。
宜しくお願い致します。

それでは次第に則って進めさせていただきます。

最初に会長挨拶ということで仲田様お願い致します。

仲田会長 皆さん、こんにちは。

総会にご出席いただきましてありがとうございます。

10 時からは奉仕作業お疲れ様でした。私の父親も入所しているんですが、今回初めて参加しました。家族会は全 4 回ですかね。私もなるべく 4 回参加したいと思いますので、皆さんご協力願いまして、それから、本年度の施設長の方が和田さんに変わりました。一生懸命勉強していますので、一緒に頑張っていきたいと思います。

2. 施設長挨拶

笠原相談員 ありがとうございます。続きまして、施設長挨拶をお願い致します。

和田施設長 改めまして皆さん、こんにちは。

今日はお暑い中、奉仕作業とご寄附ありがとうございます。本来でしたら、「今日

は良い天気ですね」という言葉が飛び交うところだったんですが、奉仕作業をする中、「暑いですね」という声が飛び交ったのではないかと思います。今、仲田会長からお話があったかと思いますが、今年度 4 月 1 日から飛羽ノ園の施設長に就任致しましたこと、改めてここでご報告させていただきます。まだまだ至らないところがあるかとは思いますが、とにかく施設長という業務を前を向いてしっかりやっていく所存でございますので、何かありましたら言っていただけたらと思います。どうぞよろしくお願い致します。

あとは施設内のことなんですが、皆さんにひとつお願いがございます。面会に関してですが、普段から皆さん来れるタイミングで来ていただい

と思います。来ていただいている方はこれからも継続してどんどんお願いしたいのですが、来るのが少ないかな、なんて思っている方がいらっしゃいましたら、年に1回でも2回でも来れる回数を増やしていただいて、ご入居されているご家族の心の支えになっていただけたらな、と思っています。皆様のご都合もあるかと思いますが、年に1回でも2回でも増やしていただいて、ここに来る回数を増やしていただいて、職員と一緒に利用者の心の支えになっていただきたいなと思っています。ここに入居されている利用者は認知症を患っていたり、色々不安になったりとかここでしか見られない表情というのもあります。ただ、皆さんの支えであるとかお話をしている時というのやはり安心して落ち着いてにこやかにされていることがあります。職員の日々の業務の中に皆様のご協力が少しあれば変わっていくと思うんです。職員はどうしても利用者3人に対して1人という体制になっておりますので、日々の中で、隅々まで手が回らないということもあります。そんな中、日中少しでも顔を出していただければ安心だと思いますので、ご協力をこの場でお願いしたいと思います。以上になりますが、今後ともよろしくお願い致します。

3. 議題

笠原相談員 ありがとうございます。

続きまして、次第では室長挨拶となっております。介護職員初任者研修事業で室長として河田、昨年まで飛羽ノ園の施設長をしておりましたが、少し到着が遅れておりますので先に進めさせていただきたいと思います。ご了承ください。

では4番に移りまして、①平成26年度家族会事業報告書について、②平成26年度家族会収支決算報告書についてと、通して進めさせていただきます。中を見ていただきますと、平成26年度飛羽ノ園家族会事業報告書とあります。上から読ませていただいて、ご報告とさせていただきます。

会長・会員の皆様と、施設の動向・利用者のニーズ等密に話し合いを実施し、園の行事に積極的に参加して頂いた。また、タオル等寄付を頂き処遇に役立たせていただいております。家族会としましては、

第一回を5月11日

- ・懇談会
- ・平成25年度家族会事業報告書について
- ・平成2年度家族会収支決算報告書について
- ・今年度の事業計画について
- ・利用料引き落としについて
- ・通帳残高確認、ケアプランの同意

参加ご家族が 35 名

第二回 9 月 7 日

- ・懇談会
- ・満足度アンケートについて
- ・インフルエンザ、肺炎球菌ワクチンについて
- ・クリスマス会プレゼントについて
- ・通帳残高確認、ケアプランの同意

参加ご家族 37 名

第三回 12 月 21 日

- ・懇談会
- ・会長選出「仲田秀治氏」承認
- ・インフルエンザについて
- ・肺炎球菌希望者について
- ・通帳残高確認、ケアプランの同意

参加ご家族 37 名

平成 26 年度家族会会長 仲田秀治様、副会長 広瀬様、酒井様

参加行事では、8 月 17 日納涼祭参加者 65 名、9 月 7 日敬老祝賀会 49 名、12 月 21 日クリスマス会 52 名となっております。以上です。

平成 26 年度飛羽ノ園家族会収支決算報告書

歳入：前年度繰越金 42,950 円、受取利息 26 円、平成 26 年度会費 140,000 円

歳入合計：182,976 円

歳出：家族会総会はがき 66 枚 3,432 円、飛羽ノ園広報紙 56 通 3,584 円

家族会案内 58 通 3,856 円、納涼祭案内 64 通 4,108 円

納涼祭食事代 21,000 円、敬老会案内 67 通 4,288 円、

敬老会食事代 21,000 円

飛羽ノ園広報紙 63 通 4,068 円、クリスマス会案内 68 通 4,352 円

クリスマスプレゼント 1,000 円×70 名 70,000 円

飛羽ノ園広報紙 64 通 4,096 円

となっております。以上で次年度繰越金が 18,192 円となります。上記の通り報告致します。以上です。

4. 研修室室長挨拶

笠原相談員 ありがとうございます。

では次第に則ります。只今河田室長到着されましたので、研修室室長挨拶ということでお願い致します。

河田室長 皆さんこんにちは。3月まで飛羽ノ園で施設長をさせていただいておりました、河田と申します。初めての方もいらっしゃると思いますが、4月からは和田施設長ということで飛羽ノ園を動かさせていただいております。まだ4月、5月半ばということなのですが、積極的に動いていただいております。事業計画書というのが3月末にできあがりまして、5月の来週になりますが議会が開かれますので事業報告書というのを提出しなければならないので、和田施設長とお二人の相談員を含めてお手伝いさせていただいて、やっと出来上がったところです。理事会が通りましたら皆様にも報告書の方提示できますので、こういった動きを祥風会全体でしているのか気になるという方は事務所に申し出ていただければ小冊子になってありますので、ぜひ理事会後お越しください。

本当に10時からお暑い中皆さんたくさんの方お集まりいただき、玄関先だけ10時少し前に来て見させていただいて退出してしまいましたけれども、今見たら非常に綺麗になっておりまして汗の結晶のおかげだと思っております。ありがとうございます。私の方はここを退職致しまして、定年が65歳となっておりますので、そういう形で退職させていただきましたけれども次第の中にもありますように今年度から祥風会の研修室を本部、小松の一丁目にありますけども羽鳥ビルの方に立ち上げさせていただきました。そちらの6階の方で初任者、茨城県の初任者研修というのを行っております。これに関しては旧ヘルパー2級に代わるもので、本年度、今月13日に開校させていただいたんですけれども、今現在13名の受講生の方がおりまして、その中にはこれから介護を目指す人、既に介護を行っておりますけれどもまだ資格が取れていなくてあくまでも助士という立場で働いている方がおります。その初任者研修を3か月クリア致しますと市役所から修了書が発行されましてそこで初めて介護職員として認められます。そしてこの祥風会の中から主任やリーダーがいますけれどもそちらも講師という形で参加いただいております。ですから施設の中で働いている方は勿論自分の勉強にもなります。色んな資格が取れるんじゃないかと思っております。もう一つ初任者研修の一貫と致しまして社会福祉法人祥風会、職員数が150名を突破致しまして160名くらいおります。年に2回しか集まる時期がありません。3月末に行われます歓送迎会、12月末に行われます忘年会、この2回しか全員で顔を合わせる機会がないものですから、今年度は法人内

の連携もということで専門職、介護、事務職全部合わせて研修を年に 2 回ほどやっていただくという、本部の方で予定となっております。来週はケアマネージャーの椎名が、うちの方の居宅で活躍してもらっているんですけども、法人内で 10 名にも及ばないんですが、介護職専門員、ケアマネージャーを集めて研修をやることになっております。初任者のほうは毎週水曜と木曜に研修を実施しております、7 月まで行います。もし皆さんのお知り合いの中で資格を取りたいという方がおられましたら今年度は通信制の介護職員初任者研修もございますので、そちらの方も計画していきたいと思っております。後からきて長々と申し訳ございません。これからも祥風会、飛羽ノ園、特別のお計らいをよろしくお願い致します。ありがとうございました。

笠原相談員 ありがとうございました。では次第に戻らせていただきます。

私、流れるように事業計画書と決算書を読ませていただいたんですけども、皆様に拍手を以て承認という形を取らせていただきます。

(拍手)

笠原相談員 では順序が逆になってしまいましたが、拍手を以て報告書と決算書の承認を頂けたということで、ありがとうございます。

では続いて③介護保険改正についてお話しさせていただきます。

介護保険が改正となりまして、色々な面で変わってはいるんですけどもこの場ではご家族様と一番密接な利用料金について少しお話させていただきます。既に郵送で新しい料金表と同意書ということで見ていただいているんですけども、中まで説明する機会がなかったのでこの場になってしまったんですが、説明させていただきます。料金表の方お配りしていないので、ここが変わります、という形で説明させていただきますのでご了承ください。

まずは従来型から説明させていただきます。従来型ご利用の皆様に対しては今年度 4 月時点での改正と 8 月の改正と 2 段階に分かれて改正があります。どこの部分が変わったかと言いますと、4 月の改正の時点で基本報酬の部分が下がっています。その代りではないんですけども、お部屋代が 50 円値上がりとなっております。段階を経て 8 月の時点で基本報酬がさらに下がります。そしてお部屋代がさらに値上がりとなりまして 470 円アップということになります。この捉え方としましては、4 月の時点の 50 円アップというものは家計調査による光熱水費の日中費用が現在 320 円が平均なんですけれども、基準を下回るという結果が出ておりまして、それを基準に合わせるということで 50 円アップしなさい、という通知が来ております。

(和田施設長訂正：基準が上回っていて、現在までのものが下回っていた

ので基準に合わせるという形で 50 円アップとなっております。) 8 月の時点では 470 円アップということで大分上がってしまうんですけども、従来型のご利用者様に関してはこれまでのお部屋代という名目が光熱水費のみの料金で頂いていました。光熱水費だけではなく、お部屋としての料金も加えるということで、470 円が室料としての料金として上乘せになります。またまとめてご質問はお受けいたしますので、続けさせていただきます。従来型の方は 4 月と 8 月に改正がありますのでよろしくお願い致します。続きましてユニット型の改正についてなんですけれども、ユニット型では 4 月の時点で介護料が下がります。お部屋代はそのままとなります。8 月の変更はなしとなっております。ユニット型のお部屋代が変わらない件に関しては元々の設定がお部屋代が含まれた料金ということで頂いておりますので、従来型の変更に關わるユニット型の変更はないということに至っております。説明が下手で申し訳ございません。ということで利用料金変わってきますのでご了承いただきたいと思ひます。

加えて今行政の方に確認できている情報提供の範囲でしかお話ができないんですけども、料金に關して 1 点 8 月の時点で変わる部分がありますので、情報提供という形でお話しさせていただきたいと思ひます。こちらは従来型、ユニット型関係なくどちらの方も対象となっております。介護保険の負担割合に關してです。現在皆さんにお支払いいただいている介護保険は 1 割負担とさせていたひているんですけども、8 月から基本的に全員が 1 割負担ではなく、その方の合計所得額に合はせて 1 割の方、2 割の方が出てくるということです。これは市の方で把握をした上で「あなたは 1 割ですよ。あなたは 2 割ですよ」ということで介護認定を受けている方宛に通知が届くということでしたので、届き次第ご家族様にはその料金を納めていただこうと思ひております。もう一点が介護負担限度額認定証に關してです。認定証なんですけれども、こちらも 8 月で更新の時期になるんですけども、そのタイミングでこれまで個人の収入に合はせて限度であるかないか判断されていたんですけども、収入だけではなく預貯金等の資産についても加味されます、ということで話が来ております。今回のことで申請に關して資産の面で色々資料を添付して申請しなければならに様な形になるようです。それに関しても 6 月中に届くよう準備はしてありますという話を市役所の方から聞いたんですけども、通知が届き次第、ご家族の方に速やかにお渡しできるように致しますので、皆様の方で申請のお手続きをお願いできればと思ひます。これまで毎年こちらで申請の代行ということですのですべての方の申請を行っていたんですけども、資産面の資料の添付が加はることで施設ではそこまでの把握は難しいというのがどうしても

ありますので、申請に関してはご家族様で間違いなく行っていただきたい
と思います。その時期が来ましたらまた改めてお知らせ致しますので、こ
のようなことがあるというのを少し頭の中に入れて帰っていただけたらと
思います。

今の時点で質問等ございますか？

菅田様 料金は上がっても、職員の方のお給料が上がらないと大変だと思うん
ですが・・・

和田施設長 ご心配頂いてありがとうございます。今回この4月の改定の時に基本報酬
が引き下げられております。ただし、介護職員処遇改善加算というものが
2.5%から5.9%に上げられています。その部分というのはご利用者様の実績
に応じてなのですが居た日数、ショートステイの方とかに応じて改善加算
が加わります。そのお金に関しては別枠で給付があるような形になってお
りまして、職員の処遇に関してしか使えない、とされております。基本報
酬は下げられているので、運営面は厳しくなってくる部分もありますが、
職員は実質ベースアップという形になっております。また、介護保険の限
度額の改正についての説明で追加なのですが、今まで皆さん介護保険限度
額2をお持ちの方、第二段階、第三段階の方が対象なのですが、やはりそ
の辺の条件的な内容なのでご心配されることではないと思うのですが、た
だ今お話があった通り、預貯金について申請しなければいけないんですよ、
という流れです。それに関しては最初にあった通りご家族の方で申請をお
願いしたいのですが、これに関して1つお願いがございまして、その申告
が漏れてしまったり申告をしなかった場合もペナルティが発生しまして補
足給付分を含めて返金、あとは倍返しというお話がありまして、最大3倍
返しを以て返さなければいけないよ、という内容になっております。その
辺が現実にとどこまでやられるのか私たちにも分からないんですけども、
しっかり申告しないとそのような事態にもなり兼ねないので市役所の方
にも問い合わせをして対応していきますが、皆さんも分からないところは市
役所に問い合わせしていただくようよろしくお願い致します。

笠原相談員 ありがとうございます。その他何かご質問等ある方はいらっしゃいます
か？

また時期になりまして分からないことがあれば、ご相談という形であれば
いくらでもお手伝いさせていただきますので遠慮なく声をかけていただ
ければと思います。

では介護保険改正についてのお話は以上とさせていただきます。続きまし
て④今年度の事業計画について、沼尻相談員よろしくお願い致します。

沼尻相談員 平成 27 年度行事予定のほうご覧下さい。今年度は 5 月の 11 日（月）に健康診断を行いました。本日 17 日（日）、奉仕作業ありがとうございました。第一回飛羽ノ園家族会総会、現在行っているものです。6 月になりまして 23 日（火）に日帰り旅行としまして、本年度は目的地を東京スカイツリーとしています。その際の費用は一人 11,000 円程度を予定しております。7 月には花火大会の方、日程は決まっていないのですが予定しております。8 月になりまして 2 日に納涼祭の方行いたいと思います。9 月 13 日（日）、飛羽ノ園家族会総会と敬老祝賀会となっております。12 月 20 日（日）、第三回飛羽ノ園家族会総会とクリスマス会、ユニットの方ではクリスマスパーティーを予定しております。年が明けまして 1 月 1 日（木）元旦式となっております。こちらに記載したものは比較的大きな行事となっております。他にもユニット単位で小規模な企画がありますので、それについては職員の方に聞いていただければ日程をお伝えすることができると思いますので、聞いていただければと思います。

以上が平成 27 年度行事予定となっております。

笠原相談員 ありがとうございました。

※資料に関して、「総会」と名の付くものは第一回のみであると訂正。

では⑤その他と致しまして、施設への要望ですがその前に現場から今日は主任の方も顔を出してもらっていますので、職員紹介としてお時間を頂いてもよろしいでしょうか？

以下自己紹介

笠原相談員 生活相談員の笠原と申します。本年度もよろしくお願い致します。

沼尻相談員 2 月から生活相談員をさせていただいております沼尻と申します。1 月までは祥風会が経営しております、憩いの里の方で現場の方を担当しております。今回は生活相談員のお話を頂きまして、ご迷惑をお掛けするとは思ったんですが、挑戦しようと思い、やらせていただいております。これからご迷惑をお掛けすることも多いかと思いますが、できるだけ早く皆様のお役に立てるように頑張りたいと思っていますので、今しばらく温かい目で見守っていただければと思います。

小松澤主任 二階の特養部で主任をさせていただいている小松澤雅美と申します。昨年に引き続き今年も「オムツゼロ」ということで取り組んでおります。昨年もやってみたのですが、一人一日水分を 1500ml 取るとかたくさん歩いてもらうということに中々難しさを感じています。介護職だけではなくてドクター、看護師、ケアマネージャーと協力して達成できたらと考えていますのでよろしくお願い致します。

飯村主任 二階の従来型の方で介護主任をさせていただいております飯村和也と申し

ます。入所様が安心して生活していただけるように励んでまいりますのでよろしくお願い致します。

宮本ナース 特養の方、医務室を担当させていただいております宮本と申します。現在6名の看護師で安心して生活していただけるように励んでおります。先日も健康診断をさせていただいて、血液検査と胸の写真を撮って現在結果待ちとなっております。特別悪い方はいらっしやらないと思いますが、結果が出次第、今高先生と相談して～方には連絡させていただきたいと思っております。あともう一つなんですけれども、肺炎球菌、皆さんご存知だと思っております。球菌の補助が出る方で住所がここになっている方には届いています。去年は結局負担金が出ますので強制ではなく任意という形でさせていただいているんですけれども、毎年やらない方には役場からこうして送られてきます。ですから今高先生と相談して特別事情がない限り体調に合わせて肺炎球菌の予防接種をさせていただきたいと思っておりますが、よろしいでしょうか？一人4,000円くらいの負担が出るんですけれども、肺炎菌もたくさんありますので全てに効くというわけではないらしいんですけれども、一番かかりやすい肺炎に関する予防接種ということらしいです。うちの家族はいいですよ、という方がいたら申し出てください。日々安心して生活して頂くためにはご家族のご協力が本当に必要になってきますので気になったこと、小さいことでも構いませんので、要望等ありましたら事務所の方に言っていただければと思います。よろしくお願い致します。

畑主任 ユニットリーダーと主任をさせていただいております畑と申します。ユニットの方も4年目に入りました。日々様々な変化や問い掛けも行なっていきたいと思っておりますのでご協力お願い致します。よろしくお願い致します。

関 従来型の栄養士とケアマネージャーをしております関と申します。ユニットの方も見させていただいております。本日はケアプランの確認とサインをお願いしていたと思うんですけれども、分からないことがあれば聞きに来ていただければと思います。よろしくお願い致します。

椎名 居宅介護支援事業と地域の在宅介護支援事業を兼任しております椎名と申します。よろしくお願い致します。

本田 事務職員の本田です。これからもよろしくお願い致します。

松本 4月からこちらの飛羽ノ園で事務職として働かせていただいております松本明日美と申します。まだ分からないことばかりで、皆さんのお名前と顔を間違えてしまったりとかまだあると思うんですが、よろしくお願い致します。

笠原相談員 ありがとうございます。

では職員紹介は以上とさせていただきます、その他の施設への要望とい

うことで何かご意見があればお伺いしたいと思います。

和田施設長 せっかくのこういった場なので、忌憚のないご意見をいただいきたいところなんです、おそらくこのような場なので手を挙げにくい方もいらっしゃるかと思います。また後でも、相談員もいますので言っていただいて、どんどん意見は受け止めて取り組んでいきたいと思っておりますのでご安心ください。よければ手を挙げてください。

椎名 本年度なんです、毎月第一日曜日に「ふらっと HIWA」という場を設けています。皆様のご相談でも構いませんし、皆様のお近くにいらっしゃる方の相談でもお声かけ頂いて相談して頂ければと思っておりますので、よろしくお願い致します。

笠原相談員 ありがとうございます。他になれば個人個人で面談した時に言っていただければと思っております。ケアプランの同意と通帳残高確認という流れでいつもならいくんですが、時間も押していますので先に懇談会ということで進めていただきましてまた後で玄関の方でサインいただけるように準備しておきますので、皆様お立ち寄りいただいてサインをお願いできればと思っております。では⑤の懇談会ということで仲田会長と酒井副会長で進めていただければと思っております。

5. 懇談会

仲田会長 私も初めてなんです、ご家族だけで懇談会ということですから施設への要望とか色々な事、伝えたいことがあれば私に言っていただいて名前を出さないで私から伝えますので、なんでもどうぞ言っていただければと思っております。私は地元に住んでるんですよ。小松の郵便局の裏に住んでいます。小松の1.2.3丁目の区長をやっているもんですから、わかりますから。何かあれば、直接ではなくても要望とかもし言いづらければ私に言ってください。変えていくことがあればその方がいいと思っております。

なければこれで終わりにしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか？

(拍手)

ありがとうございました。

笠原相談員 ありがとうございました。それでは懇談会終了をもちまして第一回家族会総会を終了とさせていただきます。ありがとうございました。

平成 27 年度 第 2 回 家族会会議録

日 時 平成 27 年 9 月 13 日（日） 午前 10 時 30 分～11 時 00 分
場 所 飛羽ノ園デイサービスホール
参 加 家族 42 名 羽鳥理事長・村山事務長・和田施設長・笠原相談員・沼尻相談員・
宮本看護師・椎名・本田・松本（書記）

笠原相談員 「これより飛羽ノ園第二回家族会を始めたいと思います。よろしくお願
いします。まずはじめに、家族会会長挨拶ということで仲田様よろしくお
願いします。」

1. 家族会会長挨拶

仲田会長 「皆さんこんにちは。家族会の会長をしております、仲田と申します。私
も家族会は昨年暮れからで何も分かりません。今私はこの地元の地区
長をしております。今年の夏は猛暑で小松でも一人暮らしの方が熱中症
で亡くなりました。ここに居れば本当に安心していられるのではないか
と思います。また、この豪雨で常総市が本当に大変なのですが、この小
松の近辺では一カ所道路が陥没した程度で被害が済んだようです。今日
はこれから議会があります。その後、二階で敬老祝賀会があります。皆
さんどうぞよろしくお願ひ致します。どうもありがとうございました。」

笠原相談員 「ありがとうございました。続きまして理事長挨拶お願ひ致します。」

2. 理事長挨拶

羽鳥理事長 「皆さんこんにちは。今日は豪雨の後でご家庭でもお片付けとか色々ある
かと思います。稲刈りが終わった所はラッキーでしたが、稲が倒れてい
てどうやって稲刈りをするのか、という所もありました。うちの中でも
少し坂になっている所は木端が落ちてきて溜まっているような所もあり
ましたから、そんな忙しい中で来ていただいてありがとうございます。
本日、敬老会と重ねての家族会ということです。今年は最高年齢が 98 歳
です。また、米寿の方も 3 名おります。そのような形で敬老会を進めたい
と思います。

私はいつも申し上げておりますが、ここは自分の部屋の延長だという風
に考えていただいて、何か思いついたこと、忌憚のないことをどんどん
言っていただいて、この飛羽ノ園もより良い施設にしていきたいと思
います。また、もし良い事がありましたら、それも言っていただけたら職
員の励みにもなると思いますので、一つ宜しくお願ひ致します。」

笠原相談員 「ありがとうございました。では、施設長挨拶お願い致します。」

3. 施設長挨拶

和田施設長 「皆さんこんにちは。本日はお忙しい中ご参加ありがとうございます。まだまだ私もネクタイとスーツがピシッと似合うところまでいってないんですが、なるべく早くこれに見合うような行動を取れるように頑張ろうという所であります。先日の台風18号の被害で同じ茨城県の常総市、下妻辺りが大きな被害を負ったというところなんですけど、実は職員の中でも、あとは職員のご家族の中でも数名実際常総市にいらっしゃる方がいて、被害を受けたという方がいました。幸い大事に至ることはなかったという報告を受けております。今後の施設運営におきましても、毎月火災訓練を行っておりますが、風水害と色んなあらゆる災害を想定した訓練を今後必要とするのではないかと考えております。また災害が起きた後、どのような行動を取るべきかというシミュレーションも考えながら、備えをしっかりとできている施設ということで防災計画を立てていき、地域と連携しながらいざという時の準備をしていきたいと思っております。私が施設長になりまして数カ月ではありますが、今までとはやはり違った視点で施設を見るようになりました。また違った視点で見ていくと改めてご家族様のご協力の大切さや職員の個々の力の大切さをとても感じている所でございます。そんな中先日、川崎の有料老人ホームの、皆さんテレビでご存知かと思いますが、ベランダから落ちてしまったというよく内容の分かっていない方が3名いらっしゃったりとか、実際にご家族様が撮影した虐待の映像が報道されているところでございます。同じ老人施設としてとても心の痛む話でございます。うちの施設では必ず一年間の間に色々勉強会を設けておりまして、職員の教育、権利擁護であったり高齢者虐待であったり、そういうことには力を入れております。力が入れているんですが、やはり第三者のご家族様からの目というのも非常に大切にしていかなければいけないと思っております。利用者へのちょっとした態度や声のかけ方で万が一何か気になる点がございましたら、ご遠慮なく相談員や施設長までお話し下さい。やはりそういうところは早い対応が必要になってくると思っております。これからより良い施設づくりをしていくのに皆様のご協力が必要になってきますので、どうぞご意見を宜しくお願い致します。簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。」

笠原相談員 「ありがとうございます。それでは議題に入っていくところなんですけれども、挨拶の方は時間の関係で省略させていただきますが、今回参加している職員についてこの場で紹介だけさせていただければと思います。」

(村山事務長、宮本看護師、椎名の紹介)

4.議題

笠原相談員 「生活相談員をさせていただいております笠原です。よろしくお願い致します。沼尻も今日は出席しておりますので、相談員の沼尻です。皆さんとお顔はよく合わせてはいるんですけれども、なかなか挨拶で留まってしまっていて、よく話ができなくて申し訳ありません。こういう場を借りて少しでもコミュニケーションを図れたら嬉しいなと思っておりますので、よろしくお願い致します。

それではさっそく議題の方に入らせていただきます。まず議題の括弧 1 番、入所者の生活についてということで、今回はまた肺炎球菌のお知らせで時間を使わせていただきたいと思います。宮本看護師からお願いします。」

宮本看護師 「皆さんこんにちは。まず医務室から、毎日を穏やかに生活していただけるように日々声掛けをしたり、ワーカーさんとは職種を超えて協力したりしております。その中で肺炎球菌のことなんですけれども、今年は特に暑かったり寒かったり厳しい季節の変化がありまして、年配の方にしてみれば少しきつい夏だったと思います。冷房もかけていますし。その中で熱発者も結構出まして、その都度利用者様のご家族にはご協力いただき申し訳ございませんでした。今後インフルエンザや肺炎が流行る時期になってきますので、役場の方から負担を頂けまして肺炎球菌の予防接種表が送られてきています。前回の 4 月のときにもお話したんですけれども、大体意識も高まってきてましてなるべく全員が受けた方がいいのではないかという主治医の方からのお話です。今ここにいらっしゃる方の大半は受けていらっしゃると思いますが、やってない方に関しましては先生の診察の後に許可が出ました方に関しましては、申し訳ないんですが、ご家族の方の要望ももちろん含めますけども全員接種という形でもっていきたいと思うんですけれども、その点のご了解をお願い致します。もしアナフラキシーやうちのおじいちゃんおばあちゃんはこの予防接種をするとこんな風になってしまうというのがあったら早めに医務室の方にご連絡いただければ対応します。大体 10 月を目安にしております。少し個人負担がかかってしまいます。前は強制、強制って言い方は少し

おかしいんですけれども、なるべく肺炎を起こさないよう役場から補助が出るということを利用していただいて、皆さんの健康を維持するために実施したいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。医務室からは以上です。」

笠原相談員 「ありがとうございました。ご協力よろしくお願いいたします。」

では続いて、クリスマス会プレゼントについてです。私から失礼します。毎年この第二回家族会の時にお話しさせていただいているんですけれども、クリスマス会で入居者の方全員にクリスマスプレゼントをご用意させていただいています。その中でこちらで家族会の中から予算を計算させていただいて、少し補助をお願いする形を取っています。その年によって金額が少し変わってくるんですけれども、今年度は一人につき 500 円ということでご協力をお願いしたいと思います。」

(拍手を以て承認)

笠原相談員 「ご了承いただけたということでよろしいでしょうか？ありがとうございます。ではまた喜んでいただけるようなプレゼントを考えて、クリスマス会準備をしたいと思います。」

では括弧 3 番施設への要望ということで、せっかくのこの場ですので何か皆様普段から思っらっしゃることですとかありましたら、ご意見いただければと思います。いかがでしょうか？」

仲田会長 「皆さんなんでも結構ですから、施設への要望ですから、こういうことをしてもらいたいとか何かございますか？」

大住様 「大住なんですけれども、主人が入れ歯を外していますから、咀嚼がし難いようなんです。」

笠原相談員 「皆様の口の兼ね合いで諸事形態は一応見てはいるのですが、もし今現在かなり食べずらさを感じているような食事形態なのであれば大住様に限らず、皆様見直しさせていただいて美味しく安全に食べられる方法を考えていきたいと思います。特別大住様に関しては、詰まらせてしまったり、飲み込めないというお話はないので、むやみに形態を下げるようなことはしていないと思うので、それが苦になっていないかというのを改めて確認したいと思います。」

大住様 「今までは病院でサンドイッチとか食べていて、柔らかいものにはしていたんですけれども、やっぱり噛み切れないので、家から持って行ったものを食べさせたら食べたんです。」

笠原相談員 「おそらく徐々に咀嚼の機能だったりとか落ちていくとも考えられます。それを向上させるっていうのはなかなか難しかったりするので、もし本人にとって今までの物が食べるのが難しくなってきたな、というときは

ご家族様にもその旨お伝えして、事前にどういった物を外に行ったとき食べてもらったらいいか、先にこちらでもご相談をかけるようにしていきます。」

大住様 「この間は中にいろんな物を入れたおじやお弁当のようにして持って行って食べさせたんです。そしたらスプーンで掬って美味しい美味しいって食べたんです。だからその前の時はそんな状態で、サンドイッチも私が手でちぎって食べさせたんです。だから今度はそういう風にして持って行ったんです。」

笠原相談員 「咄嗟に対応して下さったので良かったです。もっと報告していくようにしますので、よろしくお願ひします。」

和田施設長 「大住様のように個別の介護であったり、生活の中での相談など生活相談員のほうで受けるようになっていきますので、笠原と沼尻に気になることはどんどん相談してください。時間の方しっかり取りますので。またその他で施設に対しての何かちょっとしたことでも構いませんのでご要望がありましたら、今ここで言うのは何だかな、という方は改めてこちらに来ていただければお話を伺いしたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひ致します。」

笠原相談員 「ありがとうございます。今回受付の際に満足度調査ということでアンケート用紙をお配りさせていただいております。この場で発言はちょっとした、とお考えの方がいらっしゃいましたらこちらの方に記入していただいて提出していただければこちらでまた改善させていただきますのでよろしくお願ひ致します。受付の方にアンケート回収ボックスを設置しています。一応分かるようにして敬老祝賀会が終わる前、終わってお帰りになるまではボックス設置しておきますので、帰りまでにもし良ければ記入していただいて提出をお願ひできればと思ひます。よろしくお願ひします。要望の時間はこちらで終了とさせていただきますのでよろしいでしょうか？

では括弧 4 番、ケアプランの同意についてということですが、事前に同意をお願ひしたい方に関してはお渡ししていますのでここでは特別なということでは飛ばさせていただきます。

では括弧 5 番その他ということで通帳預金残高確認の時間とさせていただきます。通帳は皆様事前に確認済みということで、まだ見ていない方いらっしゃいますか？もしいらっしゃった場合は終わった後にでも声を掛けていただければすぐ確認していただけますのでよろしくお願ひします。

はい、ではありがとうございました。議題としては以上となります。こ

の後は懇談会の時間ということで仲田会長の方をお願いしたいと思いま
す。何かありましたらお声掛けください。よろしくお願いします。」

5. 懇談会

仲田会長 「では飛羽ノ園の方は退席されましたので、何か気になることがあれば私
から言いますので、先ほどのここに対する要望等何かありますか？なけ
ればこのアンケート、先ほどお話しあったようにこちらに書いて出して
いただければ。ではこの場では要望等はいいですか？それではこれでこ
の家族会は終わりにしまして、上が準備出来ていないので皆さんここで
お待ちなっていて、上が準備でき次第上に上がってもらうことに
しますね。」

関様 「この紙は出していくのか？」

仲田会長 「この用紙、満足度調査は帰りまでに出せばいいですかね？」

松本 「はい。」

仲田会長 「無記名でもと書いてありますので、皆さんどしどし園に対して要望等あ
りましたら書いてもらえようお願いします。それではこの家族会をこ
れで終わりにします。ありがとうございました。」

家族会終了

平成 27 年度 第 3 回 家族会会議録

日 時 平成 27 年 12 月 20 日 (日) 午前 13 時 30 分～14 時 30 分
場 所 飛羽ノ園ディサービスホール
参 加 家族名 羽鳥理事長・村山事務長・和田施設長・笠原相談員・沼尻相談員
宮本看護師・椎名・本田・松本 (書記)

開会挨拶

笠原相談員 「それでは定刻になりましたので始めさせていただきます。
皆さんお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。飛羽ノ園家族会次第がお手元にあるかと思えます。次第に沿って進めさせていただきます。進行は私、相談員の笠原です。よろしくお願ひ致します。では、次第の 1 番家族会会長挨拶なんですが、今回は会長不在の為、副会長であります酒井様より挨拶をお願い致します。」

1. 副会長挨拶

酒井副会長 「皆さんこんにちは。本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。会長さんがいないから私の方から。日本の選手の話が出たり、今年は五郎丸の話が出たりね、そんな感じで優勝候補を破ったりで世界も大騒ぎでね、茨城でも今度ゴルフで商業高校の二年生の女の子がプロになるってことで、11 月の大会で 7 位に入ったんですね。それから今、茨城の水戸の方では 85 歳のおばあちゃんが『これなに珍百景』で 50kg のバーベルを 2 回上げてましたね。85 歳のおばあちゃんですよ。だから家族会の皆さんもね、寒いなんて言ってないで。私は卓球をやってるんです。卓球ではね、お孫さんだっけか、古い人はみんななくなっちゃうから、元気に頑張ってください。これで挨拶としたいと思います。」

2. 理事長挨拶

笠原相談員 「(副会長挨拶に対して) ありがとうございます。
続きまして理事長挨拶お願い致します。」

羽鳥理事長 「こんにちは。本日は暮れの非常にお忙しい中、また、貴重な休みの日においでいただきましてありがとうございます。本日家族会という事で、今スポーツの話出ましたけど、100 歳以上で 100m なんて世界記録も日本人ですよ。なぜか今全員にマイナンバーが配られておりまして、それについてこちらでも色々やるがありますので、一つご協力をよろしくお願い致します。」

す。あと、インフルエンザその他、利用者にあるんですがご家族の方ももし感染症等かかりますと入室禁止という形になりますので、できるだけ湿度の高い部屋で寝ていただいて加湿器を点けるなり、バスタオルを脱水機で絞ってかけるなりして、風邪など引かぬようにほんとに元気で新しい年を迎えていただきたいと思います。あと私今日ちょっとサンタさんやるのでね、動きやすい服装で失礼しました。そういうわけで一つよろしくお願い致します。」

3. 施設長挨拶

笠原相談員 「(理事長挨拶に対して) ありがとうございます。」

では次第の3番施設長挨拶お願い致します。」

和田施設長 「皆さんこんにちは。飛羽ノ園の運営に当たりましては日頃より皆様のお力添えでご協力いただきまして感謝しております。この場を借りて厚く御礼申し上げます。今年も残すところあとわずかとなりました。残りわずかとなったとき大体恒例の『今年の漢字』一文字っていうのがありました。『安』という字ね、安心の『安』なのか不安の『安』なのかというところで、新聞見えますとどうやら不安の『安』のほう背景にあるのかなと。安全保障の関連法案であったり常総市の水害があったりだとか世界各地でテロがあったりとか、そういったところで不安の『安』のほう背景として強いのかなというところですが、それを逆手にとって施設運営に関しては安心の『安』でやっていけるようにと考えております。安心の『安』にしていくためには前回の家族会でもちらっと触れましたがご家族様のご協力が何よりかなと思っております。こちらがハッとさせられるようなことでも、皆様から見たら言いづらいようなことでもどんどん話していただければ早い段階でこちらも気づけて改善していけるかなと思っております。何か気づいたことがあれば声を掛けていただきたいと思いますと思っておりますので、どうぞ遠慮なく言ってください。良い事もぜひ声を掛けていただけると私たちも励みになりますので、そういったことも声を掛けていただくと嬉しいかなと思います。そういうことで今後もご協力をお願いしたいと思います。簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。今日はよろしくお願い致します。」

4. 議題

- 笠原相談員 「(施設長挨拶に対して) ありがとうございました。
さっそく議題に移ります。まず議題の(1) 番家族会会長選出についてです。最初に少しお話させていただきましたが、現在会長が不在となっております。会長を務めていた仲田様が飛羽ノ園退所となりまして、同時に会長も解任という形になっております。ということでこの場で新たに会長選出を行いたいと思います。この先の進行は副会長の酒井様によりしくお願い致します。」
- 酒井副会長 「はい。立候補する人はいませんか？
別に難しくないと思うんですよ。いないかな。指名した方がいいかな。難しいかな。誰かいないですか？副会長は？会長を私がやったとしても副会長がいないとね。」
- 笠原相談員 「会長を設定した後で必要であればそれはまたこの場で決めたいと思うので、副会長の酒井様、このまま会長になっていただくということでもよろしいでしょうか？
(拍手を以て賛成)
では満場一致で酒井会長から改めて会長として挨拶をお願い致します。」
- 酒井会長 「私次やります。副会長さんは？会長は副会長やるわけにはいかないから。2つやれないから。」
- 笠原相談員 「酒井様会長になっていただいたという事であと1名の方。
不安に思っちゃる方多いと思うんですけども、特別副会長としての仕事、すごく負担のかかるものはないと思われます。という一言だけ付け加えさせていただいて。」
- 酒井会長 「指名でよろしいでしょうか？
(拍手を以て賛成)
じゃあ鷹部さんひとつお願いします。どうですか？よろしいですか？
(拍手を以て賛成)」
- 鷹部様 「はい。」
- 笠原相談員 「はい、では立っていただきました鷹部様、どうぞ前に。流れるように決まてしまいましたがよろしかったでしょうか？」
- 鷹部副会長 「はい、私では何も力になれないかもしれないんですけども、できるだけ努力して頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。
(拍手)
- 笠原相談員 「いま会長酒井様、副会長鷹部様と前に座っていただひておひます。本日ちょっと出席はできていないんですけども、副会長で廣瀬様いら

っしゃいますので、酒井様、鷹部様、廣瀬様ということで家族会の役員決定させていただきます。ありがとうございました。ではよろしくお願ひ致します。

では無事に選出ができたところで次の議題に移ります。(2) 番のマイナンバー通知カードについてです。お手元に確認させていただいた『マイナンバー通知カード受領書』とあると思います。説明をさせていただきます。皆様入所に当たって住所をこちらに変更して頂きまして利用者様のマイナンバーの通知カード届いております。こちらで今日まで保管させていただいたんですけども、施設側で検討させていただいた結果、現時点でマイナンバーが必要になることがないんですね。個人情報ということもありますので、一旦ご家族様のお手元に返させてもらって今後必要となったときに再度ご連絡して願ひするような形を取りたいと思うんですけどもよろしいでしょうか？

(領きを以て賛成)

今日のこの家族会の後もしくはそれぞれの場所で行われるクリスマス会の後に受領書をご記入の上、こちら事務所前にお持ちいただきまして受領書と通知カードを引き換えでお渡しさせていただくという事でお願ひしたいと思います。ご協力よろしくお願ひ致します。一応後ろに書くような机も用意してありますので時間を見つけていただいでご記入いただければと思います。印鑑を押す場所もあるんですけども今日お持ちでいらっしゃる方、お持ちでいらっしゃらない方いらっしゃると思います。一応こちらでお預かりしている印鑑を一旦お返しすることも可能ですので必要な方は引き渡しの時に担当の者に声を掛けていただければと思います。よろしくお願ひ致します。何かご質問ありますか？もし何か分からないことが起こったときには会が終わった後にまた質問してください。ではこれでお願ひできたという事で、ありがとうございます。

では続きまして(3) 番、利用料金についてです。またお手元の料金表を出していただけますでしょうか？左上に利用料金表と書かれた面と裏を返すと利用料金早見表と書かれたものが両面印刷になっているかと思ひます。利用料金表の方を見たらうへで説明させていただければと思います。利用料金表の右下、『その他の日常生活費』という欄を利用料金表に改めて整理して記載させていただきました。その説明を少しさせていただきます。利用料金表右下の『その他の日常生活費(実費を徴収させていただくもの)』です。まずは⑥番⑦番の『買い物代行費用』と『買い物付添い費用』についてです。これまでの料金表では『実

費を徴収させていただく場合があります』という記載のみでした。実際中々そういうパターンがなかったということもあって、現状としてはただ載っているだけということになっていたんですけれども徐々に需要が増えてきたという面もありまして、この機会に金額を明確にさせてもらって今後はこれに沿って代行だったり付添を行った場合は実費として徴収させていただきます、ということで載せさせていただきました。利用料金表は4月1日より実施となっておりますが、この『買い物代行費用』と『買い物付添い費用』に関しては以前から記載はあったものなので、年が明けた1月1日時点から利用された方は徴収させていただくこととなりますのでご理解いただければと思います。続きましてその上になります。④番の出納管理費、⑤番の家族会費についての説明です。これまで利用料金の中で管理費100円をいただきながらその中で出納管理費と家族会費いただいております。そこをまたそれぞれ明確にするということで出納管理費日額で100円、家族会費を一か月500円ということで4月1日からお願いしたいと思っております。」

和田施設長

「追加で捕捉させていただきたいんですが、最初の『買い物代行費用』と『買い物付添い費用』の料金を明確にした理由として、県の方からそういう料金設定に関して明確にしてくださいという指導があったというのが一つの理由です。なので今までの『実費を徴収させていただくことがあります』というあいまいな表現ではなく、設定をこうしっかりとさせていただきました。笠原からの話であまりこういうことはなかったという話がありましたが、やはり何回かそういうケースもありまして買い物を付き添ったりですね、もちろん代行してきて職員が買ってきたりというのが増えてきているのが今の現状です。なのでこちら辺でやはりしっかりと金額設定をして必要があればご家族からの依頼でこちらでやれる範囲でやっていきたいと思っているのがこのお話なんです。ただやはり私たち施設で入居者さんに住んでいただくという事で介護サポートさせていただいているんですが、ご家族様とここに入居されている入居者様の繋がりというのはやはり季節ごとにお洋服を持ってきてくださったりとか買い物の必要なものを聞いて買ってきてくださったりだとかそういうことはすごく大切なことかなと思って重視しておりますので、基本はご家族様にやはりお願いしたいと思っているのが本筋です。なので必要の範囲内でご相談いただければと思いますのでご理解ください。あと、家族会費に関しましては今まで年に一回四月の時点でおひとり様二千元という形で管理費を毎

月いただいている中から徴収させていただいていたというちょっと分かりづらいシステムだったのを毎月毎月いただくという形になります。なので今まで二千元一律徴収というのが年途中から入ってきてもあったので、これを毎月毎月に。あとは額がちょっと上がったよ、ということになると思います。年二千元だったのが、毎月五百円で年六千元になります。その辺は毎回家族会で収支決算報告もあったと思うんですが、実は年度年度によって残高が大分不足してきて入居者様への贈り物としての費用を五百円にしたり千円にしたりで調整する。あとは実際に皆さんに負担をお願いしている行事のお食事代等ですね、その辺に関しましては額が大体三百円程度でいただいていたんですけど、お一人様のコストとして考えると半分もいただいていないぐらいなんですね。施設の持出としては負担があったということで、これをお願いしていきたいということになりますのでご理解いただければと思います。」

笠原相談員

「捕捉の補足になってしまうんですけども、私が言いそびれてしまったことがあります、⑦番の『買い物付添い費用』なんですけれどもあくまで個人の希望に対して職員一人が付き添うという形の場合のみでお買い物だライブとかこちらの行事で行くときにはかかりませんので、そこも付け加えさせていただきます。あくまで個人へのサービスとして行った場合にいただくということになります。また何か不明な点があれば後からでも質問お受けしたいと思いますのでこの場はこの説明で終了させていただきます。」

では進みます。議題の(4)番、『インフルエンザと肺炎球菌予防接種状況について』。ここは宮本看護師からお願い致します。」

宮本看護師

「皆さんこんにちは。医務室からご報告したいと思います。前々回よりも皆様をお願いしてご理解のもと肺炎球菌の方を9月から始めまして、体調の良い方はほぼほぼ済んでおります。何名かは体調の方で先生からドクターストップがかかっていますので来年の2月くらいまでには何とかできればと思っています。あと今回から四種の混合ワクチンのインフルエンザの方なんですけれども、おかげさまで全員接種済みなので一応は安心かなと思います。でも決してかからないわけではないので職員も全員接種は済んでいますが、持ち込まないような形で努力していきたいと思います。あとはですね、ここにきてようやく寒さを増してきたのでいよいよ冬かなって感じがしますが、ユニットにしろ従来型にしろあったかい所に居ますので皆さん寒い思いはしていないので安心してください。それと懸念されるのはこれからはノロウイル

スがちょっと心配なんですね。乾燥を防ぎながら感染しないように施設一丸となってワーカーさんたちと努力していきながら、皆さん安心な生活ができるように努力しますので、どうぞ皆さんもご協力のほどお願いしたいと思います。以上です。」

笠原相談員 「ありがとうございました。では次に移ります。議題(5)番『満足度調査アンケートについて』です。沼尻相談員からということでよろしくお願い致します。」

沼尻相談員 「相談員の沼尻の方から満足度調査について説明させていただきます。お手元の『満足度調査集計結果』をご覧ください。前回の家族会で若干のご家族の方からアンケートご回答いただきましてありがとうございました。その中で色々ご指摘とか色々意見を頂きましたので、その中でいくつか紹介させていただきたいと思います。ご覧の用紙の裏面をご覧ください。意見の中でありましたもので、『清掃状態が悪くなってきたような気がします。』『歯磨きが疎かなようです。』というご指摘いただいています。また5番でこれはご意見として『体調に関して看護師が最も把握していると思うので一行でもよいのでコメントを付け加えてほしい。』というような意見も頂いています。また『口腔ケアを本人が拒んでいますがなんとか行っていただきたい。』『食事の量やいつ入浴したかなど家族が簡単に確認できるといいと思う。』、10番が『本人曰く味付け等が好みのものではない。本人の好きなものがあるとよいと思う。』、11番で『母の爪が伸びていることがあります。』『納涼祭、敬老会など会場設営の見直しをお願いします。毎回待つ時間があるのでいっそのこと開始時間を30分ずらしても問題はないのでは。』等々ご意見を頂きました。その他、施設に対する良いご感想も頂いていますので、そちらも良い意見は励みとして、こちらのご指摘等は改善できるように参考にさせていただきます。これからも色々とお気づきになる点があると思いますが、ご遠慮なく言っていただければと思います。以上になります。失礼します。」

笠原相談員 「ありがとうございます。ということでたくさんのご意見いただけて、良い意見もご指摘いただいた部分も有難く聞かせていただけて良かったなと思っております。また来年度もアンケート調査をさせていただきたいと思っております。そのときもっと良くなった結果が聞ければいいなと思ってこちらも改善に努めていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。では、以上とさせていただきます。

(6)番の『その他』と書かせていただいたんですけども、特別議題はないままですのでこのまま会長の酒井様に懇談会の方進めていって

ただきたいと思います。懇談会が終わり次第、クリスマス会の会場へ行っていただくようになるんですが、納涼祭・敬老祝賀会は二階で合同だったんですがクリスマス会に関しては、従来型二階は二階、ユニットはユニットでそれぞれの場所で行いたいと準備しておりますのでご利用様の入居先へ移動をお願いしたいと思います。では懇談会を酒井様よろしくお願い致します。」

5. 懇談会

笠原相談員

「ご家族様が集まる機会ってそうそうないので、少し交流を持てるような話し合いができるといいのかなと思ったりもしますが。」

酒井会長

「皆さんの方からなにかあれば。」

笠原相談員

「ではそうしましたら、懇談会特別お話がないようでしたのでこれから14時半のクリスマス会が始まるまでの間にそれぞれでマイナンバー通知受領書を記入いただいて、引き換えまで済ませてしまうことができましたら後がスムーズかと思えます。後ろの机使っていただきながら記入をお願いしたいと思います。一応『健康同意書』というものを配らせていただいて、そちらにもサインをいただければと思います。この後お配りいたしまして、ご記入できた方は今日の内に、難しければ後日来て頂いた時に事務職員に声を掛けていただいて提出という形を取らせていただきたいと思いますのでよろしくお願い致します。同意書の契約者名がご利用様、連帯保証人がご家族様のお名前でもよろしくお願い致します。時間が無くなってからの配布となってしまうと申し訳ありません。書けるところまで書いていただいて後に回していただいてももちろん構いませんのでよろしくお願い致します。」

竹中様

「(配布した料金表を見ながら) これは来年の4月1日でとってますけど。」

笠原相談員

「はい。料金表で『(買い物) 代行費用』の方は元々徴収させていただきますが、金額を明確にしたということで変更には至らないという事で、『(買い物) 代行費用』は1月からとなりますが、『家族会費』については26年度分を既に頂いておりますので、毎月500円は4月になってからということでよろしくお願い致します。

その他なにかありますか？

(特に挙がらず)

それでは終了とさせていただきます。ありがとうございました。」

終了

特別養護老人ホーム飛羽ノ園 満足度調査集計結果

* 平成27年9月13日 家族会にてご家族に配布・回収

総回答数:26 アンケート回収率:89.7%(26/29) 調査項目:10 満足度レベル:4段階

	調査項目/満足度	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	計
1	建物・環境について満足されていますか？	13	11	1	0	25
2	介護方法などについて満足されていますか？	13	8	2	0	23
3	職員の対応は適切でしょうか？	21	3	0	0	24
4	不満や要望を気軽に伝えられていますか？	0	13	2	0	15
5	要望や意向などはすぐ対応できていますか？	15	8	1	0	24
6	ご利用者様のプライバシーは守られていますか？	20	6	0	0	26
7	レクリエーションや行事の内容には満足されていますか？	21	5	0	0	26
8	機能訓練(リハビリ)の内容には満足されていますか？	12	7	3	0	22
9	広報誌、情報についてはいかがでしょうか？	17	6	1	0	24
10	食事に関してはいかがでしょうか？	16	7	2	0	25
	アンケート全体	148	74	12	0	234

《 記述欄でのご要望・ご意見 》

- ・最近人員が減ったせいか、清掃状態が悪くなった気がします。
 - ・1人部屋に入っており、自分の時間も好きな事していると話しています。
 - ・良いと思います。
- 2
- ・ベッドに居る時間が長くなっているような気がする。
 - ・職員の皆様の気持ちが本気を感じます。
 - ・歯磨きがおろそかな様です。
 - ・自分で何でもやりたがるのですが、出来ることはやらせて頂いている様で満足しています。
- 3
- ・いつ来ても快く面会出来てうれしく思います。
 - ・教育訓練を常に行なっていると感じます。
- 4
- ・忙しそうで、声をかけにくい。
 - ・伝えて聞き入れてもらっている。
 - ・面会の時、お声をかけて頂き日頃の生活の様子をお聞き出来、その都度希望を伝えられている。
- 5
- ・体調に関して看護師が最も把握していると思うので、一行でも良いのでコメント(月報のような)を付け加えて欲しい。
 - ・反対に手をわずらわせる事が多く恐縮しております。
- 6 なし
- 7
- ・買物やバスでの日帰り旅行がとても楽しかった様子。機会があればまた参加させてほしいと思います。
- 8
- ・特に行なっていない。
 - ・口腔ケアを本人が拒んでいますがなんとか行なっていたきたい。
 - ・1人で立てたり、少しですが歩けるようになって 来るたびに出来る事を見せてくれるのがうれしい様です。
- 9
- ・様子が解って安心しています。
 - ・食事の量やいつ入浴したかなど、家族が簡単に確認できるといいと思う。
- 10
- ・食がかなり細くなっているも、よく対応してもらっている。
 - ・食事をしている時 見に来ていないので良くわかりません。ただ私が病院等に行った時に気がついた事は報告しました。
 - ・栄養的にも満足です。
 - ・本人いわく、味付け等が好みのものでない。
 - ・本人の好きな物があると良い。
 - ・少量を多くしてほしいと言う時もあります。食事が楽しみとの事です。
 - ・食事は見ていないので分からない。

11【そのほかご要望やご意見がありましたらご記入下さい。】

・私は施設をちよくちよく出入りしていますが、スタッフの皆様が笑顔であいさつしてくれるのでありがたい。

・以前来た時、母のツメがのびている事がありました。改善されていれば問題ありませんが、今後共よろしく願います。

・いつも細やかなお心遣いありがとうございます。

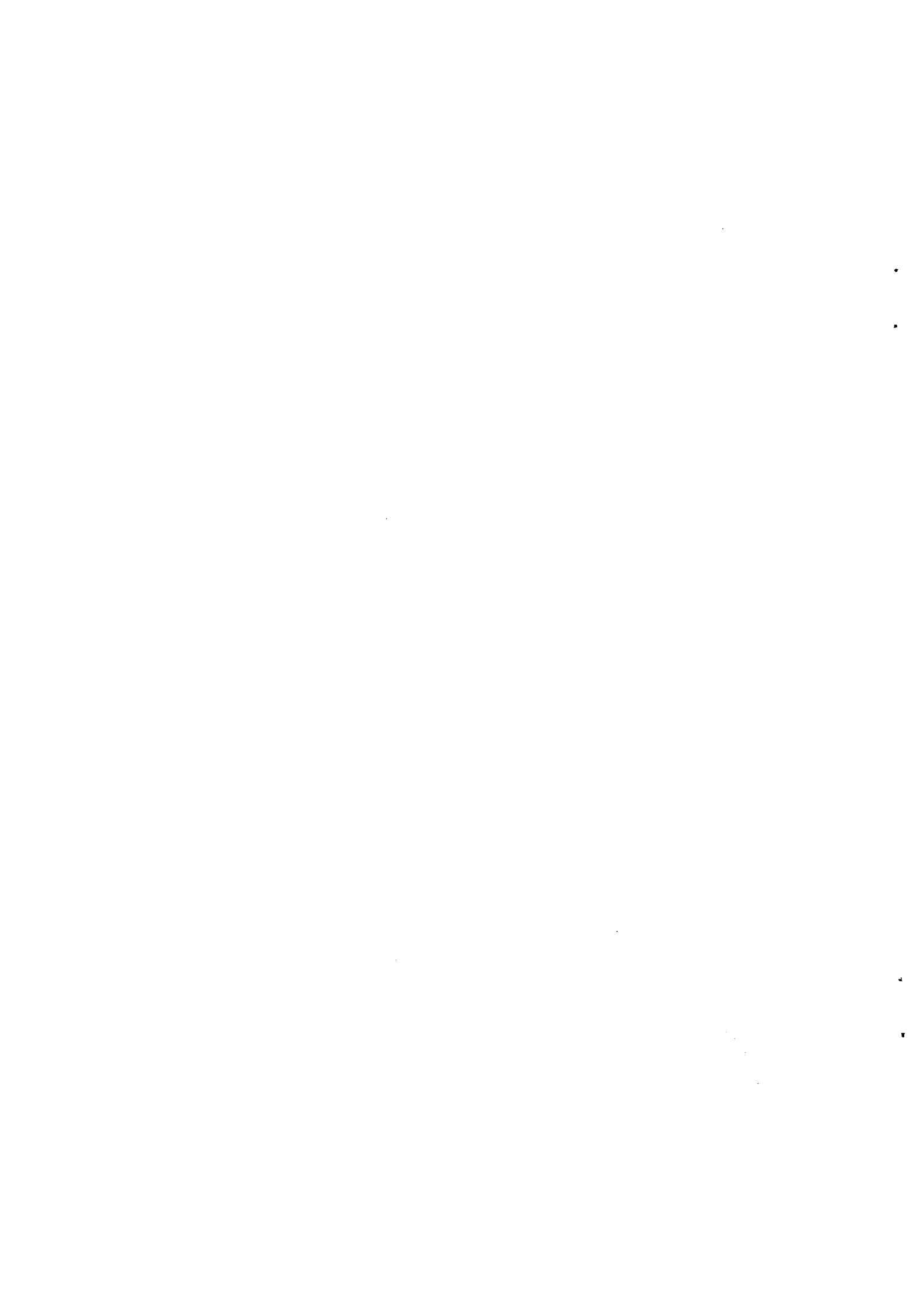
・お世話になる事が出来ました事がありがたく、厚く御礼申し上げます。

・いつもお世話になって有難う御座います。主人はいろいろ病気を持っているため、皆様にご迷惑をおかけ致しておりますが、体調が悪い時も即連絡をくれ対応もして頂いておりますので感謝致しております。

・納涼祭、敬老会などの会場設営の見直しをお願いします。毎回待つ時間があるので…。
いっそのこと、家族会の開会時間を30分程ずらしても問題ないのでは？

・人手がなく大変お忙しいと思いますが、皆様お体大切にして下さい。

・入所した時の感謝を忘れずにお世話になります。職員の皆様も勤務初日を思い起こして、お互いに感謝の気持ちを大切に！！



平成 27 年度 飛羽ノ園デイサービスセンター事業報告書
指定通所介護・介護予防通所介護事業（併設型・通常規模型・利用定員 25 名）

1. 運営

平成 27 年度は[ニュービジョン（新しい取組など）]に重点を置き、『わくわくプラン』を実施した。計画に対する遂行率はそれほど高くはないが、プランに挙げたそれぞれの取組について、利用者の反応は実感できるものもあり、今後の事業に繋がる手応えを得た。

実績報告としては稼働率・請求額共に 3 年連続のダウンとなってしまった。利用者の介護度低下が直接的に関係しており、今後もこの軽度化傾向は進行すると予測される。

今後は平成 30 年度から本格的にスタートする『総合事業』も視野に入れ、安全性・専門性・柔軟性・積極性・計画性など従来通りの考えに沿った現状のサービス提供だけに留まらず、より柔軟な発想に基づくサービス体制の構築、事業所アピールの活動プロセスそのものが更なる発展と大きなビジョン達成に向けての指標になるのではないかと考える。

2. 活動内容

(1) 通所介護計画書作成

社会交流・健康管理・清潔保持・機能訓練・介護負担軽減など多様なニーズへの対応、また「利用者が今必要としているサービス」をタイムリーに提供するため、アセスメントをはじめ、プランの作成・実施・評価・見直しを行なった。

(2) 食事サービス

利用者個々の身体の状況・状態、ニーズなどに合わせた治療食・嗜好食・食事形態・食事介助方法など随時職員同士話し合い、また厨房との連携を図ることで対応した。その他、日帰り旅行・甘味ドライブなどの外食をはじめ、選択食（約 2 ヶ月に 1 回実施）など「いつもと違う」楽しみのある食事の提供も積極的に行なった。

(3) 排泄介助サービス

利用者のプライバシー保護とトイレでの排泄を基本とし、利用者個々の性格・状況・状態などに合わせ、定時（随時）の声掛け・トイレ誘導・排泄介助（オムツ交換）を行なった。

(4) 個別機能訓練・運動器機能向上サービス

本人・家族・ケアマネジャーの希望に合わせ、PT（理学療法士）来園日に追加利用・利用日変更することで PT と直接相談できる機会を提供した。また、外出行事を「普段とは違った機能訓練」と位置づけ、外出する機会を増やし楽しく・気持ち良く・体を動かせる場を提供した。

(5) 口腔機能向上サービス

食事前の口腔体操を通して嚥下機能低下の啓発・防止に努めた。また、希望者には加算算定により計画書に沿った口腔内の状態観察・ケアを実施した。

(6) アクティビティサービス（レクリエーション・行事報告）

今年度は年間行事計画に位置づけた、年4回にわたる日帰り旅行を活動の柱とし、社会交流・機能訓練の一環として外出行事も数多く取り組んだ。外出行事に参加するという明確な動機を持つことによって、デイサービス利用中のリハビリ・体操等にも積極的に参加する自発性を促し体力・意欲向上を図り、その結果個々の目標としていた行事へ、安全性を高め自信を持って臨むことが出来た。また、例年同様のレクリエーション・行事だけでなく、季節ごとの壁飾り作りに特に力を入れ、ホール全体の季節感の演出を図った。その一作品、壁画「クリスマス・サンタ」を『月間デイ』に投稿した結果、入賞作品として『月刊デイ（平成28年4月号）』に掲載され、製作した利用者・職員で同じ喜びを共有できる良い機会となった。

レクリエーション	
レクリエーション名	実施回数(回)
ちょんちょんゲーム	43
季節の壁飾り作り	39
大漁ゲーム	29
言葉探しゲーム	20
言葉遊びゲーム	14
言葉並び替え	11
ボーリング	10
お手玉点数ゲーム	9
ビンゴ	9
俳句	7
連想ゲーム	4
いつ?どこで?誰が?どうした?ゲーム	3
替え歌	3
しりとり	3
すごろく	3
タオルボールで追いかけて	3
書道	2
節分ゲーム	2
動物かるた	2
都道府県ビンゴ	2
年末ジャンボ宝くじ	2
雪やこんこゲーム	2
○×ゲーム	1
頭の体操	1
イントロクイズ	1
タワー倒しゲーム	1
都道府県クイズ	1
輪投げ	1
合計	228

外出行事	
行事名	実施回数(回)
甘味ドライブ	5
買物ドライブ	5
乙戸あやめ&甘味ドライブ	5
紅葉ドライブ	4
桜ドライブ	4
藤沢ローズガーデンドライブ	4
初詣&甘味ドライブ	4
城山公園ドライブ	2
散歩(水郷公園・千鳥ヶ丘公園)	2
エアショー観覧	1
牛久大仏ドライブ	1
合計	37

日帰り旅行	
行き先	実施回数(回)
筑波山(新緑・紅葉)	4
茨城空港	2
潮来あやめ	2
大洗水族館	2
合計	10

イベント	
イベント名	実施回数(回)
夏祭り	2
柏餅作り	2
クリスマス会	2
もちつき大会	1
合計	7

(7) 入浴サービス(入浴者数・入浴率報告)

入浴目的(午前中利用)の利用に対し提案・働きかけを継続した。入浴率は前年度比7.9%ダウンしたが自立の利用者増加に伴い、入浴ニーズが減少したものとする。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用延人数(名)	403	425	438	422	414	395	425	378	373	368	389	444	4,874	
入浴延人数(名)	346	360	379	346	343	270	280	209	204	195	211	222	3,365	
入浴率(%)	平成26年度	81.5	84.1	82.5	85.1	86.7	84.0	85.5	82.1	59.4	77.5	55.5	54.1	76.5
	平成27年度	85.9	84.7	86.5	82.0	82.9	68.4	65.9	55.3	54.7	53.0	54.2	50.0	68.6
前年度比(%)	4.4	0.6	4.0	△3.1	△3.8	△15.6	△19.6	△26.8	△4.7	△24.5	△1.3	△4.1	△7.9	

(8) 送迎サービス

利用者個々の希望や身体状況に合わせて時間・ルート・順序・送迎車両の選択などに配慮した。また、前年度後半よりステップワゴン(8人乗り)を導入したことで乗車人数の確保・乗降のしやすさ・安全性が向上し、より安全で効率的な送迎が実施できるようになった。

また、【送迎車両走行距離】は前年度合計28320kmから22471kmと5849km減少となり、稼働率の低下と比例している。

【送迎状況】

件	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
迎え	360	396	362	371	347	364	382	314	340	311	347	364	1818
(減算)	(5)	(4)	(1)	(6)	(2)	(2)	(4)	(1)	(2)	(0)	(2)	(2)	(18)
送り	360	396	362	371	347	364	382	314	340	311	361	364	1815
(減算)	(2)	(4)	(5)	(6)	(4)	(6)	(2)	(1)	(4)	(4)	(2)	(2)	(21)
延回数	713	784	718	730	688	720	758	626	674	311	361	364	7447

【送迎車両走行距離】

km	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ハイエース①	445	506	820	547	324	308	387	464	278	287	126	176	4668
ハイエース②	116	123	68	183	184	185	335	378	257	241	442	619	3131
ランディ	495	495	264	390	407	410	218	329	294	307	390	429	4428
ステップワゴン	346	316	637	433	473	453	556	554	626	546	567	651	6158
ミラ	358	337	231	159	73	24	99	21	130	166	226	223	2047
ワゴンR	20	84	249	329	253	297	230	142	43	59	47	165	1918
ハイゼット	0	8	0	0	31	0	0	45	14	23	0	0	121
合計	1780	1869	2269	2041	1745	1677	1825	1933	1642	1629	1798	2263	22471

*外出行事使用(走行)分を含む。他事業所使用(走行)分を除く。

3. 活動報告

(1) サービスの質の向上への取組

～平成27年度【重点目標】『わくわくプランを成功させる!』の遂行・達成状況～

①【わくわく予定】について

- ・ポイントカードの導入：利用者個々のADL状況等への評価が難しく、活動への参加が個々のレベルによって開きが出てしまう。→要検討。
- ・入浴剤の導入：数回導入し好評だったが個々の皮膚疾患等の状態により積極的な使用はできなかった。→低刺激性の入浴剤等の使用を現在検討中。
- ・提供ドリンクの変更：夏季にコールドドリンクやレモネードを提案したが「身体が冷えるから」等の理由から人気はなかった。→利用者の好みをリサーチ中。
- ・ホールのレイアウト：利用者数や季節に応じてテーブル配置を変更し、利用者からも好評だった。→今後も継続。
- ・買物会：定期開催には至らなかったが実施した買物会の中で利用者が日常的に不便と感じている重い物の買物を手伝うことができ1つのニーズ把握となった。→定期開催に向け再検討中。
- ・写真上映会：広報誌での写真提供は継続したがプロジェクター・スクリーンでの上映会は準備不足もあり実施できなかった。→ニーズは高いと思われるため再チャレンジ。
- ・家族・地域の行事参加：行事への家族参加を促したが参加なし。また、具体的な計画が立てられず地域への発信はできなかった。→要検討。

②【年間行事予定】について

8月「蓮の花ドライブ」のみ、熱中症予防の観点から中止したがその他は全て実施した。利用者・家族からは「年間の行事予定が分かるから楽しみ・予定が立てやすい」などの声が聞かれた。また、職員サイドも年間での行事が一目で分かるため、起案・報告などの段取りもスムーズに行なえた。→今後も継続。

③「サービスの質に関する」アンケートの実施（【別紙①】参照）

利用者・家族へ向けてアンケートを実施した。色々な声（意見など）が聞け、提供しているサービスに対する評価、また業務内容の維持・改善などに活用できた。

(2) 実習生・ボランティア受入

教員・初任者研修・青少年ワークショップの実習生とボランティアを例年通り受け入れた。合計数で前年度との相違はほぼない。また、前年度同様に友部東特別支援学校の現場実習、今年度は土浦市役所新任職員現場実習も受入を行なった。社会福祉法人事業所として今後も地域・行政などからの要請に対し積極的な見学・実習などの受入を行ないたい。

○実習生受入報告

種別	学校名	実人数 (名)	延日数 (日)
教員	筑波大学	10	50
	筑波研究学園専門学校	9	17
	常磐大学	1	5
	茨城大学	1	5
新任職員	土浦市役所	6	6
初任者研修	社会福祉法人 祥風会	1	1
	つくば国際大学	1	1
青少年ワークショップ	土浦市社会福祉協議会	2	2
現場実習	茨城県立友部東特別支援学校	1	8
合 計		32	95

○ボランティア受入報告

ボランティア名	来園回数 (回)
こもれびの会 (2名)	34
すずめの子 (7名)	3
ハッピーサウンド (2名)	2
喜和会 (4名)	1
小鈴会 (4名)	1
桜の会 (6名)	1
合 計	42

(3) ヒヤリハット報告

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
発見	歩行中転倒	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	4
	転倒し傷・出血	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	イスよりずり落ち	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	ベットのずり落ち	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
利用者	利用者間のトラブル	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	4
	セクシャルハラスメント	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	暴力・暴言・触る	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
	外出	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4
見守り中	送迎時のトラブル	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4
	転倒・ふらつき	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	イスから立ち上がりふらつく	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
職員ミス	車の物損・スピード・接触	0	0	0	0	0	2	2	0	1	0	0	1	6
	投薬間違い・紛失・服薬確認	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	介助時事故	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3
	トラブル・苦情	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
	備品物損	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	救急車対応	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	車中・車のトラブル	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	金銭・持ち物	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	3
	その他	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
合 計		4	10	5	1	3	4	7	3	5	2	2	3	47

4. デイサービス看護報告（処置集計報告）

今後の課題は自宅内・他事業所利用時の状況・状態などの情報を積極的に収集するためのシステムを作ることで、心身状態の健康維持・重度化（重症化）予防・体調不良の早期発見などに活用することである。

処置集計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
爪切り	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	4
軟膏塗布	21	19	11	28	43	26	41	23	32	49	47	58	398
ガーゼ・絆創膏	8	8	8	13	13	6	11	4	2	10	20	17	120
点眼	5	5	8	7	9	4	2	6	3	6	7	10	72
シップ等貼付	16	23	17	24	25	14	16	16	27	30	29	29	266
内服薬	93	123	76	114	123	92	91	82	72	94	79	127	1166
インシュリン	3	4	2	1	3	2	1	1	2	1	2	2	24
褥瘡処置	0	5	9	4	13	11	4	8	1	6	0	7	68
体重測定	49	50	49	47	47	45	46	45	47	46	48	50	569
計	195	237	181	240	276	200	213	185	186	242	232	300	2687

5. 実績報告

(1) 月別利用状況

目標に掲げていた平均利用者数 20 名以上には 4.3 名、稼働率 80%には 17.2%届かなかった。また、前年度比も平均利用者数 2.1 名、稼働率 8.4%減少した。原因としては新規利用者・登録利用者数の減少が関係している。今後は提供するサービス（園内提供・園外提供共に）の評価・見直しを通して外部（家族・居宅・地域など）に自信を持って発信できるサービス内容とその発信方法を考案し、積極的に行動する。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
運営日数(日)	26	26	26	27	26	26	27	25	26	24	25	27	311	
実人数(名)	49	50	49	47	47	45	46	45	47	45	48	50	568	
延人数(名)	403	425	438	422	414	395	425	378	373	368	389	444	4,874	
平成26年度	平均利用者数(名)	19.4	18.9	19.5	18.6	19.9	18.2	17.6	17.8	17.2	15.5	15.2	15.3	17.8
	稼働率(%)	77.6	75.6	78.0	74.4	79.6	72.8	70.4	71.2	68.8	62.0	60.8	61.2	71.2
平成27年度	平均利用者数(名)	15.5	16.3	16.8	15.6	15.9	15.2	15.7	15.1	14.3	15.3	15.6	16.4	15.7
	稼働率(%)	62.0	65.2	67.2	62.4	63.6	60.8	62.8	60.4	57.2	61.2	62.4	65.6	62.8
稼働率(%) 前年度比	△15.6	△10.8	△10.8	△12.0	△16.0	△12.0	△7.6	△10.8	△11.6	△0.8	1.6	4.4	△8.4	

(2) 年間利用状況の推移

延利用者数4,874名、稼働率62.8%と平成13年度からの比較年度中ワースト3という結果となってしまった。

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
延利用者数(名)	4,545	5,348	5,829	5,506	5,061
稼働率(%)	59.8	70.4	76.8	71.2	65.6
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
延利用者数(名)	5,554	5,247	4,759	5,255	5,055
稼働率(%)	72.0	67.2	60.8	67.2	64.8
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
延利用者数(名)	5,370	6,140	5,928	5,499	4,874
稼働率(%)	69.1	79.8	77.6	71.2	62.8

(3) 年間請求状況(介護報酬分のみ)

年間請求額合計は32,747,191円(2,728,933円/月)と前年度と比較すると年間約8,683,561円(約723,630円/月)のダウンが見られ、利用者1人当たりの単価も約¥6,719と2年連続で低下し、その低下差額も約¥217→約¥815とかなりのダウンとなった。下記「介護度別利用状況」からも分かる通り、要介護3・4・5の大幅な減少と要支援1・2の増加が大きく影響している。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度比
4月	¥3,713,474	¥3,870,558	¥2,749,804	△¥1,120,754
5月	¥4,362,066	¥3,939,174	¥3,102,689	△¥836,485
6月	¥3,946,146	¥4,053,253	¥3,073,434	△¥979,819
7月	¥4,179,331	¥4,021,712	¥2,748,814	△¥1,272,898
8月	¥4,180,259	¥4,069,077	¥2,847,565	△¥1,221,512
9月	¥3,760,484	¥3,421,622	¥2,889,808	△¥531,814
10月	¥4,037,383	¥3,566,529	¥2,964,973	△¥601,556
11月	¥3,887,844	¥3,179,068	¥2,505,572	△¥673,496
12月	¥3,505,322	¥3,159,114	¥2,349,911	△¥809,203
1月	¥3,464,887	¥2,670,059	¥2,448,109	△¥221,950
2月	¥3,210,650	¥2,649,989	¥2,407,505	△¥242,484
3月	¥3,705,958	¥2,830,597	¥2,659,007	△¥171,590
合計	¥45,953,804	¥41,430,752	¥32,747,191	△¥8,683,561
月平均報酬額	¥3,829,484	¥3,452,563	¥2,728,933	△¥723,630
1人当たり単価	¥7,751	¥7,534	¥6,719	△¥815

(4) 介護度別利用状況

延人数前年度比 625 名減少。そのほとんどが要介護 3・4・5 の利用者で占められ、反対に要支援 1・2 の構成比がアップしたことで平均要介護度の低下に繋がっている。

通所介護事業所として今後も継続して予防・軽度、中重度、認知症など利用者個々のニーズに沿ったサービス提供のため多様性・柔軟性・専門性を持った受入体制を整備する。

要介護度	平成26年度		平成27年度		前年度比	
	延人数 (名)	構成比	延人数 (名)	構成比	延人数 (名)	構成比
支1	325	5.9%	501	10.3%	176	4.4%
支2	521	9.5%	513	10.5%	△8	1.0%
1	2,257	41.0%	2,143	44.0%	△114	△3%
2	1,112	20.2%	1,169	24.0%	57	3.8%
3	435	7.9%	145	3.0%	△290	△4.9%
4	454	8.3%	258	5.2%	△196	△3.1%
5	395	7.2%	145	3.0%	△250	△4.2%
介護保険外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	5,499	100%	4,874	100%	△625	—

6. 利用者状況

(1) 登録利用者数状況

平均登録者数が4.0名減少していることが稼働率低下に繋がっていると考えられる。同一利用者の複数回利用（週2～3日）が多いことはメリットだが反対に体調不良など突発的に利用中止が継続した場合には稼働率低下に影響がある。登録者数を60名以上確保できるような宣伝（アピール）・予約管理など積極的な働きかけに努める。

	平成26年度			平成27年度		
	登録者数（名）	新規利用者（名）	利用終了者（名）	登録者数（名）	新規利用者（名）	利用終了者（名）
4月	54	2	1	49	2	2
5月	55	1	3	47	3	0
6月	54	2	0	50	3	0
7月	59	5	0	53	0	3
8月	60	1	0	50	0	0
9月	60	2	7	50	1	0
10月	55	2	3	51	2	0
11月	53	4	3	53	0	7
12月	52	2	3	46	4	0
1月	50	1	3	50	3	6
2月	50	1	0	53	3	0
3月	48	2	5	50	3	3
合計	650	25	28	602	24	21
平均登録者数（名）	54.2	2.1	2.3	50.2	2.0	1.8

(2) 介護度別登録利用者状況

前年度と比較すると大きな変化が見られ、利用者の軽度化が進行している。中重度者の受入に対して積極性は持っているが実際のニーズの有無、またアピール不足が利用者増加に反映していないためと考える。

要介護度	平成26年度 (平成27年3月31日現在)		平成27年度 (平成28年3月31日現在)		前年度比	
	実人数（名）	構成比	実人数（名）	構成比	実人数（名）	構成比
支1	3	6.1%	9	18.0%	6	11.9%
支2	7	14.3%	4	8.0%	△3	△6.3%
1	21	42.9%	17	34.0%	△4	△8.9%
2	9	18.4%	14	28.0%	5	9.6%
3	2	4.1%	3	6.0%	1	1.9%
4	5	10.2%	3	6.0%	△2	△3.8%
5	2	4.1%	0	0.0%	△2	△4.1%
介護保険外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	49	100%	50	100%	1	-

(3) 利用者年齢構成

年齢・男女比共に大きな変化は見られなかったが利用者個々の状態（性別・年齢層・趣味など）に合わせて環境（事業所の雰囲気・職員の意識など）を整え、臨機応変に対応できる柔軟性を持つ。

年齢（歳）	平成26年度（名）		平成27年度（名）		前年度比（名）	
	（平成27年3月31日現在）		（平成28年3月31日現在）			
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
～64	0	0	0	0	0	0
65～69	0	0	0	0	0	0
70～74	1	1	1	0	0	△1
75～79	2	2	2	1	0	△1
80～84	6	7	8	7	2	0
85～89	5	7	5	16	0	9
90～94	0	12	0	6	0	△6
95～99	1	3	0	4	△1	1
100～	0	1	0	0	0	△1
男女別合計	15	33	16	34	1	1
男女比	31.3%	68.7%	32.0%	68.0%	0.7%	△0.7%
合計	48		50		2	

(4) 町内別（市外含む）・中学校区別登録利用者状況（平成28年3月31日現在）

登録者のほとんどが四中地区・六中地区に集中しているのは前年度と変わらない。ただ、今年度の大きな変化は一中地区・都和中地区など離れた自宅への送迎が増加傾向にあることである。今後もこの傾向は進行するのではないかと考えている為、遠方の利用者の集客にも対応できるようにシフト調整・送迎車両の活用方法の工夫等、その都度検討していきたい。

○町内別（市外含む）

地区	登録者数	地区	登録者数	地区	登録者数
霞ヶ岡	9	富士崎	4	小岩田西	1
烏山	3	下高津	3	東都和	1
小松	6	永国台	1	大手町	1
小松ヶ丘	1	天川	3	市外	3
小岩田東	1	蓮河原新町	1	合計	50
千鳥ヶ丘	2	上高津	1		
中高津	7	東崎	1		

○中学校区別

地区	登録者数
一中地区	2
二中地区	1
三中地区	0
四中地区	29
五中地区	0
六中地区	14
都和中地区	1
新治中地区	0
市外	3
合計	50

7. 職務・職員体制

(1) 平成27年度 個人反省

職種 勤続年数	氏名 (経験年数)	反省
生活相談員 2年1ヶ月 (10年)	沼田 江里子	要介護度の重い利用者に対しても、通所介護事業所として出来る術を職員と共に検討し試み、サービスを提供していくことが出来たのではないかと考えている。
生活相談員 14年 (14年)	梶川 純孝	今年度は在支との兼務となったが自分にとって新しいことへの取組は十分にできた。その反面、デイサービスの実績としてはかなり不十分なものとなった。
看護師 15年7ヶ月 (19年7ヶ月)	田村 優子	異常の早期発見は出来たが、なかなか家族に伝わらなかった。普段からコミュニケーションをとり、健康状態を把握出来た。
介護士 7年4ヶ月 (8年5ヶ月)	小嶋 裕美	潮来の花の時期を逃したことで以外、皆楽しく行事に参加できて喜んでいた。
介護士 8年1ヶ月 (11年1ヶ月)	庄司 紀世子	利用者の声や要望になかなか気づけなかった。
介護士 2年3ヶ月 (5年3ヶ月)	鈴木 明子	利用者の方とのコミュニケーションがとれないことが多々あった。
介護士 5年 (5年)	中島 勇一	新しい職場ということもあり、仕事を覚えるのにいっぱいになってしまうこともあったので、今後は気をつけていきたい。
看護師 4年1ヶ月 (23年)	小野 啓子	利用者様との関わりの中で情報をとり、他のスタッフの協力を得ながら健康状態の把握・処置等を行なえた。
介護士 7年2ヶ月 (7年2ヶ月)	原 菜保子	体調に気を遣えた。

* 「勤続年数」基準日は平成28年3月31日現在。「経験年数」は他事業所勤務分を含む。

(2) 研修参加報告

日程	場所	研修名	参加者
4月9日(木) ~5月19日(火)	茨城県総合福祉会館	平成27年度 第1回茨城県認知症介護実践者研修	沼田

【別紙①】「サービスの質に関する」アンケート結果

飛羽ノ園デイサービスセンター 満足度調査集計結果

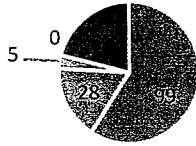
*平成27年9月29日～10月31日ご利用者・ご家族に配布・回収

○総回答数17 アンケート回収率34% (17/50)

○調査項目10 満足度レベル4段階 (無回答あり)

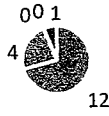
	調査項目	満足度					計
		1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. 無回答	
1	建物・環境について満足されていますか？	12	4	0	0	1	17
2	介護方法などについて満足されていますか？	12	4	0	0	1	17
3	職員の対応は適切でしょうか？	13	3	0	0	1	17
4	不満や要望を気軽に伝えられていますか？	10	0	0	0	7	17
5	要望や意向などはすぐ対応できていますか？	13	3	1	0	0	17
6	ご利用者様のプライバシーは守られていますか？	11	3	1	0	2	17
7	レクリエーションや行事の内容には満足されていますか？	10	3	1	0	3	17
8	機能訓練 (リハビリ) の内容には満足されていますか？	9	3	1	0	4	17
9	広報誌、情報についてはいかがでしょう？	11	1	1	0	4	17
10	食事に関してはいかがでしょう？	10	4	0	0	3	17
回答数計		99	28	5	0	35	167
回答数割合		59.3%	16.7%	3.0%	0.0%	21.0%	100.0%

回答数計



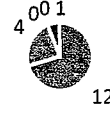
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5

1. 建物・環境について満足されていますか？



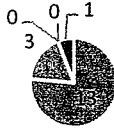
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5

2. 介護方法などについて満足されていますか？



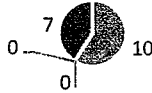
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5

3. 職員の対応は適切でしょうか？



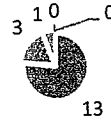
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5

4. 不満や要望を職員に気軽に伝えられていますか？



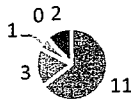
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5

5. 要望や意向などはすぐに対応できていますか？



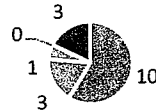
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5

6. ご利用者のプライバシーは守られていますか？



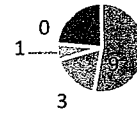
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5

7. レクリエーションや行事の内容には満足されていますか？



■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5

8. 機能訓練(リハビリ)の内容には満足されていますか？



■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5

9. 広報誌・情報についてはいかがでしょうか？



■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5

10. 食事についてはいかがでしょうか？



■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5

その他のご要望・ご意見など（記述式）

- 1 職員の皆様に良くして頂き、とても感謝しております。ありがとうございます。
- 2 デイでの生活は、本人に聞いても殆ど分かりません。ノートで「楽しく過ごしました。」と書いてあるので、楽しく過ごしているんだなと、思っています。
- 3 主人がいつもお世話になっています。よろしくお願いします。
- 4 体の状態などよく見ていただき、ありがとうございます。
- 5 月1度のケアマネジャーの訪問では、色々な話ができるので有難いです。

平成 27 年度飛羽ノ園居宅介護支援事業所事業報告書

1. 居宅介護支援事業所勤務体制

介護支援専門員 5 名（兼務・非常勤含む。H28 年 1 月より 4 名）で運営してきた。各自が担当利用者に不利益が生じないように配慮しながら活動しつつ、毎月定期的に居宅会議を開催し、報告・確認・相談を行った。また新規利用者、困難ケースにはリーダーが同行訪問し、問題が生じた際担当者の顔が見え、スーパーバイザーとしての役割が果たせるよう対応した。

また保険者である各市町村等とも随時連絡をとり、在宅での生活が継続できるような居宅介護サービス計画作成に努めた。

介護プラン

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
土浦市	87	87	90	93	89	96	94	100	94	99	97	99	1125
市外	2	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3	2	35
県外	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
計	90	91	94	97	94	100	98	104	98	103	101	102	1172

平均 98 件／月

月平均約 98 件を担当し、状態に合わせて見直し等を行った。月による数字の変動は、施設入所・自宅で看取りを行ったケースや、関わりと同時に家族のもとへ転居される等短期間の支援のケースもあった。県外の 1 件は、東日本大震災後家族のもとに避難され、土浦市にて介護サービスを利用となったケースである。

介護予防プラン(包括支援センター委託)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
土浦市	29	27	30	30	30	28	28	26	27	28	27	27	337
県外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	29	27	30	30	30	28	28	26	27	28	27	27	337

月平均約 98 件の介護予防を担当し、状態に合わせて見直し等を行った。月による数字の変動は、介護プランへ移行したり、看取りを行ったケースや、状態が安定の時はサービス利用を一時中止され、また状態の低下傾向時にサービス利用を再開するなど、病歴と介護度がリンクしないケースもあった。

2. 居宅介護サービス計画実施状況（要介護度別分類）

居宅サービス契約者介護度別の男女比率

		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小計	計
4月	男	12	5	7	7	3	34	91
	女	31	13	4	7	2	57	
5月	男	15	3	7	7	3	35	92
	女	27	17	4	6	3	57	
6月	男	14	6	7	7	3	37	95
	女	29	15	6	5	3	58	
7月	男	13	5	5	7	5	35	97
	女	30	14	5	8	5	62	
8月	男	12	5	6	8	3	34	94
	女	31	15	5	5	4	60	
9月	男	15	8	4	7	3	37	103
	女	35	17	6	4	4	66	
10月	男	13	12	3	7	4	39	100
	女	33	17	5	3	5	63	
11月	男	15	11	3	6	4	39	106
	女	37	17	5	3	5	67	
12月	男	15	10	3	5	4	37	98
	女	34	14	6	3	4	61	
1月	男	16	12	3	6	4	41	105
	女	35	14	6	6	3	64	
2月	男	16	11	3	6	3	39	104
	女	36	15	5	6	3	65	
3月	男	15	13	3	7	4	42	106
	女	36	13	5	7	3	64	
小計	男	171	101	54	80	43	449	1191
	女	394	181	62	63	42	742	
合計		565	282	116	143	85	1191	
割合		47.40%	23.60%	9.73%	12.00%	7.13%		

男性の1.7倍女性の利用者が多い状況だった。女性が長命である事が数字にも表れている。2号被保険者（40～65歳未満）の利用者も3名支援している。要介護度別では、1、2が全体の70%であり、年齢層では男女共に80代が最も多い結果となった。

3. 介護予防プラン（地域包括支援センターからの委託、要支援の利用者）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
土浦市	27	26	27	26	27	27	27	28	28	25	27	28	323
市外	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	5
計	27	26	27	26	27	27	28	29	29	25	28	29	328

※市外は阿見町からの委託となっている。

介護予防のプランは、自立支援の観点から日常生活の中で本人のできる事を継続できるように努めた。月平均1人の介護支援専門員が7～8名の担当となる。

地域包括支援センターうららとネットで繋がり、情報や支援経過の共有による介護予防プラン作成・支援を実施した。

4. 寝たきり度（日常生活の活動の状況により区分）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	割合
自立	1	0	0	0	0	0	0	1	1.0%
J1	2	1	4	0	1	0	0	8	8.2%
J2	1	1	2	2	3	1	1	11	11.2%
A1	2	4	15	10	0	2	0	33	33.7%
A2	1	0	9	11	2	4	2	29	29.6%
B1	0	0	0	0	1	4	1	6	6.1%
B2	0	1	1	2	1	3	1	9	9.2%
C1	0	0	0	0	0	0	1	1	1.0%
C2	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
合計	7	7	31	25	8	14	6	98	

※区分の状態参照

J1・公共機関を利用し遠方まで外出レベル

J2・近隣への買物や町内距離程度外出レベル

A1・寝たり起きたりの状態だが、日常生活行為（食事・排泄・着替え等）日中はベッドから離れる時間が長く、介助のもと比較的多く外出する

A2・寝たり起きたりの状態でベッドから離れている時間が長いが介助者がいてもまれにしか外出しないレベル

B1・介助なしで車イスに移乗し食事・排泄等ベッドから離れて行う。

B2・介助のもと、車イスに移乗し、食事・排泄に関しても支援を必要とする

C1・ベッドに常時臥床し、自力で寝返りがうてる

C2・自力で寝返りがうてずベッド上で常時臥床している

通所や訪問介護等何らかの支援を行う事で状態の改善が図れる状態の人が多い。

5. 認知症度（日常生活支援の状態により区分）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	割合
自立	3	3	8	8	0	1	0	23	23.5%
I	3	4	7	4	3	3	2	26	26.5%
II a	0	0	3	2	1	4	1	11	11.2%
II b	1	0	7	7	1	1	0	17	17.2%
III a	0	0	4	3	2	2	0	11	11.2%
III b	0	0	0	0	1	1	1	3	3.0%
IV	0	0	1	0	0	2	2	5	5.0%
M	0	0	1	1	0	0	0	2	2.0%
計	7	7	31	25	8	14	6	98	

※区分の状況参照

自立・何らかの認知症を有するが家庭内・社会的にもほぼ自立している

I・日常生活に支障をきたす症状・行動は出ているが、支援があれば自立している

II a・家庭外でも上記症状が見られる（道に迷う・買物・事務・金銭管理を間違う）

II b・家庭内でも上記症状が見られる（服薬管理が出来ない。訪問客や電話の内容の間違いなど一人で留守番ができない）

III a・日常生活に支障をきたすような症状・行動が見られ意思疎通が困難で介護を要する

III b・日中を中心に上記症状が見られる（着替え・食事・排泄等上手にできない。異食・徘徊・大声・収集癖・不潔行為・性的異常行為等）

IV・日常生活に支障のある状況が常時見られ常に介護を要する

M・せん妄・妄想・興奮・自傷・他害等精神症状やそれに起因する問題行動が継続する。

主治医の判定で認知症度が決定する。介護度に比例せず何らかの身体症状を有するが、認知症のレベルはそれ程重くない利用者が半数を占めている。

6. 居宅サービス利用割合

平成27年度より事業所集中減算率が、80%を超過すると減算対象となり、全ての事業が対象と見直しをされた。下記3サービスは比較的多く利用される事業として抜粋し、更に同法人で実施しているショートステイについても集計を実施。

居宅サービス利用割合

通所介護（前期）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	割合	祥風会
飛羽ノ園デイサービス	31	33	31	31	31	30	187	42.7%	64.9%
ながみねデイサービス	13	16	17	17	17	17	97	22.2%	
ビーンズリハビリ	2	2	3	3	2	2	14	4.3%	
土浦からだはうす	5	5	5	5	5	7	32	7.3%	
つくばからだはうす	2	2	2	2	2	3	13	3.0%	
永国長寿館	2	2	2	2	2	3	13	3.0%	
イキイキばんび	0	0	0	0	0	0	0	0%	

土浦ケアセンターそよ風	2	2	2	2	2	2	12	2.7%
リハビリ土浦	2	2	2	2	2	2	12	2.7%
デイサービス優愛	2	2	2	2	2	2	12	2.7%
やすらぎの園	2	1	1	2	2	2	10	2.3%
コミュニティーガーデン	1	1	1	1	1	1	6	1.4%
ディアンドデイ	1	1	1	1	1	1	6	1.4%
さとのこハウスデイ	1	1	0	1	1	1	5	0%
ブラザマムデイ	1	1	1	1	1	1	6	1.4%
ツクイ土浦デイ	1	1	1	1	1	1	6	1.4%
阿見ケアコミュニティそよ風	0	1	1	1	1	1	5	1.1%
デイサービスひらおか	1	1	1	1	1	1	6	1.4%
いきいきらいふ PSA	0	0	0	0	0	0	0	0%
合計	69	74	73	75	74	77	437	

通所介護（後期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合	祥風会
飛羽ノ園デイサービス	31	30	32	30	30	30	183	38.5%	60.8%
ながみねデイサービス	15	17	17	18	20	19	106	22.3%	
ビーンズリハビリセンター	2	2	2	2	2	1	11	2.3%	
土浦からだはうす	8	9	9	9	9	9	53	11.1%	
つくばからだはうす	3	3	3	3	3	3	18	3.8%	
永国長寿館	2	2	2	2	2	1	11	2.3%	
イキイキばんび	1	0	0	0	0	0	1	0.2%	
土浦ケアセンターそよ風	2	2	2	2	2	2	12	2.5%	
リハビリ土浦	1	2	2	2	2	2	11	2.3%	
デイサービス優愛	2	2	2	2	2	2	12	2.5%	
やすらぎの園	1	1	2	2	2	2	10	2.1%	
コミュニティーガーデン	1	1	2	2	2	2	10	2.1%	
ディアンドデイ	1	1	1	1	1	1	6	1.3%	
さとのこハウスデイ	1	1	1	1	1	1	6	1.3%	
ブラザマムデイ	1	1	0	1	1	1	5	1.1%	
ツクイ土浦デイ	1	1	1	1	0	0	4	0.8%	
阿見ケアコミュニティそよ風	1	0	1	1	1	1	5	1.1%	
デイサービスひらおか	1	1	1	1	1	1	6	1.3%	
いきいきらいふ PSA	0	1	1	1	1	1	5	1.1%	
合計	75	77	81	81	82	79	475		

通所介護の事業所はリハビリに特化した半日型の通所や入浴だけの短時間支援などの事業所の利用希望も増えている。利用者のレベルや家族のニーズに合わせ事業所の選択を行った。

ショートステイも利用ができて、ケアマネが在籍しているサービス事業所内、顔馴染みのあるスタッフで対応がされると言う事で当法人の希望が多かった。

福祉用具貸与（前期）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	割合
茨城福祉サービス	16	15	15	14	14	16	90	43.0%
ダスキンヘルスレント	9	9	9	9	9	10	55	26.3%
さくら薬局福祉用具センター	2	2	2	2	3	3	14	6.7%
栗原医療器械店	2	2	2	2	2	2	12	5.7%
エイジーフリー	3	3	3	2	2	1	14	6.7%
土浦メディカル	1	1	1	1	1	1	6	2.9%
はーとらいふつくば	1	1	1	1	1	1	6	2.9%
(株) アールイーライフ	1	0	0	0	0	1	2	1.0%
樹里	0	1	1	1	1	1	5	2.4%
ヤマシタコーポレーション	0	0	0	0	0	1	1	0.5%
(株) フロンティア三郷	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
ロングライフ	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
県央福祉サービス	0	0	0	1	1	1	3	1.4%
介護用品スマイル	0	0	0	1	0	0	1	0.5%
合計	35	34	34	34	34	38	209	

福祉用具貸与（後期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合
茨城福祉サービス	16	17	16	19	17	16	101	39.1%
ダスキンヘルスレント	12	13	12	13	12	12	74	28.6%
さくら薬局福祉用具センター	3	3	3	3	3	3	18	7.0%
栗原医療器械店	2	2	2	3	3	3	15	5.8%
エイジーフリー	1	2	2	2	1	0	8	3.1%
土浦メディカル	1	1	1	1	1	1	6	2.3%
はーとらいふつくば	1	1	1	1	1	1	6	2.3%
(株) アールイーライフ	1	1	1	2	2	3	10	3.9%
樹里	1	1	1	1	1	1	6	2.3%
ヤマシタコーポレーション	1	1	1	1	1	1	6	2.3%
(株) フロンティア三郷	0	1	1	1	1	1	5	1.9%
ロングライフ	1	1	1	0	0	0	3	1.2%
県央福祉サービス	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
介護用品スマイル	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計	40	44	42	47	43	42	258	

福祉用具貸与に関しては、各事業所の取り扱っている内容とニーズに合わせ、また同品目でも単位数に相違がある為、低単価な物で提供できるよう選定した。

訪問介護（前期）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	
訪問介護マナ	2	3	6	5	5	5	26	20.8%
社会福祉協議会うらら	2	3	1	2	3	4	15	12.0%
土浦ケアセンターそよ風	5	5	7	5	4	4	30	24.0%
ブラザマアム	2	2	1	2	2	3	12	9.6%
阿見ケアコミュニティー	1	1	1	0	0	0	3	4.8%
喜楽希楽サービス	2	2	2	1	1	2	10	8.0%
山手健康倶楽部	2	1	1	1	1	1	7	5.6%
介護アリス	1	1	1	1	1	1	6	4.8%
あずみ苑グランデ	0	0	0	0	1	1	2	1.6%
アースサポート土浦	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
ヘルパー親愛隊	2	2	2	2	2	2	12	9.6%
オーシャン訪問介護	0	1	1	0	0	0	2	7.2%
合計	19	21	23	19	20	23	125	

訪問介護（後期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
訪問介護マナ	5	4	4	5	5	5	28	20.4%
社会福祉協議会うらら	3	3	5	4	4	4	23	16.7%
土浦ケアセンターそよ風	4	0	0	0	0	0	4	2.9%
ブラザマアム	3	4	3	3	3	3	19	13.8%
阿見ケアコミュニティー	0	4	4	4	4	4	20	14.5%
喜楽希楽サービス	3	2	2	2	1	1	11	8.0%
山手健康倶楽部	1	1	1	1	1	1	6	4.37%
介護アリス	1	1	1	1	1	1	6	4.37%
あずみ苑グランデ	1	1	1	1	1	1	6	4.4%
アースサポート土浦	0	0	0	0	1	1	2	1.5%
ヘルパー親愛隊	2	2	2	2	2	2	12	8.6%
オーシャン訪問介護	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計	23	22	23	23	23	23	137	

訪問介護に関しては、ケアマネジャー自身より本人の日常に密着した関わりを持つ為、細かい気づきやサービスの提供状況により選択した。サービス付高齢者住宅のように、付随した事業所を利用せざる得ないケースや通院等乗降介助を実施している事業所が少なく、生活支援等抱き合わせで依頼しているケースもあった。

短期入所生活介護・療養介護(前期)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	割合	祥風会
特別養護老人ホーム飛羽ノ園	12	12	15	13	12	13	77	63.1%	63.9%
憩いの里短期入所生活介護	1	0	0	0	0	0	0	0.8%	
ショートステイえがお	3	3	4	5	3	3	21	17.2%	
永国ケアセンターそよ風	2	1	2	1	2	2	10	8.2%	
なごみ短期入所生活介護	1	1	1	1	1	1	6	4.9%	
こほく "	1	1	1	1	0	0	4	3.8%	
やすらぎの園 "	0	0	0	1	1	1	3	2.5%	
ショートステイにいはり	1	0	0	0	0	0	1	0.8%	
ショートステイとまと	0	0	0	0	1	0	1	0.8%	
短期入所施設 双樹苑	0	1	0	0	0	0	0	0.8%	
療養型ショートステイ施設	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	21	19	21	21	20	20	122		

短期入所生活介護・療養介護(後期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合	祥風会
特別養護老人ホーム飛羽ノ園	10	8	10	12	9	8	57	55.6%	57.6%
憩いの里短期入所生活介護	0	1	1	0	0	0	2	2.0%	
ショートステイえがお	3	4	3	3	3	3	19	18.6%	
永国ケアセンターそよ風	2	2	0	1	2	1	8	7.6%	
なごみ短期入所生活介護	1	1	1	1	1	2	7	6.9%	
ブラザマーム "	1	0	0	1	2	1	5	4.9%	
ショートステイとまと	1	1	1	1	0	0	4	3.9%	
松代ケアセンターそよ風	0	0	0	0	1	1	2	2.0%	
ショートステイにいはり	0	0	0	0	0	1	1	1.0%	
ひかり短期入所生活介護	1	1	1	1	1	1	6	100%	
合計	18	17	17	20	18	16	108		

後期に件数が低下しているのは、施設側で疥癬・インフルエンザ等で利用制限があった。傾向としてデイサービスと同敷地他サービスの希望が多かった。

7. 初回同行訪問件数（新規依頼を受け、同行訪問をした件数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1	3	1	0	2	6	4	0	3	1	3	3	27件

今年度より新規同行訪問を開始した。近年の傾向として、該当者本人の状況もあるが、老々介護・経済問題・引きこもりの家族を抱えている・虐待の疑いのケース等も増加傾向。その際は行政との連携を図るが、事業所内で担当ケアマネジャー以外にも顔が見える状況作りをする事により、事業所内で更により支援が出来るようにと開始した。

更に複数の目で状況確認（連絡が取れない、虐待の疑い等複数の目での確認が必要な時も同行）を実施した。

8. 認定調査

認定調査委託件数 土浦市内(90件)市外（8件）。

認定調査の実施の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
土浦市	5	11	6	8	5	10	6	8	5	11	6	9	90
市外	1	0	1	1	1	0	1	0	1	1	0	1	8
計	6	11	7	9	6	10	7	8	6	12	6	10	98

認定調査の実施件数は、土浦市内（90件）市外（8件うち、県内2件、他県1件、都内5件）。

9. その他研修等

研修内容

介護支援専門員研修（専門Ⅰ）（4月・6月）

介護支援専門員研修（専門Ⅱ）（9月）

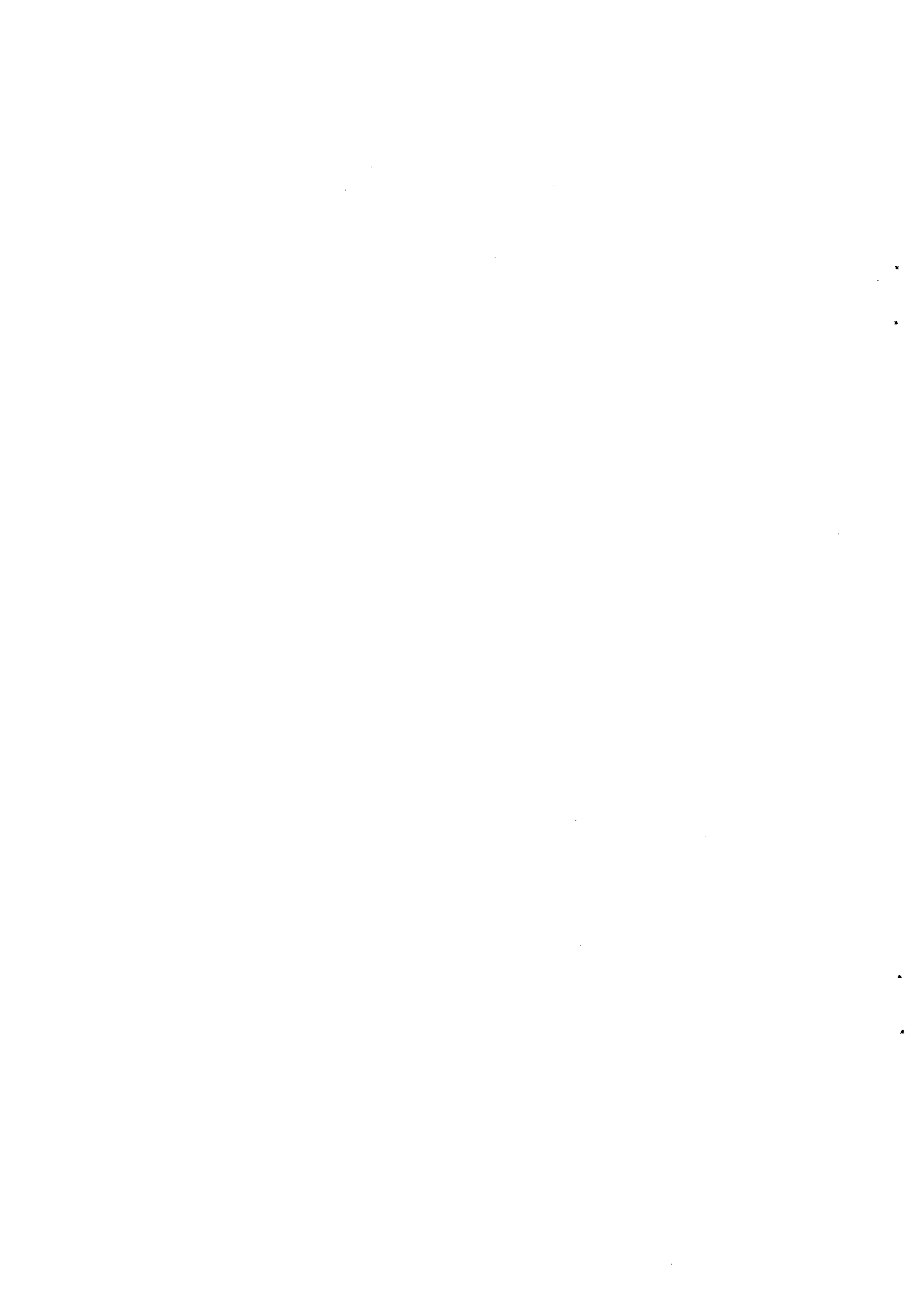
祥風会 介護支援専門員研修（5月・1月）

土浦ケアマネジャー研究会（5月・7月・9月・11月・1月・3月）

土浦市在宅医療と介護の多職種連携研修会（7月・2月）

認知症高齢者アセスメントツール意見交換会（8月）

土浦医師会事例検討会（毎月1回）



平成 27 年度 土浦市在宅介護支援センター飛羽ノ園 事業報告書
土浦市在宅介護支援センター運営委託事業（四中地区担当）

地域包括支援センターのランチ業務を担っているが今年度より四中地区の高齢者数が他地区よりも多いことが勘案され、在宅介護支援センター職員の委託・配置人員数が常勤換算数 0.5 名から 1 名に増加となった。

1. 特別業務

状 況	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
(1) 台帳作成	4	9	7	8	5	2	7	4	2	1	7	7	63
(2) 緊急通報	0	1	0	1	2	1	1	0	1	0	0	2	9
(3) 配食サービス	2	0	1	1	1	0	1	1	0	0	0	1	8
(4) ニーズ調査	0	0	0	0	0	0	0	104	1	0	0	0	105
(5) 啓発事業	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	0	6
合 計	7	10	9	11	8	4	9	110	5	1	7	10	191

前年度は 191 件であり業務合計数は変化なし。今年度は「介護予防のための健康度調査未回収者の訪問」106 件、「ふれあい台帳見直し訪問」388 件、「緊急医療情報キット見直し訪問」77 件と通常業務外での訪問・確認業務が多く、時間を費やしたがその中で実際にニーズを把握・確認することができ介護保険申請・サービス利用に繋がったケースも多かった。今後も引き続き定期的な台帳の見直し・確認の必要性が高いと考える。

2. 相談

相談区分	本人	家族	民生委員 近隣	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	計	
業務時間	電話	93	60	17	22	11	1	32	3	239
	来所	13	9	2	0	1	0	0	0	25
	訪問	217	33	5	6	7	0	14	7	289
時間外	電話	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	来所	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	訪問	9	0	0	0	0	0	0	0	9
合 計	332	103	24	28	20	1	46	10	564	

前年度の相談数合計 297 件と比較すると約 2 倍の相談件数があった。（「介護予防のための健康度調査未回収者の訪問」106 件、「ふれあい台帳見直し訪問」388 件を含む）

相談区分	本人	家族	民生委員 近隣	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	計
(1) 家族の支援	3	4	0	0	1	0	3	0	11
(2) 介護保険制度	29	11	6	8	10	0	14	1	79
(3) 福祉サービス	311	90	20	19	9	1	24	9	483
(4) 保健・医療	5	2	0	0	0	0	6	0	13
(5) 経済・住まい	1	0	0	0	0	0	0	0	1
(6) 地域の困りごと	3	0	0	0	0	0	0	0	3
(7) その他	3	0	0	0	0	0	0	0	3
(8) 二次予防事業	2	0	0	0	0	0	0	0	2
(9) 虐待・権利擁護	1	0	0	0	0	0	0	0	1
(10) ケアマネ支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(11) 認知症関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	358	107	26	27	20	1	47	10	596

相談区分での比較に大きな差はないが「(2) 介護保険制度」に関する相談が前年度の41件から79件と約2倍に増加している。介護保険への理解・制度自体の浸透が進んでいる結果と捉える。(8)(9)(10)(11)に関しては件数が少ないが地域包括支援センターへ直接相談が行っているという背景がある。

3. 会議出席回数等

件 名	件数
(1) ふれあい調整会議	10
(2) スクラムネット	14
(3) その他	14
計	38

ふれあい調整会議・スクラムネットでの他職種・他業種・他立場の方々の意見を参考にした上でケース検討を行った結果、視野の拡大や困難ケースへの対応に有効活用することができた。

4. 啓発事業・地域支援セミナー実施状況

回	日時	地区	場所	テーマ・講師	参加人数
1	4月2日(木) 13:30~14:30	下高津 婦人学級	湖畔荘	「頼りになります。地域包括支援センター」 地域包括支援センター 小島智弘氏	32名
2	6月15日(木) 10:00~12:00	天川 円の会	天川公民館	「楽しく動いて認知症・転倒を予防しよう②」 スクエア・ステップ協会 津村秀一郎氏他3名	54名
3	7月10日(木) 10:00~11:15	上高津・ 上高津新 町 高齢者	上高津公民館	出前講座「頭と体をいつまでも元気に」 土浦市健康増進課 鈴木徹氏	22名
4	9月12日(土) 13:00~14:15	中高津 さつき会	中高津公民館	出前講座「あなたと家族のお役に立ちます。介護保険」 土浦市高齢福祉課 刈山和幸氏	23名
5	11月19日(木) 13:00~14:15	富士崎 福寿会	富士崎公民館	「教えて介護保険制度」 在宅介護支援センター飛羽ノ園 椎名・梶川	18名
6	12月15日(火) 10:30~11:45	永国 むつみ会	永国公民館	健康講座「出張！貯筋講座編」 土浦市健康増進課 鈴木徹氏	22名

前年度同様、年間6回実施した。内容(テーマ)に対するニーズに関しては「介護保険など」の制度的な座学よりも「認知症予防・体力維持など」のように、より具体的な予防活動に関心があり、希望される団体が多かった。介護予防に対する意識が高まりつつあるといった印象を受ける。また、土浦市より派遣される「出前講座」は講師・内容共に有意義なものが多く今後も有効に活用したい。

5. 運営事業特別業務委託料請求状況

事業名	単価(円)	件数	合計金額(円)
台帳整備	3,240	63	204,120
緊急通報システム申請	3,240	9	29,160
配食サービス申請	3,240	8	25,920
日常生活ニーズ調査回収	540	105	56,700
啓発事業	8,100	6	48,600
合計		191	364,500

前年度合計¥425,520から¥61,020の減少がみられるが台帳整備が97件から63件へと減少しているからである。これはご家族・市高齢福祉課・包括からの依頼による訪問の中で緊急性や必要性が高いため、介護保険申請へ繋がるケースが多く台帳作成に至らなかったためである。

6. 動向と考察

- ・独居であり、地域との関わりが希薄な認知症の人への介入が困難だった。
- ・高齢夫婦世帯であり、片方が認知症の場合、もう片方が抱え込んでしまうケースが多かった。(近所に知られたくない等の気持ちもあるのか、「認知症と認めない」「隠そうとする」パターンが多い。)
- ・介護保険制度への理解が高まり、定着してきているのか、サービスが即介入できるケースもあった。
- ・親族が遠方で関わりが少ない場合、本人の現状に気付いていないことが多く、早期発見に繋がらないことが多かった。
- ・個人情報保護法により、独り暮らし高齢者の情報がなかなか収集できず、早期対応が困難な場合があった。
- ・台帳作成後、長期間に渡って訪問していないケースがあったが見直しによる訪問で現状把握・ニーズ把握・サービスに繋がるケースが多々あった。見直しの重要性を改めて知る機会となった。
- ・経済困窮のため、サービス利用に対して消極的な人もいるが減額制度など説明できる機会があればサービスに繋がるケースがあった。
- ・本人、家族含め、認知症だけでなく精神疾患が合併しているケースが増加傾向にある印象を受けた。ソーシャルワーカーとして認知症に関する理解だけではなく、医療的な分野への理解もより重要になってきていると改めて感じた。
- ・地域包括支援センターの定着により、在宅介護支援センターへの直接的な相談が減少しているように感じるが近隣住民・民生委員からは継続して訪問依頼がある。包括と在支共に認知度・信頼度は高まってきていると感じた。
- ・地域の方から「現在の老人会では十分な活動ができていないのが現状である。地域の高齢者を対象に地域の拠点として飛羽ノ園で居場所作りや活動ができないか。」との相談があった。社会福祉法人として信頼関係・地域貢献などを再認識し、また新しいニーズを発見する良い機会となった。→今後の「総合事業」に繋がる活動を提案できればと考え、現在検討中。

7. ケース報告 (平成 27 年度 主なもの)

①93 歳・女性・独居・要介護 2・認知症。困りごとがあると民生委員・隣人や包括等へ電話をかけるが耳が遠く会話が成立しない。習慣になっている通院・買物は何とかできていたが受診もなくなり服薬していない。また入浴や洗濯等もできていない様子。主治医や関係機関の訪問時に介護保険サービスや施設の利用を勧めるが本人には困っているという認識がなく同意を得られない。

→ケアマネジャー・包括同行による受診支援を行い、またキーパーソンである甥と連絡を取りながら訪問介護サービスの利用を行うと同時に施設入所に向けての支援を行った。結果、本人の妹が入所している千葉県の施設に入所することとなった。初回訪問から 9 年越しのことだった。

②87 歳・女性・独居・認知症疑い。民生委員より定期的に訪問しているが髪が伸びきっており洗濯・入浴ができていないため認知症が疑われる。また定期受診している様子もなく健康状態が懸念される。

→包括・コーディネーター・在支で見守り訪問を行い状態把握行う。着ている服に季節感はなく、洗濯もできていない印象。またやせ気味であり、宅配の弁当以外食べられているのか不安があった。本人には困っているという認識はなく訪問者に対しても拒否的であった。弁当宅配時、業者の前で転倒し救急搬送後入院となる。キーパーソンである甥と相談し、介護保険申請、その後本人納得の上で土浦市内のグループホーム入所となる。

③87 歳・女性・長女と 2 人暮らし・要介護 4・乳がん末期。ADL 低下も見られ、入浴できていない状態。本人末期がんがあるが受診できていなく患部の処置・清拭を長女が行っている。長女は就労しており日中は独居。時間的・金銭的にも余裕がない。

→本人の状態について長女と面談。サービスの必要性・減額制度など説明しサービス利用に繋がった。

④夫 87 歳・要支援 1。妻 86 歳・要支援 1・認知症。同敷地内に長男夫婦同居。夫は妻の認知症状について認識はしているがサービス利用には消極的であり、長男夫婦の介入も拒んでいた。

→3～4 回の定期訪問にて信頼関係が築け、サービスの必要性・認知症の進行予防など説明し、デイサービスの利用に繋がった。

⑤83 歳・女性・独居・要介護 1・認知症。民生委員より在支へ相談が来る。妹の夫の死による精神的負担が原因で食事が摂れなくなり、救急搬送された。今後一人での生活に不安がある。

→キーパーソンである長男と面談。介護保険サービスの必要性と在宅生活継続の不安点について説明し介護保険申請・サービス利用開始となる。



平成27年度特別養護老人ホーム憩いの里事業報告

介護老人福祉施設
短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

1. 運営

入居者の意思及び人格を尊重し、事業計画に基づき、可能な限り居宅での生活への復帰を念頭に置き質の高いサービスの実施に努めた。家族会の開催による満足度のアンケートや随時入居者からの聞きとり調査による質の確認を行い、職員と利用者の距離感を縮めた。また、業務内容改善のため各ユニットにパソコンを置き記録の電子化に努めた。

感染予防の研修や施設内の勉強会を実施、予防に努めた。2年かけユニット内のワックス剥離を行い10年の汚れを落とし、新たに清掃の意識を高め綺麗な環境で生活できるよう努めた。

27年度は活動の1つである委員会活動の活発化を目標としてきた。26年度に比べ自主的な活動ができるようになったがさらにもう一步自発的な行動を28年度に期待したい。

地域から信頼される施設として介護予防教室を実施した。新治地区全域を対象としていきたいが一部地域の活動となってしまった。認知症の介護者を対象にした活動に至らなかったため28年度に実施していきたい。

2. 入退状況

年 月	27										28			計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
入所	3	0	1	1	1	3	1	3	2	3	4	1	23	
退所	3	0	1	1	2	2	1	3	2	4	3	1	23	

3. 年齢構成

年齢	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	106～	計
男性	0	2	1	7	3	3	1	0	0	17
女性	0	0	1	8	16	18	7	2	1	53
計	0	2	2	15	19	21	8	2	1	70

最高齢107歳 最低年齢は71歳である。

平均年齢は、男性84.0歳、女性89.9歳。平均年齢は88.5歳。

また、平均年齢は前年度より0.4歳増となっている。

4. 入所期間

	1ヶ月～1年 未満	1年～2年 未満	2年～3年 未満	3年～4年 未満	4年 以上	計
男性	5	9	0	1	2	17
女性	14	13	6	4	16	53
計	19	22	6	5	18	70

平均入所期間は、2年10ヶ月。

5-1 要介護度別利用者数推移(介護老人福祉施設)

年 月	27										28		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
要介護1	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	
要介護2	13	13	14	15	15	15	15	16	16	15	15	15	
要介護3	15	14	13	14	14	14	13	13	15	13	16	17	
要介護4	29	30	30	29	29	29	29	29	28	29	29	28	
要介護5	11	11	11	10	10	11	12	11	10	12	9	9	
計	70	70	70	70	69	70	70	70	70	70	70	70	

平均介護度 3.5

要介護1 1.9% 要介護2 21.0% 要介護3 20.3%

要介護4 41.5% 要介護5 15.1%

5-2要介護度別利用者数推移(短期入所生活介護・介護予防生活介護)

年月	27 4	5	6	7	8	9	10	11	12	28 1	2	3	平均
要介護1	6	0	0	0	2	0	2	22	20	21	18	36	10.583
要介護2	59	62	68	82	58	63	39	41	44	64	20	25	52.083
要介護3	43	43	59	75	108	114	117	113	89	93	73	65	82.667
要介護4	133	122	120	100	92	74	91	62	69	78	97	87	93.75
要介護5	19	52	32	31	31	30	8	5	13	3	0	7	19.25
延べ人数	260	279	279	288	291	281	257	243	235	259	208	220	258.33
月平均利用者	8.7人	9人	9.3人	9.3人	9.4人	9.4人	8.3人	8.1人	7.6人	8.4人	7.2人	7.1人	7.7人

5月から9月にかけてほぼ満床が続いたものの、冬場は体調不良等により空きが多くなった。
しかし年間稼働率は77%、平成26年度も77%で変わらずに推移した。

6.ユニットADL状況

平成27年3月31日現在

	ユニット	食事	排泄	入浴	着脱	移乗	寝返り	歩行	車椅子	起立	立上り	整容動作
自立	あじさい	6	2	6	1	0	7	3	0	3	3	4
	りんどう	8	3	0	4	4	7	4	0	7	6	7
	つつじ	7	1	0	1	3	5	0	4	3	4	2
	カンナ	9	5	0	5	5	6	4	2	5	5	5
	ひまわり	8	2	0	2	0	4	0	3	5	3	8
	ばら	8	3	0	0	1	7	2	0	5	4	5
	すいせん	7	1	0	2	4	7	3	3	1	1	3
	コスモス	8	5	0	5	5	5	5	0	5	5	6
	計	61	22	6	20	22	48	21	12	34	31	40
一部介助	あじさい	2	6	1	5	2	1	3	2	3	3	3
	りんどう	1	5	7	3	3	2	3	1	1	1	1
	つつじ	3	7	7	6	5	4	4	2	4	4	3
	カンナ	1	2	9	4	4	2	1	1	3	4	2
	ひまわり	2	5	5	3	4	3	2	2	3	3	0
	ばら	1	5	8	8	0	0	0	1	2	3	2
	すいせん	2	6	7	6	3	1	1	1	3	3	1
	コスモス	1	1	5	1	1	1	0	1	2	1	2
	計	13	37	49	36	22	14	14	11	21	22	14
全介助	あじさい	0	0	1	2	0	0	0	0	2	2	1
	りんどう	1	2	3	3	3	1	0	2	2	3	2
	つつじ	0	2	3	3	2	1	0	4	3	2	5
	カンナ	0	3	1	1	1	2	0	2	2	1	3
	ひまわり	0	3	5	5	4	3	3	3	2	4	2
	ばら	1	2	2	2	5	3	0	5	3	3	3
	すいせん	1	3	3	2	3	2	0	2	6	6	6
	コスモス	1	4	5	4	4	4	0	4	3	4	2
	計	4	19	23	22	22	16	0	22	23	25	24

7.入浴状況

	月	あじさい	りんどう	つつじ	カンナ	ひまわり	ばら	すいせん	コスモス	合計
個浴	4月	73	59	61	79	58	39	78	85	532
	5月	79	45	49	85	55	41	70	80	504
	6月	100	55	56	80	54	43	77	78	543
	7月	111	61	59	85	49	43	78	65	551
	8月	102	50	50	84	42	39	66	71	504
	9月	96	54	49	85	43	56	66	65	514
	10月	103	51	40	85	45	47	71	70	512
	11月	99	49	52	78	42	75	63	65	523
	12月	102	56	63	85	44	93	60	68	571
	1月	99	45	44	86	43	52	49	61	479
	2月	76	58	42	85	40	51	52	64	468
	3月	94	71	45	87	43	65	50	65	520
	合計	1134	654	610	1004	558	644	780	837	6221
特浴	4月	19	28	31	9	21	42	8	4	162
	5月	23	26	26	9	31	43	9	12	179
	6月	29	32	34	8	33	40	9	17	202
	7月	14	36	27	9	40	33	9	25	193
	8月	13	30	24	9	43	25	14	25	183
	9月	15	35	27	8	43	30	16	24	198
	10月	12	35	30	7	46	27	18	22	197
	11月	11	42	31	8	39	22	22	26	201
	12月	10	47	23	3	40	25	32	36	216
	1月	16	38	25	0	33	26	24	31	193
	2月	19	29	34	0	34	31	30	36	213
	3月	9	25	34	3	45	25	28	36	205
	合計	190	403	346	73	448	369	219	294	2342
清拭	4月	13	4	0	0	0	1	0	0	18
	5月	2	10	2	0	1	3	4	1	23
	6月	0	2	0	2	0	5	4	1	14
	7月	9	3	3	3	0	0	2	3	23
	8月	3	8	6	3	1	0	4	0	25
	9月	0	4	10	3	0	0	2	2	21
	10月	2	8	12	3	0	7	1	6	39
	11月	3	0	1	2	0	11	3	1	21
	12月	2	0	1	3	9	0	2	1	18
	1月	3	2	0	0	1	1	5	3	15
	2月	2	0	0	5	0	0	3	0	10
	3月	0	1	0	3	2	0	0	0	6
	合計	39	42	35	27	14	28	30	18	233

8.行事・活動報告(全体)

行事	日付	入居者	職員	家族	ボランティア	計
花見&焼そば	4/4	29	7	0	0	36
花見	4/6	11	3	0	0	14
小学校運動会見学	5/23	1	1	0	0	2
日帰り旅行	5/27	13	16	0	0	29
出前食	5/27	22	11	0	0	33
さつき祭見学	5/30	9	4	0	0	13
社交ダンス見学	6/8	20	4	0	0	24
幼稚園児来園	6/29	19	4	0	0	23
ハーモニカ見学	6/30	16	5	0	0	21
踊りボランティア	7/4	25	7	0	0	32
実習生レク	7/18	4	1	0	0	5
納涼祭	8/9	78	28	43	0	149
デイ納涼祭	8/11	4	1	0	0	5
ビアガーデン	8/26	29	5	0	0	34
敬老会	9/20	74	26	38	0	138
新治祭見学	10/25	4	3	0	0	7
文化祭	11/1~11/5	11	3	0	0	14
クリスマス会	12/13	76	31	21	0	128
餅つき	12/28	63	25	0	0	88
平成28年元旦式	1/3	73	20	0	0	93
豆まき	2/3	67	18	0	0	85
手品見学	2/26	17	3	0	オカリナ 2	22
新治中来園	3/3	5	1	0	0	6
大正琴見学	3/16	17	6	0	6	29

9.クラブ活動報告(全体)

クラブ名	日付	入居者	職員	計
華道クラブ	4/25	13	3	16
	5/31	4	1	5
	6/27	12	3	15
	9/19	13	2	15
	10/31	4	1	5
	1/31	4	1	5
工作クラブ	4/29	6	3	9
	7/12	8	3	11
	7/19	8	2	10
	10/24	5	1	6
	1/23	14	5	19
書道クラブ	5/31	6	2	8
	7/26	8	2	10
	10/18	9	3	12
憩いカフェ	5/10	24	7	31
	6/20	8	3	11
	7/11	16	5	21
	10/28	6	3	9
	11/3	6	2	8
	3/27	9	3	12
園芸クラブ	5/6	2	2	4
	10/28	6	2	8
	11/11	10	4	14
レクリエーション	4/15	13	5	18
	4/19	13	2	15
	5/16	9	4	13
	5/31	9	4	13
	6/20	5	2	7
	6/24	10	2	12

- ・華道クラブ…季節の花を利用し、定期的に実施することができた。参加者も多く、同じ入居者に偏らないよう工夫をした。作品はユニットに飾って楽しんだ。
- ・工作クラブ…うちわやクリスマスなど、季節に見合った品物を作成した。
- ・書道クラブ…クラブ活動が年間少なかったことと、参加される入居者がほぼ同じになってしまった。多くの入居者が参加できる雰囲気を作ればよかったと思う。
- ・憩いカフェ…①開催時期にバラつきが出てしまった。特に下半期は担当職員の不足勤務調整困難な状況がつづいていたので、ほとんど開催できなかった。
②誕生会等と重なることが続いたので、イベントの開催調整をする必要を感じた。
③参加人数を制限することで、ゆとりある空間の提供は出来たと思う。また当日に買い出しを行なうことで、冷凍品ではなく生菓子・フレッシュなものを提供できたことは良かった。
- ・園芸クラブ…季節に見合った野菜を植え育てていった。出来た野菜を入居者にも提供し大変喜ばれた。
- ・レクリエーションクラブ…
①カラオケやボーリング・輪投げ・体操・クイズを実施した。各ユニット3名ずつ参加し、特に体操が喜ばれた。しかし下半期は勤務調整不足で実施できないことが続いた。他ユニット入居者同士の交流の場が提供できたことは良かったと思う。

10. ユニット内活動

10-1 あじさい

(平成28年3月31日現在 男性3名、女性5名 計8名在籍)

ショートステイユニットとして、利用者の要望に応えられるよう、コミュニケーションを図りながら支援に努めた。ユニット内でも楽しみある生活が送れるよう、おやつ作りやレクリエーション活動を工夫しながら行なった。

実施日	内容	場所	参加人数	職員数
4/2	花見散歩	高岡保育園	6	2
5/10	母の日会	あじさい	8	2
6/14	誕生会と父の日会	あじさい	8	3
6/16	ミニバンド見学	さんあびお	4	1
8/26	スイカ割り	りんどう	9	2
9/16	外食会(他ユニットと合同)	坂東太郎	2	1
9/23	誕生会	あじさい	9	3
10/20	外出(りんどうと合同)	つくばわんわんランド	1	0
11/2	文化祭見学	陽だまりサロン	8	2
12/18	誕生会	あじさい	9	2
2/24	誕生会	あじさい	6	4
2/28	カラオケ	りんどう	5	2
3/26	誕生会	あじさい	10	4

10-2 りんどう

(平成28年3月31日現在 女性10名 計10名在籍)

個々の生活がゆっくり寛げるよう入居者の状態に合わせ、座席を変更し環境整備を行なった。入居者からの意見を大事にし、耳を傾け、行動できるよう心がけた。

実施日	内容	場所	参加人数	職員数
4/2	花見散歩(他ユニットと合同)	高岡保育園	2	1
5/10	母の日会	りんどう	10	2
7/10	誕生会	りんどう	10	2
8/26	スイカ割りと誕生会	りんどう	10	1
10/4	買い物(カンナと合同)	さんあびお	1	1
10/20	外出(あじさいと合同)	つくばわんわんランド	2	2
2/26	チョコフォンデュ	りんどう	10	2
2/28	カラオケ	りんどう	10	2
3/2	外出	筑波山	3	3
3/2	外出	水郷	3	4
3/29	花見(他ユニットと合同)	松見公園	3	2

10-3 つつじ

(平成28年3月31日現在 男性1名、女性9名 計10名在籍)

認知症高齢者ユニットとして、個々に対応し不安なく生活援助できるよう努めた。

また、個人の残存機能の維持、向上を目指し個々に合わせたケアを行った。

気分転換に散歩、諸活動への参加を行い、日常生活の中でコミュニケーションを多くとるよう心がけた。

実施日	内容	場所	参加人数	職員数
4/2	花見散歩(他ユニットと合同)	高岡保育園	2	2
5/10	母の日会	つつじ	10	3
6/27	誕生会	つつじ	10	3
7/11	誕生会	つつじ	10	3
10/17	誕生会	つつじ	10	3
12/20	おやつ作り	つつじ	10	4
1/6	初詣(他ユニットと合同)	八坂神社	3	2
3/29	昼食作り	つつじ	10	4
3/29	花見ドライブ	松見公園	2	2

10-4 カンナ

(平成28年3月31日現在 男性5名、女性5名 計10名在籍)

比較的自立されている方も多いため、ユニット内行事を多く起案し、実施した。

排泄に関しては、月に1回見直しの場を設け、清潔を保てるようにした。また本人にあったオムツやパットが使用されているかをユニットで検討し、使用削減に努めた。

1日の排泄回数は4回以上行う。また、訴え時に排泄介助を実施した。個々に合った排泄ケアが行えるよう努めた。

余暇活動として、施設内・外の散歩、施設内体操、お菓子作り、レクリエーションも行った。

入居者の誕生日に誕生会をユニット内で行った。

実施日	内容	場所	参加人数	職員数
4/12	おやつ作り	カンナ	8	3
5/23	フラワーパーク外出	八郷フラワーパーク	3	3
5/24	カラオケ	カンナ	9	2
6/11	おやつ作り	カンナ	9	3
6/17	梅収穫	カンナ	2	1
6/28	カラオケ	カンナ	5	2
8/16	誕生会	カンナ	9	2
9/13	カラオケ	カンナ	3	2
9/16	外食会(すいせんと合同)	坂東太郎	3	1
9/21	誕生会	カンナ	9	2
10/4	外出(りんどうと合同)	さんあびお	2	2
10/14	誕生会	カンナ	8	2
11/21	誕生会	カンナ	9	1
1/13	誕生会	カンナ	8	3
2/14	誕生会	カンナ	9	2
2/14	おやつバイキング	カンナ	10	2
3/14	誕生会	カンナ	9	4

10-5 ひまわり

(平成28年3月31日現在 男性 2名、女性 8名 計10名在籍)

四季を感じられるイベントの実施として、花見ドライブ、母の日会、父の日会、すいか割りや初詣の実施、また全体行事(納涼祭、クリスマス会、クラブ活動)への参加をしてきた。

ユニット内での体操や季節に関する塗り絵を行い、入居者様と時間を共有し接してきた。

運動会などを予定していたが、実施できなかった。

実施日	内容	場所	参加人数	職員数
4/15	花見ドライブ	水郷公園	3	3
4/24	誕生会	ひまわり	3	3
5/11	母の日会	ひまわり	8	3
5/22	誕生会	ひまわり	8	3
6/3	外食会(バラと合同)	すぎのや	3	3
6/22	父の日会	ひまわり	8	3
7/22	誕生会	ひまわり	10	3
8/12	外出	イオン	3	2
8/21	すいかわり	陽だまりサロン	10	2
9/30	誕生会	ひまわり	9	3
10/28	誕生会	ひまわり	8	2
12/24	おやつ作り	ひまわり	7	3
1/6	初詣(他ユニットと合同)	八坂神社	3	2
1/20	誕生会	ひまわり	8	3

10-6 ばら

(平成28年3月31日現在 男性5名、女性5名 計10名在籍)

職員からの声かけにより、諸活動、施設事業への参加及びクラブ活動への参加をしていただいた事で、日々の気分転換を図り、他入居者とのコミュニケーションを図ることができ、充実した時間を過ごしていただくことができた。

実施日	内容	場所	参加人数	職員数
4/2	花見散歩(他ユニットと合同)	高岡保育園	5	2
5/13	母の日会	ばら	5	3
6/3	外食会(ひまわりと合同)	すぎのや	6	6
6/12	父の日会	ばら	10	2
7/10	誕生会	ばら	8	2
8/22	すいか割り(他ユニット合同)	陽だまりサロン	5	1
10/9	誕生会	ばら	8	2
1/19	誕生会	ばら	10	4
2/23	誕生会	ばら	9	2

10-7 すいせん

(平成28年3月31日現在 男性3名、女性7名 計10名在籍)

24時間シートの更新及び活用が出来なかった。季節に見合った行事は比較的提供できたが、不参加者が目立ってしまった。個人の生活習慣の把握を定期的にユニット内で検討・統一を図り、ニーズに対応し常に自己研鑽を心がけた。また情報の共有、報告、相談についての認識を改め、実施していった。入居者の声に沿ったユニット内レクリエーションも実施。協同作業を通し、個人の趣味や嗜好を把握できたと思う。

実施日	内容	場所	参加人数	職員数
4/6	花見散歩(他ユニットと合同)	高岡保育園	3	1
4/22	外出(コスモスと合同)	イオン	2	1
5/13	外食会(コスモスと合同)	ココス	1	1
5/21	母の日会	すいせん	10	3
5/31	カラオケ	すいせん	2	2
6/10	外食&外出(コスモスと合同)	はま寿司とピアタウン	1	1
6/14	父の日会	すいせん	9	2
8/15	流しそうめん	コスモス	10	3
8/22	すいか割り(コスモスと合同)	陽だまりサロン	2	1
9/16	外食(カンナと合同)	坂東太郎	2	2
9/19	リクエスト献立	すいせん	2	2
10/28	外出	イオン	3	3
11/29	誕生会	すいせん	9	3
12/23	誕生会	すいせん	8	3
1/13	初詣(他ユニットと合同)	八坂神社	4	2
1/27	誕生会	すいせん	6	2
2/14	バレンタイン	陽だまりサロン	3	1
2/23	誕生会	すいせん	2	2
3/18	ホワイトデー	すいせん	6	1
3/23	リクエスト献立	すいせん	7	3

10-8 コスモス

(平成28年3月31日現在 女性10名 計10名在籍)

ユニット体操・廊下での歩行訓練を継続的に実施し、8割の方が1年間ADLを維持することができた。10名中2名は週4回の個浴を実施し、清潔保持・リフレッシュができるよう提供した。昼夜オムツの方が4名、日中トイレ誘導の方が1名であるが、排泄パターンの把握に努め、その方に見合ったオムツを選ぶことで、オムツ使用削減にも努めた。

実施日	内容	場所	参加人数	職員数
4/22	外出(すいせんと合同)	イオン	2	2
4/25	誕生会	コスモス	10	2
5/10	母の日会	コスモス	10	2
5/13	誕生会(すいせんと合同)	コスモス	2	1
6/10	外食&外出(すいせんと合同)	はま寿司とピアタウン	3	2
6/20	いなり寿司作り	コスモス	10	2
7/7	七夕会	コスモス	10	1
7/15	外出	イオン	2	2
7/31	出前食	コスモス	10	3
8/15	流しそうめん	コスモス	10	2
8/22	すいか割り(すいせんと合同)	陽だまりサロン	2	1
9/23	誕生会	コスモス	8	2
9/30	秋刀魚焼き	コスモス	10	3
11/10	運動会	コスモス	9	3
12/30	忘年会	コスモス	10	3
1/20	誕生会	コスモス	10	3
2/27	おやつ作り	コスモス	10	3
3/22	誕生会	コスモス	10	2

11.ユニット会議

ひやりはっと報告・入居者処遇・活動内容報告・活動予定の確認・排泄の見直しについて、月1回定期開催できた。ひやりはっとの内容を周知し、再発防止に努めた。

排泄の見直しについては、排泄パターンの把握に努め、その方に見合ったサイズ・排泄方法を選ぶことで、オムツ削減にも努めた。

各ユニットに認知症実践者研修受講者、アセッサー受講者も増え、適切な指導・適切な介護により、施設全体の介護力アップに努めた。

11-1 1階

	あじさい		りんどう		つつじ		カンナ	
	実施日	参加人数	実施日	参加人数	実施日	参加人数	実施日	参加人数
4月	4/29	7	4/29	5	4/28	4	4/26	4
5月	5/30	6	5/27	4	5/30	4	5/28	4
6月	6/29	6	6/24	6	6/27	4	6/28	3
7月	7/31	7	7/29	5	7/31	5	7/30	3
8月	8/29	5	8/26	4	8/28	5	9/1	4
9月	9/28	5	9/29	7	9/27	2	9/28	4
10月	10/27	6	10/28	6	10/29	3	10/30	3
11月	11/28	4	11/25	4	11/25	8	11/26	3
12月	12/24	9	12/23	5	12/22	5	12/25	6
1月	1/31	5	1/27	5	1/29	5	1/27	7
2月	2/28	4	2/24	4	2/25	7	2/29	5
3月	3/30	3	3/23	6	3/29	6	3/31	10

11-2 2階

	ひまわり		ばら		すいせん		コスモス	
	実施日	参加人数	実施日	参加人数	実施日	参加人数	実施日	参加人数
4月	4/24	5	5/1	7	4/29	4	4/28	6
5月	5/29	3	5/31	6	5/26	5	5/21	7
6月	6/22	6	6/30	7	6/26	5	6/30	9
7月	7/17	7	7/31	6	7/27	5	7/30	5
8月	8/21	7	8/30	8	8/28	6	8/29	5
9月	9/25	6	9/24	8	9/26	5	9/25	6
10月	10/28	4	10/30	8	10/28	7	10/29	8
11月	11/27	5	11/23	8	11/24	6	11/21	8
12月	12/28	6	12/25	8	12/28	7	12/17	8
1月	1/21	4	1/27	9	1/29	9	1/20	9
2月	2/27	5	2/29	10	2/23	7	2/27	7
3月	3/30	8	3/29	9	3/23	7	3/25	7

※コスモス
7/8 担当者会議
1/7 ケアカンファレンス

※すいせん
10/1 業務見直し会議

12-1 医務室業務報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
SS利用者	260	279	279	288	291	281	257	243	235	259	208	220	3100
囁託医診察	21	44	42	40	35	36	54	57	48	49	50	50	526
他科受診	3	3	5	3	4	7	4	2	2	5	16	7	61
歯科受診	27	34	45	35	35	50	64	36	40	46	42	44	498
皮膚科受診	12	14	15	13	14	28	32	23	12	12	30	29	234
入院	2	0	3	2	1	0	0	0	0	2	2	2	14
救急車依頼	0	0	2	0	0	0	0	1	0	1	1	2	7
胃瘻チューブ	46	58	60	54	31	30	31	30	8	0	0	0	348
経管栄養	46	58	60	54	31	30	31	30	8	0	0	0	348
B.B カテーテル	81	103	90	93	93	99	107	125	144	110	105	129	1279
ストマ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
点滴	0	10	14	4	1	4	37	11	6	4	4	4	99
酸素投与者	76	87	122	102	93	98	115	123	105	132	100	78	1231
インシュリン 投与者	53	65	45	31	33	30	31	33	40	48	48	51	508
看取り	3	1	1	1	0	2	2	3	2	3	1	1	20
採血施行者	0	4	0	0	8	10	13	0	11	0	0	19	65
創傷処置	16	36	53	86	63	86	84	72	61	50	75	71	753

12-2 MMSE(ミニメンタルステート)検査

ユニット	実施月	平均年齢	0~21	22~26	27~30	実人数	平均
りんどう	5月	88.1歳	8	1	0	10	10.9
	11月	89.1歳	9	2	0	10	13.5
つつじ	5月	89.5歳	10	0	0	10	6.9
	11月	88.3歳	8	2	0	10	11.7
カンナ	5月	88.1歳	7	1	2	10	14.9
	11月	88.2歳	5	2	3	10	15.7
ひまわり	5月	91.3歳	9	0	1	10	15.2
	11月	92.0歳	7	1	1	10	15.7
ばら	5月	84.8歳	9	0	1	10	10.5
	11月	83.9歳	9	0	1	10	14.5
すいせん	5月	88.6歳	9	0	1	10	13
	11月	79.8歳	9	0	1	10	13.8
コスモス	5月	88.2歳	7	3	0	10	16.2
	11月	88.9歳	8	2	0	10	16.2

12-3 健康診断状況

月	検査項目	対象者	受診者
4月	検便検査	特養職員	54
		厨房職員	1
	健康診断	特養職員夜勤従事者	37
5月	検査項目	厨房職員	1
6月	検便検査	特養職員	45
		厨房職員	1
		デイサービス職員	11
		その他職員	11
7月	検便検査	厨房職員	1
8月	検便検査	厨房職員	1
		特養職員・デイ職員	55
	腰痛検査	特養職員	42
9月	検便検査	厨房職員	1
10月	検便検査	特養職員	56
		厨房職員	1
	健康診断	全職員	62
		入居者	70
11月	検便検査	厨房職員	1
12月	検便検査	特養職員・デイ職員	56
		厨房職員	1
1月	検便検査	厨房職員	1
2月	検便検査	特養職員・デイ職員	58
		厨房職員	1
	腰痛検査	全職員	63
3月	検便検査	厨房職員	1

(人)

12-4 所見

インフルエンザ予防注射	職員 69名 入居者 66名
健康診断の有所見者	4月 37名 10月 62名
腰痛検査の有所見者	2月 63名

※インフルエンザ罹患は職員、入居者ともになし。

感染防止のため、入居者の他ユニットとの往来を最小限にとどめ、体調不良者の面会を控えるなどとした。

※職員健康診断では、3名の未検者がいたが、後日健診を受けることが出来た。

入居者の胸部健診について、検診車で撮影不可が16名いたが、後日宮崎クリニックで撮影した。

12-5 入居者の生活支援

- ・健康管理
- ・疾病悪化の予測と予防
- ・関係医療機関との連絡調整
- ・緊急搬送時の同行
- ・日常生活の支援(入浴時の皮膚状態の観察、機能訓練、ADL介助、褥瘡予防、余暇活動)
- ・疾病予防
- ・健康相談と教育
- ・精神的支援
- ・ターミナルケア

12-6 施設内感染予防

- ・感染予防対策委員会の活動
- ・施設内害虫駆除の実施(4月、9月)
- ・スタンダードプリコーションの徹底
- ・予防接種の完全実施

12-7 健康管理

- ・健康診断……………血液一般、適宜
- ・胸部レントゲン……………10月
- ・MMSEの実施……………5月、11月実施
- ・ADL評価……………年2回 6月、12月
- ・体重測定・血中酸素飽和濃度の測定……毎月第3週、適宜
- ・予防接種……………インフルエンザ 66名実施

13. 委員会

13-1 感染予防委員会

- ①定期委員会の開催
- ②インフルエンザの予防接種
- ③インフルエンザ罹患者 職員0名、入居者0名
- ④害虫駆除、年2回実施 4月、9月

13-2 褥瘡対策委員会

- ①委員会の開催 ・各入居者のカンファレンス時に実施
 ・ケアプランに記録する
 ・写真により評価
- ②物品管理 ・エアマット・除圧マットなど

13-3 衛生管理委員会

- ①定期委員会の開催
- ②職場巡視 衛生管理者 産業医 月1回以上
- ③インフルエンザワクチン接種励行
- ④健康診断受診励行
- ⑤腰痛検査実施励行

13-4 サービス向上委員会

11月よりiPad導入。記録物(温度板と日誌)に関してはiPadでの入力に移行した。記録方法や使用方法、印刷方法などを委員会のほうで指導し、また分かりやすいようにマニュアルも作成した。24時間シートの整備も実施したが、更新時期や活用方法などにバラつきがみられた。次年度の課題として、全員が作成できるよう指導することと、「気づき」のツールとなるよう、勉強会を開催したい。

13-5 防災委員会

避難訓練

実施日	内容	参加者
H27.4.15	27年度防災委員会会議	職員6名
H27.5.20	総合防災避難訓練	入居者60名、デイ23名、職員30名
H27.6.7	震災想定防災避難訓練	入居者54名、デイ21名、職員32名
H27.7.15	夜間想定防災避難訓練	入居者63名、デイ21名、職員32名
H27.8.19	火災想定避難訓練	入居者60名、デイ22名、職員24名
H27.9.4	茨城県警察大震災総合警備訓練	入居者65名、デイ25名、職員35名
H27.10.21	総合避難訓練	入居者70名、デイ26名、職員31名
H27.11.18	夜間想定防災避難訓練	入居者65名、職員40名
H27.12.16	火災想定避難訓練	入居者64名、デイ24名、職員31名
H28.1.16	災害安全委員会会議	職員5名
H28.3.23	震災想定防災避難訓練	入居者60名、デイ20名、職員38名

14.介護計画作成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
認定調査	6	3	3	0	5	4	4	6	0	5	3	4	43
更新手続き	6	3	4	0	5	4	4	6	0	6	3	4	45
ケアプラン	10	13	24	10	13	9	12	13	21	11	16	10	162
ショートステイ	5	1	2	3	0	1	1	1	1	1	10	11	37
担当者会議	15	14	26	13	13	10	13	14	22	12	26	21	199

施設での生活が日常の生活と変わりなく・楽しく・充実して過ごせるよう、また、出来る限り健康を維持できるよう、個別ケアに重点を置き、多職種間の連携を図り、支援を密に行っていく。

15-1給食業務

	エネルギー Kcal	たんぱく質 g	脂質 g	炭水化物 g	カルシウム g	鉄 mg	ビタミンA μgRE	ビタミンB1 mg	ビタミンB2 mg	ビタミンC mg	食塩相当量 g
栄養目標量	1570	58	38	235.5	585	8	575	0.84	0.94	85	7.2
給与栄養量	1579	58.5	38.5	243.6	573	8.9	571	0.77	0.84	80	8.1

カルシウム、ビタミンAが目標量より少し下回った。ビタミンB1, B2は不足である。食塩相当量は目標値より高い。出汁の活用、練り製品の使用頻度と汁物の提供頻度を考える必要がある。

15-2食数

	朝	昼	夕
入居者(検食含)	25864	25546	25675
ショートステイ	2447	2882	2727
デイサービス		7116	
職員		3937	
実習生		42	
来園者		98	
合計	28311	39621	28402

栄養ケアマネジメントを全員に実施することができた。
定期給食会議を実施し、入居者の要望に沿った食事提供ができた。ユニット毎に誕生会昼食作りを行い入居者に喜んでもらった。行事食では特にひなまつりの押し寿司は見た目の華やかさ、味も良かったと好評だった。給食委員会による季節の食事イベントも実施し楽しんで頂いた。

16.ひやりはつと報告

	内容	件数	対策
発見	ベッドからの転落・ずり落ち	3	ベッド低床対応
	転倒	37	自立しているからと過信せず生活リズムの把握と見守り強化
	爪はがれ	1	靴下脱衣介助時とはがれる可能性があることを念頭に注意して行なう
	転倒し、傷・出血	9	事故後の経過観察実施と、NSの指示に従う
	椅子からずり落ち	1	椅子に深く座ることができるよう介助することと、姿勢保持に努める
	入所時発見(内出血・傷)	45	ショートステイ入所時、身体の状態観察を徹底する
	バルーン抜去・外れ	3	活動的な時間の把握と、夜間もラウンド強化
	車椅子ずり落ち・痛み有	3	車椅子に深く座ることができるよう介助することと、姿勢保持に努める
	車椅子ずり落ち・痛み無	10	車椅子に深く座ることができるよう介助することと、姿勢保持に努める・自立している方でもプレーキの確認
	胃ろうトラブル	1	早期発見につとめ、NS報告する
	投薬間違え・飲み忘れ	10	認知症の方が服薬拒否された件が10件あった
	内出血・傷	90	小さい内出血でも報告をあげ、大きい事故に至らないようアセスメントする。
	骨折	1	骨折に関しては、すぐに分からないこともあるので経過観察を怠ることがないようにする。NS報告し指示に従うことと、家族・市にも報告をする。
	皮ムケ・表皮剥離	14	皮膚が弱い方は2人介助で移乗する。移乗用マットの活用。
	口腔トラブル	1	義歯が合わない場合は家族報告し歯科受診促す
	トイレでのずり落ち	1	ナースコール押せない場合はプライバシーに配慮しつつ、見守りも徹底する。
	居室から外に出る	2	徘徊する方へはストレスのないよう言葉・行動を抑制しないことと、遠監視も怠らない。
	配薬ミス	1	NSとユニットでの二重チェックの徹底
	食べ物に異物混入	1	ラップのようなものが混入していた。厨房報告
	ベッドからのずり落ち	2	ベッド低床対応とラウンド・ナースコールの徹底
トイレ詰まり	1	自立している方がうっかりパットを落とさないよう声かけを行う	
ピンク行為	1	出来る限り同性介助の対応	
トラブル・暴力	4	傾聴・認知症者への正しい知識と対応	
放尿・放便	17	随時排泄の見直し・環境整備	
内出血・傷・表皮剥離	9	入浴時、身体観察の徹底	
不潔行為	20	随時排泄の見直し(排泄パターンの把握)	
歩行中ふらつき・転倒	2	自立している方でも過信せず遠監視・見守り・環境整備	
マットレスから転落	1	居室内環境整備と、事故後の身体観察	
ベッドからの転落	2	ベッド低床対応・行動の把握	
暴言・不穏・興奮	1	BPSDのアセスメント・認知症者への正しい知識と対応	
異食・盗食行為	11	薬剤・パットの出しっぱなしには十分注意する	
徘徊	7	徘徊する方へはストレスのないよう言葉・行動を抑制しないことと、遠監視も怠らない。	
自傷行為	1	NS報告・事故後の経過観察	
抜歯・口腔内異常	1	義歯が合わない場合は家族報告し歯科受診促す	
利用者自身			

見守り中	転倒	2	転倒してもすぐ支えられるよう、正しい位置で付き添う
	物品損傷	1	すぐ施設長へ報告
	配膳ミス	3	誤嚥のリスク高いので配膳には声をかけあい注意する
	検温・再検抜け	2	バイタル異常時は常に経過観察を怠らない
	トランス時表皮剥離・爪剥離	1	移乗時、力をいれすぎない力を入れるところを間違わない
	介護時支え事故	2	無理せず2人介助の実施
	投薬間違え・飲み忘れ	9	薬関係の自己はゼロになるよう勉強会の実施
	ナースコール対応遅れ	1	対応しきれないときはPHSを活用し、他職員への応援を依頼する
	物品・物損・紛失	13	すぐ施設長へ報告し修理が必要な場合は伺書の提出 物損事故は繰り返さないよう注意する
	ショート忘れ物・薬・荷物	9	入退所時の荷物チェック・必要に応じて二重チェック
	爪きり・耳かき	7	CWで対応できないときはNSに依頼する
	IPad アップデート	1	勝手にアップデートしない
	尿バルーン	1	バルーン撤去のないよう見守り強化・活発な時間の把握
	投薬ミス	14	薬関係の自己はゼロになるよう勉強会の実施
	入浴時	処方薬管理ミス	5
介護時支え事故		3	無理せず2人介助の実施
脱衣介助中		1	皮膚が弱い方は注意して着脱介助をする
表皮剥離・皮膚トラブル		7	皮膚が弱い方は2人介助で移乗する。 移乗用マットの活用。
	トランス時事故	1	入浴用移乗用マットの活用

17. 家族会

第1回(総会) 5/10 35名参加

- ・平成26年度事業報告
- ・平成26年度収支決算報告
- ・平成27年度行事計画
- ・利用料金について
- ・日帰り旅行について
- ・介護保険改定に伴う料金変更について
- ・インフルエンザ、肺炎球菌ワクチンの予防接種について
- ・衣類の交換について
- ・家族会役員選出及び紹介

第2回 9/20 38名参加

- ・マイナンバー通知カードに関して
- ・国勢調査について
- ・インフルエンザ、肺炎球菌ワクチンの予防接種について
- ・利用料金について
- ・クリスマス会について
- ・満足度調査について

第3回 12/13 39名参加

- ・利用料金の変更に伴う同意書の記入について
- ・マイナンバー通知カードについて
- ・インフルエンザ、肺炎球菌ワクチンの予防接種状況について
- ・健康診断実施報告
- ・満足度調査報告
- ・入居者様確定申告について
- ・家族会役員変更について

18.平成27年度 研修・会議報告

年月日	研修名	場所	職種	参加人数
4/21	茨城県介護支援専門員 研修専門課程I及び更新研修	茨城県総合福祉会館	居宅ケアマネ	1名
4/26	茨城県介護支援専門員 研修専門課程I及び更新研修	茨城県総合福祉会館	居宅ケアマネ	1名
5/8～9	平成27年度社会福祉施設等 新任職員研修	茨城県総合福祉会館	介護士	3名
5/14～15	平成27年度カウンセリング研修	茨城県総合福祉会館	介護士	1名
5/14	「介護職員しっかり応援プロジェクト」 茨城県介護職員合同入職式	茨城県庁	介護士	3名
5/18	茨城県介護支援専門員 研修専門課程I及び更新研修	茨城県総合福祉会館	居宅ケアマネ	1名
5/19	本部での研修	本部	居宅ケアマネ 施設ケアマネ	4名
5/28	茨城県介護支援専門員 研修専門課程I及び更新研修	茨城県総合福祉会館	居宅ケアマネ	1名
5/29	土浦ケアマネージャー研究会・総会 在宅での看取りにおける ケアマネージャーの役割	霞ヶ浦医療センター 研修棟	居宅ケアマネ	2名
6/3	平成27年度感染予防教育 感染対策豆知識	土浦協同病院	看護師	1名
6/3	平成27年度介護サービス施設・事業所 管理者等研修会	茨城県立県民文化センター	介護士 居宅ケアマネ	4名
6/12	平成27年度接遇マナー研修	茨城県総合福祉会館	介護士	2名
6/13	茨城県介護支援専門員 研修専門課程I及び更新研修	茨城県総合福祉会館	居宅ケアマネ	1名
6/17	老人ホーム等施設長会議	茨城県庁	施設長	1名
6/17	平成27年度第1回茨城県老人福祉施設 協議会総会	水戸プラザ	施設長	1名
6/22～23	メンタルヘルスケア研修	茨城県総合福祉会館	介護士	1名
6/23	平成27年度第3回在宅ケア事例検討会	土浦市医師会館	施設長 相談員 看護師 介護士 在支	6名
6/26	平成27年度感染症対策新規担当者 研修会	土浦保健所	看護師 管理栄養士	2名
6/29～30	平成27年度コーチングスキル研修	茨城県総合福祉会館	介護士	1名
7/10	平成27年度主任介護支援専門員 研修	茨城県総合福祉会館	居宅ケアマネ	1名
7/11	平成27年度主任介護支援専門員 研修	茨城県総合福祉会館	居宅ケアマネ	1名
7/14	平成27年度主任介護支援専門員 研修	県立健康プラザ	居宅ケアマネ	1名
7/14	土浦ケアマネージャー研究会 「高齢者に起こりやすい疾病・事故とその対 応」	土浦市役所	居宅ケアマネ	3名
7/15	土浦市民間社会福祉施設協議会 実行委員会部会	児童養護施設窓愛園	相談員	1名
7/15	平成27年度主任介護支援専門員 研修	つくば国際会議場	居宅ケアマネ	1名
7/16	平成27年度主任介護支援専門員 研修	つくば国際会議場	居宅ケアマネ	1名

7/17	第3回地域連携公開講座	土浦協同病院	介護士	2名
7/21	平成27年度主任介護支援専門員研修	茨城県総合福祉会館	居宅ケアマネ	1名
7/22	平成27年度主任介護支援専門員研修	つくば国際会議場	居宅ケアマネ	1名
7/27	平成27年度主任介護支援専門員研修	茨城県総合福祉会館	居宅ケアマネ	1名
7/27	施設見学会	特別養護老人ホーム静震園	看護師 介護士	2名
7/28	第4回在宅ケア事例検討会(意見交換会)	土浦市医師会館	施設長 相談員 看護師 居宅ケアマネ 介護士	6名
7/29	在宅介護・介護と看取りにおける現状と課題	ホテルマロウド筑波	施設長 相談員 看護師 居宅ケアマネ	5名
7/31	平成27年度主任介護支援専門員研修	茨城県総合福祉会館	居宅ケアマネ	1名
8/6	第51回関東ブロック老人福祉施設研修 総会・実行委員・各係員事前説明会	茨城県総合福祉会館	相談員 居宅ケアマネ	2名
8/5～6	平成27年度クレーム対応力研修Aコース	茨城県総合福祉会館	相談員	1名
8/5～7	ユニットリーダー研修	ベルサール新宿グランド コンファレンスセンター	介護士	1名
8/8	平成27年度主任介護支援専門員研修	茨城県総合福祉会館	居宅ケアマネ	1名
8/10	平成27年度主任介護支援専門員研修	茨城県総合福祉会館	居宅ケアマネ	1名
8/19	外国人技能実習制度に基づく受入れ意向調査及び勉強会	茨城県総合福祉会館	施設長	1名
8/19～20	平成27年度研修担当者養成研修	茨城県総合福祉会館	介護士	1名
8/21	介護福祉セミナー	アール医療福祉専門学校	介護士	3名
8/12～24	平成27年度介護職員等たんに吸引等 実施研究会	茨城県総合福祉会館	介護士	1名
8/26	認知症研修会	土浦六中地区公民館	居宅ケアマネ	3名
8/26～27	OJTマネジメント力向上研修	茨城県総合福祉会館	介護士	1名
8/31～9/1	平成27年度相談員・施設介護支援専門員 研修会	茨城県総合福祉会館	相談員	1名
9/1	きさらぎ会勉強会	プレジデントホテル水戸	施設長	1名
9/1	平成27年度介護支援専門員研修 専門研修課程Ⅱ及び更新研修	牛久市生涯学習センター	居宅ケアマネ	1名
9/8	県南・土浦地区合同老人ホーム 栄養士・調理師(員)給食研修会	牛久生涯学習センター	管理栄養士	1名
9/10～11	第51回関東ブロック老人福祉施設 研修総会	水戸プラザホテル	居宅ケアマネ 介護士	3名
9/10～11	ユニットリーダー研修(実地研修)	特別養護老人ホーム松籟荘	介護士	1名
9/15	施設での看取り 介護職との連携 エンゼルケア	茨城県看護研修センター	看護師	1名
9/17	平成27年度給食施設栄養管理者研修会	つくば市大穂交流センター	管理栄養士	1名

9/18	土浦ケアマネ研究会 「相続が発生する前に」	土浦四中地区公民館	居宅ケアマネ	3名
9/21	平成27年度介護支援専門員研修 専門研修課程Ⅱ及び更新研修	土浦市民会館	居宅ケアマネ	1名
9/29	平成27年度成年後見センター 土浦市民後見人講演会	土浦市ウララⅡ	居宅ケアマネ	2名
9/30	平成27年度民間社会福祉施設職員の 集い	茨城県総合福祉会館	介護士	2名
10/7	国際福祉機器展見学	東京ビックサイト	相談員 介護士 管理栄養士 居宅ケアマネ	3名
10/8	平成27年度介護支援専門員研修 専門研修課程Ⅱ及び更新研修	土浦市民会館	居宅ケアマネ	1名
10/9	平成27年度介護支援専門員研修 専門研修課程Ⅱ及び更新研修	土浦市民会館	居宅ケアマネ	1名
10/20	評価者(アセッサー)講習	東京TOC有明	介護士	5名
10/21～11/26 うち8回	認知症介護実践者研修	茨城県総合福祉会館	介護士	2名
11/16と12/15	平成27年度キャリアパス導入促進 セミナー	茨城県総合福祉会館	施設長	1名
11/13	高齢者虐待防止フォーラム	茨城県民文化センター	介護士	2名
11/16	平成27年度第4回茨城県認知症対応型 サービス事業管理者研修	茨城県総合福祉会館	介護士	1名
11/16と20	平成27年度相談援助業務担当者研修	茨城県総合福祉会館	相談員	1名
11/18～H 28.1/15 うち8回	認知症介護実践リーダー研修	茨城県総合福祉会館	相談員 介護士	2名
11/20～29 うち4回	平成27年度茨城県高齢者権利擁護 推進員養成研修	茨城県総合福祉会館	相談員	1名
11/24	介護職員腰痛予防対策事業	茨城県総合福祉会館	介護士	2名
11/25	土浦ケアマネ研究会 「平成27年度介護保険制度Q&A」	ふれあいセンターながみね	居宅ケアマネ	2名
11/27	特別養護老人ホーム経営セミナー	全社協難尾ホール	施設長	1名
12/8	腰痛予防研修	かすみがうら市あじさい館	介護士	1名
12/19	地域リーダー研修会Ⅰ	土浦市役所本庁舎 301.302会議室	居宅ケアマネ	2名
平成28年				
1/15	土浦ケアマネ研究会 「ケアマネに知ってほしい口腔の見方」	霞ヶ浦医療センター	居宅ケアマネ	2名
1/20	メンタルヘルスケア研修	茨城県総合福祉会館	介護士	1名
1/21	土浦市民間社会福祉施設協議会 「新春の集い」	ホテルL AUBEローブ	施設長 相談員	2名
1/29	県南地区看護師会交流親睦会	伊太利垂台所	看護師	1名
2/1	エルダー制度・メンター制度 導入支援研修	茨城県総合福祉会館	介護士	2名
2/2～3	リフトリーダー養成研修	あじさい館	介護士	1名
2/8	社会福祉施設等看護職員研修	茨城県総合福祉会館	看護師	1名
2/9	土浦地区・県南地区老人ホーム栄養士 調理師(員)給食研修会	(株)明治守谷工場	管理栄養士	1名
2/10	平成27年度「イクボス養成講座」	茨城県南生涯学習センター	介護士	1名
2/15～17	2015年度後期ユニットリーダー研修	特別養護老人ホーム松籟荘 桜の郷 元気	介護士	2名

3/3	平成27年度認定調査員 現任研修会	石岡市民会館	居宅ケアマネ 施設ケアマネ	5名
3/8	平成27年度土浦市民間社会福祉 施設協議会職員交流部会打ち合わせ (ソフトバレーボール大会について)	児童養護施設窓愛園	相談員	1名
3/8	平成27年度職場環境改善事例発表 及び経営者向けセミナー	茨城県総合福祉会館	施設長	1名
3/9	平成27年度茨城県精神障害者 地域生活支援従事者基礎研修	茨城県庁行政棟9階講堂	居宅ケアマネ	2名
3/15	土浦市介護予防・日常生活支援 総合事業に関する説明会	土浦市役所	施設長	1名
3/15	看護介護連携体制構築・人材育成 支援事業研修会	水戸プラザ	看護師 介護士	3名
3/18	土浦ケアマネ研究会 「認知症高齢者への新しいアプローチ」	土浦四中地区公民館	居宅ケアマネ	2名
3/19	茨城県ケアマネージャー協会 平成27年度地域実践研修	つくば国際大学 第1キャンパス101教室	居宅ケアマネ	1名
3/22	施設長・管理者研修会	茨城県総合福祉会館	施設長	1名
3/22	茨城県老人福祉施設協議会総会	茨城県総合福祉会館	施設長	1名
3/22	精神障害者地域生活支援従事者基礎研修	茨城県庁・行政棟	居宅ケアマネ	2名
3/24	平成27年度土浦市民間社会福祉 施設協議会職員交流部会打ち合わせ ソフトバレーボール大会開催	わかぐり運動公園	居宅ケアマネ 介護士	4名
3/25	介護予防マネジメント委託業務 事業所説明会	土浦保健センター 3階集団指導室	居宅ケアマネ	2名

19.実習生受け入れ

学校名	実習月日	日数	人数	実習種類
土浦市役所	H27.11.6	1	7	介護等体験
つくば国際大学	H28.2.2	1	4	介護等体験
つくば国際大学	H28.3.8	1	4	介護等体験
つくば国際大学	H28.2/2と3/8	2	4	介護職員初任者研修
アール医療福祉専門学校	H28.3/22～3/24	3	2	介護職員初任者研修
アール医療福祉専門学校	H27.6/15～7/31	46	3	介護福祉士
筑波大学	H28.2/22～2/26	5	3	介護等体験
茨城キリスト教大学	H28.2/8～2/12	5	1	介護等体験
筑波大学	H28.1/25から/29	5	1	介護等体験
筑波大学大学院	H28.1/18～1/22	5	1	介護等体験
筑波大学	H28.1/18～1/22	5	1	介護等体験
立正大学	H27.8/24～8/28	5	1	介護等体験
常磐大学	H27.8/17～/21	5	1	介護等体験
茨城大学	H27.6/8～6/12	5	1	介護等体験

20.ボランティア受け入れ

新治中学校、永親会、新治幼稚園、斗利出小学校、社交ダンス、折り紙、常陸藤澤、土浦民舞踊研究会、大正琴ボランティア、繕い物ボランティア

21.内部研修

内容	実施日	担当者	参加者
SNS会社内トラブル予防と事例	H27 4/1	介護士	47名
リスクマネジメント	H27 5/1	特養相談員	44名
看取り	H27 6/1	介護士	43名
地域ケアプランの目的や作成方法 介護支援経過の必要性や 記入方法の留意点・事例検討演習	H27 7/1	施設ケアマネ	48名
福祉用具	H27 8/3	居宅ケアマネ	42名
褥瘡	H27 9/1	看護師・介護士	42名
接遇	H27 10/1	デイ相談員	53名
ノロウイルス	H27 11/2	エームサービス	46名
感染予防	H27 12/1	看護師	48名
腰痛予防・体操	H28 1/4	介護士	46名
ストレスチェック	H28 2/1	介護士	43名
今年度の反省	H28 3/1	介護士	43名

平成 27 年度デイサービス憩いの里事業報告書

指定通所介護・介護予防通所介護事業

1. 運営

今年度も、利用者が質の高い生き生きとした生活を送ることができるように、自立支援と心身機能の維持向上、家族介護者への支援を根底にしながら、地域に根差したデイサービスの運営を行うことができた。

利用実績・稼働率は、全般的に前年度を若干下回る結果となってしまった。また、収入面では、今年度の介護報酬改定により前半は前年度より下回ったが、11月からは、個別機能訓練加算Ⅰの算定を開始したこともあり、前年度を上回っている。

特に今年度から、要介護者対象の個別機能訓練加算Ⅰを算定し、利用者の身体機能の維持向上のために、個々のニーズや家庭生活状況をもとに機能訓練計画を立て、実施、評価を行った。それに伴い、「エアロバイク」を購入し、リハビリプログラムの充実を図った。

レクリエーションにおいては、前年度同様、毎月1回以上特別行事を行うこととし、今年度はさらに、今まで行ったことのない行事をいくつか実施することができた。

2. 実績並びに活動報告

【月別利用状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運営日数(26年度)	26	27	25	27	26	26	27	25	27	24	24	26	310
運営日数(27年度)	26	26	26	27	26	26	27	25	26	24	25	27	311
実人数(26年度)	60	63	66	66	67	66	67	65	62	59	60	60	761
実人数(27年度)	62	63	62	62	65	67	66	67	69	66	60	60	769
前年度比	2	0	▲4	▲4	▲2	1	▲1	2	7	7	0	0	8
延べ人数(26年度)	590	628	611	686	667	674	677	614	627	519	511	597	7401
延べ人数(27年度)	586	569	602	608	603	613	653	603	640	549	549	593	7168
前年度比	▲4	▲59	▲9	▲78	▲64	▲61	▲24	▲11	13	30	38	▲4	▲233
平均人数/日(26年度)	22.7	23.3	24.4	25.4	25.7	25.9	25.1	24.6	23.2	21.6	21.3	23.0	23.9
平均人数/日(27年度)	22.5	21.9	23.2	22.5	23.2	23.6	24.2	24.1	24.6	22.9	22.0	22.0	23.0
前年度比	▲0.2	▲1.4	▲1.2	▲2.9	▲2.5	▲2.3	▲0.9	▲0.5	1.4	1.3	0.7	▲1.0	▲0.9
稼働率(26年度)	75.6%	77.6%	81.3%	84.6%	85.6%	86.3%	83.6%	82.0%	77.3%	72.0%	71.0%	76.6%	79.6%
稼働率(27年度)	75.0%	73.0%	77.3%	75.0%	77.3%	78.6%	80.6%	80.3%	82.0%	76.3%	73.3%	73.3%	76.6%
前年度比	▲0.6%	▲4.6%	▲4.0%	▲9.6%	▲8.3%	▲7.7%	▲3.0%	▲1.7%	4.7%	3.7%	2.3%	▲3.0%	▲3.0%

【考察】

前年度と比べて、実人数は8人増えたが、延べ人数では233人減っている。今年度平均人数は1日23人に留まった。来年度の目標平均人数は29人である。稼働率は、12月に向かってゆるやかに上昇したが、1月に急激に減少した。これは、例年のように、利用者の体調不良や骨折などによる長期入院や永眠によるものが大きい。ただし、12月～2月の稼働率は前年度値を上回った。

【介護度別利用状況（実人数）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1(26年度)	2	3	3	3	3	3	2	2	2	1	1	1	26
要支援1(27年度)	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	2	1	15
前年度比	▲1	▲2	▲2	▲2	▲2	▲1	0	▲1	▲1	0	1	0	▲11
要支援2(26年度)	5	5	7	7	7	9	10	9	8	6	7	7	87
要支援2(27年度)	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	79
前年度比	2	2	0	0	0	▲2	▲3	▲3	▲2	0	▲1	▲1	▲8
要介護1(26年度)	15	13	13	12	12	11	11	11	12	13	12	12	147
要介護1(27年度)	11	12	13	13	14	14	16	18	19	18	15	17	180
前年度比	▲4	▲1	0	1	2	3	5	7	7	5	3	5	33
要介護2(26年度)	28	30	30	29	30	26	29	28	24	21	21	22	318
要介護2(27年度)	22	22	20	22	24	25	23	24	25	25	21	20	273
前年度比	▲6	▲8	▲10	▲7	▲6	▲1	▲6	▲4	1	4	0	▲2	▲45
要介護3(26年度)	5	5	6	8	8	8	8	10	11	12	12	12	105
要介護3(27年度)	13	11	12	11	13	13	11	11	11	9	9	7	131
前年度比	8	6	6	3	5	5	3	1	0	▲3	▲3	▲5	26
要介護4(26年度)	1	3	4	4	4	4	3	2	2	3	4	3	37
要介護4(27年度)	4	7	7	6	5	5	6	6	6	6	6	8	72
前年度比	3	4	3	2	1	1	3	4	4	3	2	5	35
要介護5(26年度)	4	4	3	3	3	2	4	3	3	3	3	3	38
要介護5(27年度)	4	3	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	19
前年度比	0	▲1	▲1	▲1	▲2	▲1	▲3	▲2	▲2	▲2	▲2	▲2	▲19

【介護度別利用状況（延べ人数）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1(26年度)	13	17	14	18	15	20	19	16	13	8	8	9	170
要支援1(27年度)	5	8	8	9	7	13	15	9	9	8	3	6	100
前年度比	▲8	▲9	▲6	▲9	▲8	▲7	▲4	▲7	▲4	0	▲5	▲3	▲70
要支援2(26年度)	45	47	51	64	61	91	89	74	68	57	59	74	780
要支援2(27年度)	69	66	68	66	69	68	64	58	63	48	62	61	762
前年度比	24	19	17	2	8	7	▲25	▲16	▲5	▲9	3	▲13	▲18
要介護1(26年度)	145	126	121	121	125	120	122	117	112	106	104	114	1433
要介護1(27年度)	119	113	130	140	139	150	163	163	168	143	151	169	1748
前年度比	▲26	▲13	9	19	14	30	41	46	56	37	47	55	315
要介護2(26年度)	267	307	295	320	315	287	293	261	250	187	182	214	3178
要介護2(27年度)	203	195	193	193	211	220	233	218	244	219	194	202	2525
前年度比	▲64	▲112	▲102	▲127	▲104	▲67	▲60	▲43	▲6	32	12	▲12	▲653

要介護3(26年度)	67	61	67	92	77	89	89	99	127	104	110	114	1096
要介護3(27年度)	119	97	113	111	117	102	106	92	91	76	75	70	1169
前年度比	52	36	46	19	40	13	17	▲7	▲36	▲28	▲35	▲44	73
要介護4(26年度)	16	34	36	43	46	44	29	15	24	27	19	39	372
要介護4(27年度)	36	62	66	65	39	38	50	43	43	35	44	62	583
前年度比	20	28	30	22	▲7	▲6	21	28	19	8	25	23	211
要介護5(26年度)	37	36	27	28	28	23	36	32	33	30	29	33	372
要介護5(27年度)	35	28	24	24	21	22	22	20	22	20	20	23	281
前年度比	▲2	▲8	▲3	▲4	▲7	▲1	▲14	▲12	▲11	▲10	▲9	0	▲91

【考察】

要支援1・2、要介護5の人数が若干減少し、要介護2の人数が極端に減っている。一方、要介護1・3・4は増加傾向にある。

【介護報酬分比較】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
介護給付費(26年度)	4,546,715	4,925,716	4,785,736	5,443,182	5,440,780	5,070,243	30,212,372
介護給付費(27年度)	4,496,228	4,401,669	4,629,485	4,661,995	4,618,100	4,773,145	27,580,622
前年度比較	▲50,487	▲524,047	▲156,251	▲781,187	▲822,680	▲297,098	▲2,631,750
利用者負担額(26年度)	497,100	534,006	516,546	590,900	600,756	563,392	3,302,700
利用者負担額(27年度)	492,509	483,780	508,204	510,927	544,683	556,403	3,096,506
前年度比較	▲4,591	▲50,226	▲8,342	▲79,973	▲56,073	▲6,989	▲206,194
公費請求額(26年度)	8,118	6,315	7,217	6,315	1,804	902	30,671
公費請求額(27年度)	7,101	5,325	6,214	7,101	5,424	3,649	34,814
前年度比較	▲1,017	▲990	▲1,003	786	3,620	2,747	4,143
合計金額(26年度)	5,051,933	5,466,037	5,309,499	6,040,997	6,043,340	5,633,635	33,545,441
合計金額(27年度)	4,995,838	4,890,774	5,143,903	5,180,023	5,168,207	5,333,197	30,711,942
前年度比較	▲56,095	▲575,263	▲165,596	▲860,974	▲875,133	▲300,438	▲2,833,499
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護給付費(26年度)	5,222,203	4,707,402	4,931,090	4,043,151	4,020,562	4,471,161	57,607,941
介護給付費(27年度)	5,089,241	4,728,451	4,917,034	4,256,777	4,234,900	4,438,806	55,245,831
前年度比較	▲132,962	21,049	▲14,056	213,626	214,338	▲32,355	▲2,362,110
利用者負担額(26年度)	562,135	517,665	535,383	437,842	433,430	491,411	6,280,566
利用者負担額(27年度)	602,175	555,654	583,067	504,291	504,145	528,796	6,374,634
前年度比較	40,040	37,989	47,684	66,449	70,715	37,385	94,068
公費請求額(26年度)	8,118	5,413	5,945	5,413	6,315	5,413	67,288
公費請求額(27年度)	5,523	7,853	5,997	6,157	3,600	6,263	70,207
前年度比較	▲2,595	2,440	52	744	▲2,715	850	2,919

合計金額 (26年度)	5,792,456	5,230,480	5,472,418	4,486,406	4,460,307	4,967,985	63,955,493
合計金額 (27年度)	5,696,939	5,291,958	5,506,098	4,767,225	4,742,645	4,973,865	61,690,672
前年度比較	▲ 95,517	61,478	33,680	280,819	282,338	5,880	▲ 2,264,821

【考察】

一年の合計では、前年比で226万円ほどの収入減となった。収入の全般的な減少は、今年度からの介護報酬引き下げが大きな原因として考えられる。ただし、11月から年度末に至るまで、前年と比べて収入の増加が続いている。それは、12月～2月の稼働率が前年を上回ったことと、8月から個別機能訓練加算Ⅰを開始したことが要因と思われる。

【利用登録状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数 (26年度月末)	63	63	67	68	69	71	72	65	67	67	67	68	807
登録数 (27年度月末)	68	69	71	72	75	74	74	74	77	74	71	71	872
前年度比	5	6	4	4	6	3	2	9	10	7	4	3	65
新規利用者数 (26年度)	2	2	4	1	1	3	2	0	2	2	2	2	23
新規利用者数 (27年度)	3	3	2	3	4	3	1	3	3	1	2	4	32
前年度比	1	1	▲2	2	3	0	▲1	3	1	▲1	0	2	9
利用終了者数 (26年度)	2	0	0	0	1	1	5	2	1	2	1	1	16
利用終了者数 (27年度)	2	2	0	3	0	4	1	3	1	3	6	5	30
前年度比	0	2	0	3	▲1	3	▲4	1	0	1	5	4	14

【利用別契約解約者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
施設入所	1	0	0	1	0	4	0	2	1	1	3	1	14
本人希望(在宅)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
永眠	1	2	0	2	0	0	1	1	0	1	2	2	12
ショート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
他県引越し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【考察】

前年と比べて、利用終了者は14名増加したが、その一方で、新規利用者数も9名増えている。おもに、施設入所や永眠のため利用終了される方が多く、利用者がだいたい入れ替わった。

【利用者年齢構成】

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

	～64	64～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99
男	0	0	2	2	1	6	0	2
女	1	2	1	3	10	26	13	2
計	1	2	3	5	11	32	13	4

【地区別利用状況(順不同)】

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

地区	人数	地区	人数	地区	人数
つくば市下大島	1	土浦市桜町	1	土浦市若松町	1
つくば市大	1	土浦市永井	1	土浦市中貫	1
土浦市並木	4	土浦市下坂田	5	土浦市小山崎	1
土浦市常名	1	土浦市高岡	7	土浦市真鍋	2
土浦市上坂田	4	土浦市板谷	2	土浦市大志戸	6
土浦市大畑	5	土浦市沢辺	3	土浦市中都町	1
土浦市田宮	2	土浦市都和	2	土浦市藤沢	14
土浦市藤沢新田	3	土浦市小高	1		
土浦市本郷	1	土浦市西並木	1	総件数	71

【考察】

利用者の年齢は、圧倒的に 80 代後半が多い。次いで 90 代前半の利用者が多く、日本の健康寿命の長期化を反映していると思われる。100 歳近くでも認知症軽度でお体が元気な方も何人かいる。地域的には、藤沢地区が最も多く、次に高岡、大志戸、大畑、下坂田、と続く。施設周辺から来られている方が多く、地域に根差したデイサービスとなっている。

3. 処遇

(1) 通所介護計画書作成

利用者の調査時のアセスメント、ケアマネジャーからの居宅サービス計画のもと通所介護計画書を作成し、本人又は家族にサービス内容を明確に説明し利用の際の不安を軽減するように心掛けた。

また、担当のケアマネジャーにも通所介護計画書を初回・見直し時に提出し、ADL の変化・利用時の様子等を伝えて情報の共有化に努めた。常に利用者の ADL の変化に注目し、変化が見られた際に速やかに介護計画の見直しや評価を行い、適切なサービスが提供できるように通所介護計画書を作成した。

(2) 機能訓練・運動機能向上

今年度より要介護者に対しては、個別機能訓練加算 I を実施することとなり、PT、OT、機能訓練指導員など、多職種連携により個別機能訓練計画書を作成し、定期的に体力測定と評価を行い、身体機能の維持向上に努めた。個別機能訓練計画書作成にあたっては、ご自宅での生活状況やニーズを把握し、利用者それぞれの状態に合った運動メニューを作成するようにした。今年度末頃に、新たに「エアロバイク」1 台を購入し、さらなる運動プログラムの充実に努めた。

【機能訓練・運動機能向上の実施】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運動機能向上(26年度)	58	64	65	82	76	111	108	90	81	65	67	83	950
運動機能向上(27年度)	74	74	76	75	76	81	78	67	72	56	63	61	853
前年度比	16	10	11	▲7	0	▲30	▲30	▲23	▲9	▲9	▲4	▲22	▲97
個別機能訓練I(27年度)	0	0	0	0	122	221	333	357	361	198	250	170	2012
前年度比													

(3) 健康・看護・医療

毎朝のバイタルチェックにて、個々の体調を確認し、利用者の負担にならぬようサービス提供を心掛け、食前後に内服等の確認をし、利用者の身体の状況把握を行った。特に入浴時に皮膚疾患や体調の変化の早期発見を心掛け、家族やケアマネジャーに報告し症状の悪化防止に努めた。

① 利用者の健康管理

- ・体重測定とSPO2測定：毎月（第3週）
- ・長谷川式簡易知能スケール（通所介護計画書 更新・見直し時 年2回）

②利用者の生活支援

- ・疾病の予防、及び悪化防止と早期発見
- ・健康診断と指導
- ・家族関係との連絡・調整
- ・精神的・身体的支援

③施設内感染予防

- ・手洗いの施行、室内温度・湿度の調整
- ・感染症の職員指導
- ・咳エチケットの励行(マスク着用・手指の消毒)
- ・インフルエンザやノロウイルスなどの基礎知識なども利用者へ説明している。

【看護】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
処置	12	16	14	5	18	25	25	24	16	12	15	20	202
軟膏	25	29	32	39	39	30	54	51	53	52	54	45	503
湿布	41	28	32	40	17	33	37	24	32	27	29	14	354
貼布	7	4	0	12	16	10	6	8	31	27	16	24	161
点眼	2	0	3	6	11	4	4	2	1	6	5	4	48
爪きり	36	54	40	68	65	57	59	42	58	45	54	46	624
内服(昼業)	197	174	179	183	190	198	221	182	205	182	185	221	2317
HDS-R	12	6	6	5	9	10	14	8	6	7	9	12	104
体重	46	49	54	45	49	35	42	62	60	37	48	46	573
SPO2	0	0	0	5	0	10	1	0	46	0	0	3	65

(4)入浴サービス

個々の状況により、無理なく安全に入浴を楽しんでもらえるように努めた。また、ゆず湯を実施し、季節を感じてもらえるようにした。入浴の際の着脱や洗身、洗髪も自分で出来る範囲は見守りをし、ADLの低下を防ぐよう心掛けた。入浴されない方には清拭等を実施し清潔の保持に努めた。

【一般浴】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	530	513	525	547	558	575	611	545	587	505	507	525	6528
入浴利用率	90.4%	90.2%	87.2%	90.0%	92.5%	93.8%	93.6%	90.4%	91.7%	92.0%	92.3%	88.5%	91.1%

【考察】

利用者の9割以上が毎回、入浴サービスを実施されている。入浴を目的にデイサービスを利用されている方が多いため、午前は入浴がメインとなってしまい、入浴されない方へのプログラムが課題となっている。

(5)排泄サービス

尿意・便意のある利用者は、自立に向けての介護を提供した。また、失禁の可能性のある利用者には定期的な声掛けを行った。羞恥心に配慮しながら、必要に応じてパット等の確認を行い、失禁をしていたら速やかに交換し不快感を与えないようにした。排泄チェック表を活用し、排泄パターンを掴み失禁を防ぐように努めた。

(6)送迎サービス

定期点検やオイル交換等が十分になされていなかったとの前年度の反省から、今年度は、半年ごとの車両点検をディーラーにて行い、それに伴い、半年おきにオイル交換も行うようにした。安全のため、日中もライトの点灯をしているが、日の短い冬場の夕方の運転は、特に注意して行うようにした。今年度から介護保険制度改正に伴い、家族送迎による送迎減算が始まったが、家族送迎の利用者は主に1名だけのため、収入への影響は少ない。

【送迎状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
迎え(実人数)	61	63	62	62	64	67	66	67	69	66	58	60	765
送り(実人数)	62	63	62	62	64	66	66	66	68	66	60	60	765
迎え(延べ回数)	579	554	582	584	585	598	634	590	623	535	534	579	6977
送り(延べ回数)	577	566	593	592	582	598	634	582	620	533	534	574	6985

【車輛運行状況】

車種	走行距離	車種	走行距離
ハイゼット	9440km	ラクティス	1554km
ムーブ	9682km	シエンタ	45km
ハイエース	10293km	プレマシー	2673km
ノア	12268km	ミラ	6671km
VOXY	6676km	デミオ	9592km

(7)体験・ボランティア・実習生

・体験デイサービス、ボランティア、実習生

1日体験デイサービスの利用は、前年度とほぼ同様に、新規契約に繋がっている。

前年度は、ボランティアのさらなる活用を目標に掲げたが、発表型のボランティアの受け入れは、3件にとどまった。実習生の受け入れは合計で6名となった。

【1日体験デイサービス受け入れ状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数(26年度)	0	2	1	1	2	0	0	0	0	0	1	0	7
人数(27年度)	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	3	6
前年度比	0	▲2	▲1	▲1	▲1	0	1	0	0	0	0	3	▲1

【ボランティア受け入れ状況】

	ボランティア名		ボランティア名
5月	こもれびの会(買物付き添い)	毎月	折り紙ボランティア
6月	ハートフル21(ハーモニカと歌)		
2月	近藤ファミリー(オカリナと手品)		
3月	大正琴もえ		

【実習生受け入れ状況】

日時	学校・事業所	人数
8月17～21日	常磐大学	1
11月	アール医療福祉専門学校	2
2月22～26日	筑波大学	1
3月23日	アール医療福祉専門学校	1
3月24日	アール医療福祉専門学校	1

(7)レクリエーション・行事

前年度同様、月に1回以上、外出行事や室内行事を行い、楽しむことができた。今年度は、これまで実施したことのない、ぶどう狩り・忘年会・ラン展見学ツアー・「お寿司」外食会を実施し、新しいことにチャレンジできた。日中暇な時間を作らないように、以下の表に加え、脳トレや帰宅前のカラオケの実施を徹底し始めている。

【レクリエーション・行事参加状況】

月	レクリエーション (一部抜粋)	行事・作品	月	レクリエーション (一部抜粋)	行事・作品
4	的当て 輪投げ トランプ ボウリング クイズ	お花見ドライブ 鯉のぼり飾り作り	10	クイズ ボウリング マキマキ トランプ 輪投げ	運動会 もみじ壁画作り
5	ビー玉ストロー 椅子カーリング バクダン しりとり 新聞ちぎり	買物ツアーin ピアタウン あじさい飾り作り	11	計算 サッカーボウリング しりとり ビー玉ストロー バクダン	秋のドライブ 干し柿飾り作り
6	マキマキ 筒送り 連想ゲーム お手玉のせ 漢字クイズ	いけばな体験 七夕タペストリー作り	12	的当て 新聞ちぎり 連想ゲーム 釣りゲーム カルタ	忘年会 もちつき 雪の結晶飾り作り
7	的当て サッカーボウリング クイズ 新聞ちぎり ボールけり	七夕飾り 風鈴作り	1	紅白カルタ ボウリング 絵しりとり カラオケ バクダン	初詣 だるま壁画作り
8	お手玉のせ 輪投げ ビー玉ストロー マキマキ 筒送り	夏祭り コスモス壁画作り	2	お手玉のせ マキマキ トランプ 魚釣り 玉入れ	節分 ハート飾り作り
9	果物クイズ バランス計算 野菜クイズ 射的 椅子カーリング	ぶどう狩り 敬老会 とんぼ飾り作り	3	的当て サッカーボウリング しりとり バクダン ビー玉ストロー	ひな祭り ラン展見学ツアー 「お寿司」外食会

4. アクシデント・インシデント

一年を通じて、7・8月をピークに私物の返し忘れが多い。帰りの送迎前のデイルーム内忘れ物再チェック、乗車後すぐにシルバーカー内のチェックを行うなど、忘れ物を減らす対策を実施している。次に、送迎車両の損傷が多い。門の幅や敷地内が狭い家が多く、物にこすってしまうことがたびたび起きている。また、冬場にかけて体調不良者が多く、救急対応をたびたび行っている。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
発見													
ベッドからの転倒	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
車椅子ずり落ち・痛みなし	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
歩行中転倒・痛みなし	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
歩行中転倒・痛みあり	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
利用者自身													
トラブル・暴力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
内出血・傷	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
体調不良	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	4
誤嚥・食物つまり	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
転倒・痛み有り・なし	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
見守り中													
歩行中力抜け	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
体調不良	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
職員ミス													
車の物損・スピード	1	0	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0	6
介護時支え事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
投薬忘れ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
私物返し忘れ・間違い	0	0	1	3	2	1	1	1	0	1	1	1	12
送迎忘れ・待たせる	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	4
利用者・家族からの苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
会計金銭違い	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
連絡ミス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
確認ミス	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3
判断ミス	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
入浴時事故													
誘導時の事故	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
救急車対応	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
合計	2	5	4	5	4	2	6	7	6	2	4	4	51

平成27年度支援センター憩いの里事業報告書 居宅介護支援事業所

27年度は介護支援専門員が3人となりプラン件数が35件増え105件となった。ほぼ地域からの依頼である。地域包括支援センターとも連絡を密にとり予防プラン作成に至った。

主任介護支援専門員の研修終了し、介護支援専門員の質の向上を図る事ができた。また、在宅で心の悩みを抱える利用者も多くなり茨城県で定める精神障害者地域生活支援従事者基礎研修を2人が終了した。多様化するニーズに対応できるよう常に知識向上に努めることができた。

1 認定調査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
土浦市	6	0	4	6	5	3	4	0	3	2	5	7	45
市内	0	0	1 (世田谷区)	0	0	0	0	1 (足立区)	0	1 (名古屋)	0	0	3
合計	6	0	5	6	5	3	4	1	3	2	5	7	48

土浦市以外はその都度契約を交わし認定調査を行った。

2 介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	17	17	18	17	19	21	24	26	26	26	23	25	259
要介護2	26	23	23	26	26	27	25	26	27	25	23	21	298
要介護3	14	13	15	16	16	16	14	14	11	11	11	8	159
要介護4	14	14	13	12	10	10	11	11	10	10	13	15	143
要介護5	5	5	4	4	4	4	3	2	3	3	3	3	43
上記のうち 新規	4	2	4	1	4	4	3	3	2	2	2	6	37
終了	4	4	2	5	1	3	3	4	3	3	4	2	38

介護計画は要介護2が33%、要介護1が29%であった。新規と終了はほぼ同じであった。月平均は75件であった。

3 予防

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	7	6	6	8	6	6	6	5	5	5	4	5	69
要支援2	14	15	14	13	13	14	14	14	14	14	14	13	166
休止	2	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	7
終了 (要介護へ)	2	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5

要支援の計画作成は合計235件。要介護に換算して117.5件で月平均は9.7件となる。総合的に見てひとり28件の持ち数である。

平成 27 年度在宅介護支援センター憩いの里事業報告書

1 特別業務

状 況	件 数	状 況	件 数	状 況	件 数
(1) 台帳作成	44	(2) 緊急通報	2	(3) 配食サービス	3
(4) ニーズ調査	40	(5) 啓発事業	6		

啓発事業として介護予防教室や在宅介護支援センターの相談窓口についての説明を行った。配食サービス・緊急通報が少ない。新治地区ではひとり暮らしでも同一敷地内に家族がいることもその要因である。

2 会議出席回数等






件 名	件 数
(1) ふれあい調整会議	6
(2) スクラムネット	11
(3) その他	12
計	29

3 相談

相談区分		本人	家族	民生委員 近隣	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	計
業務時間	電話	5	16	11	2	4	0	2	2	42
	来所	2	9	4	1	3	1	1	2	23
	訪問	102	85	15	6	2	1	1	4	216
時間外	電話	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	来所	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	合計	109	110	30	9	9	2	4	8	281

相談区分	本人	家族	民生委員 近隣	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	計
(1) 家族の支援	2	11	0	0	0	0	0	0	13
(2) 介護保険制度	49	65	4	4	1		1	1	125
(3) 福祉サービス	26	25	12	4	0	0	1	1	69
(4) 保健・医療	3	0	0	0	0	0	0	0	3
(5) 経済・住まい	2	1	2	0	0	0	0	0	5
(6) 地域の困りごと	14	2	0	0	0	0	0	0	16
(7) その他	53	29	3	0	3	0	1	5	94
(8) 二次予防事業	3	1	3	0	0	0	0	0	7
(9) 虐待・権利擁護	2	3	0	0	5	1	1	1	13
(10) ケアマネ支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(11) 認知症関係	1	4	0	0	0	0	0	0	5
合計	155	141	24	8	9	1	4	8	350

主に家族からの相談が多く、介護保険制度についての内容が多かった。

会長	施設長	相談員		書記
				

平成27年度 第1回 家族会総会 議事録

日 時 平成27年5月17日(土) 11:00~12:00
 場 所 憩いの里 地域交流スペース
 参加者 施設長、事務長、湯原生活相談員、金沢生活相談員、本橋(会計・書記)
 家族会 高野会長・森泉副会長・松崎副会長・腰山監事・ほか家族31名 計35名
 司 会 湯原生活相談員、金沢生活相談員

資料を確認し、議題に入る

理事長所用の為欠席しており、次第2より開始する

2. 施設長挨拶

「皆さん本日はお忙しい中ありがとうございました。本当にきれいになり、清々しく感じられます。また、本日はタオル、お茶のご寄付を頂きありがとうございました。最近、異常気象で温度差が激しく入居者の皆様が体調を崩さぬよう、目配り気配りで乗り越えたいと思います。

27年度4月に介護報酬の改定があり、同意書を取らせて頂きました。ご協力ありがとうございました。施設では、年間で1千万の減と推定されていましたが、利用者の方の負担が極端に減るという訳でなく、報酬改定による料金単価の変更があったものの若干の増減額幅となっています。

また8月から、年間所得額や預貯金の金額により、一部負担額が1割から2割に変更になる方が出る場合があります。憩いの里でも、一部の人が対象になる可能性がありますのでご報告致します。

看取り加算、口腔ケア加算に関しては大きく変更がありました。看取りに関しての同意書が入所時点以外に必要となることがあります。指針を立てて同意書を頂くことになるかと思えます。

施設のほうでは、給食が自前厨房から委託業者のエーム株式会社さんが入っています。給食委員会を今年度より立ち上げ、年3回程度食事を楽しむ行事を実施できたらと思っています。

今までの委員会・クラブ活動を見直し、目に見える活動を実施していきます。カラオケや風船バレー等ユニット内に籠ることなく、楽しい張りのある生活を提供していきます。

栄養士ですが、職員交代があり4,5月は不在のままとなりますが、6月に着任後、栄養ケアプランや口腔ケア計画に対しての書類にサインを求めることが多くなるかと思えます。

皆さんお気づきの通り、生活相談員、看護師の顔ぶれが大きく変わり不安に思っていることと思えますが、今後共、職員一同頑張らせて頂きますのでよろしくお願い致します。」

3. 会長挨拶

高野会長

「皆さんこんにちは。今日は暑い中、奉仕作業お疲れ様です。私も4回目の参加となります。毎回暑い中での作業となりますが、ひとりの力ではなかなかできないものが、大勢で行うとあっという間にさっぱりときれいになりました。

連日、非常に暑い日が続いています。熱中症は気温が高いだけでなく、湿度が高い日の方がなりやすいそうです。水分をこまめに摂り、熱中症にならぬように今年の夏を乗りきっていきましょう。今年度もよろしくお願い致します。」

4. 施設からのお知らせ

金沢相談員 * 平成26年度事業報告(資料-1参照)

本橋 * 平成26年度収支決算報告(資料-2参照)

腰山監事

「皆様こんにちは。本日は暑い中お疲れ様でした。監事を拝命頂いています腰山と申します。ただいま事務局の方から報告のありました平成26年度の決算報告ですが、私の方で内容を精査させて頂きましたところ、適正な処理がなされていると判断致しましたのでご報告させて頂きます。」

拍手をもって、承認頂く。

金沢相談員 * 平成27年度行事計画(資料-3参照)

「市役所からご自宅に届く介護保険関係の書類は、早々に憩いの里へお持ち下さいますようお願い致します。書類で必要か否かわからないもの等ありましたら、ご相談下さい。

行事ですが、今年度より大きな変更が一ヶ所あります。例年納涼祭を7月末に実施していましたが、今年度は7月に山車を見学頂き、8月に納涼祭を実施する2部構成で行う予定となっております。」

拍手をもって承認頂く

「では、用紙の(案)の部分を削除し平成27年度行事計画と致します。」

湯原相談員 * 家族会役員選出及び紹介

「前年度途中より、家族会副会長の席が空いている状態になっていましたので、皆様に打診させて頂き、松崎様に快諾頂きましたので、この場にてご紹介をさせていただきます。」

松崎様

「はじめまして松崎と申します。私の母が、昨年からお世話になり春に入所させて頂いております。家族会のほうにも本日初めて参加させていただいております。家族会のことも何もわからない状態ですので、皆様から教えて頂きながら勤めてまいります。よろしくお願い致します。」

平成27年度役員紹介

会長	高野 久 様
副会長	森泉 弘子 様
副会長	松崎 治男 様
監事	腰山 清志 様

金沢相談員 * 5/27(水)日帰り旅行について

「今年の日帰り旅行は、小江戸『川越』の蔵づくりの町並み・菓子屋横丁の散策を考えております。旅行参加予定の方には、ご本人並びにご家族様へお声掛けさせていただきます。その際、ご家族様の中で同行可能な方がいらっしゃいましたらご参加をお願い致します。当日施設に残る入居者の皆様には、出前食を楽しんで頂く予定となっております。旅行参加費は利用料金に加算してのご請求、出前食の料金はお小遣いにてそれぞれ対応させていただきますのでご了承下さい。」

湯原相談員 * 介護保険改定に伴う料金変更について

「平成27年4月1日より介護保険法改定に伴う、利用料金の変更がありました。先日、料金表と一緒に同意書を送付致しましたが、改めて説明させていただきます。まず、基本報酬(介護費)が引き下げになりました。介護度により単位数の引き下げ額が違いますので、料金表及び4月の領収証にてご確認をお願い致します。尚、1単位は、10円ではなく、10.27円で計算する為、大変わかりにくいかと思っておりますので、ご不明な点は遠慮なくお尋ね下さい。その他、加算に関しても変更が出ており、4月より介護職員の処遇改善加算の引き上げ、5月より個別機能訓練加算12単位を算定、6月より栄養マネジメント加算14単位を算定させて頂くようになりますので、段階的に利用料金に変更となります。利用料金に関しまして、ご不明点がございましたら生活相談員までお声掛け下さい。」

湯原相談員 * インフルエンザ、肺炎球菌ワクチンの予防接種について

「毎年10月を目安にインフルエンザの予防接種を受けて頂いております。予防接種にはご家族様の同意が必要となりますので、接種を希望しない方は医務室へお声掛け下さい。昨年度、新たに入所した方の中で、肺炎球菌ワクチンの予防接種を希望する方がいらっしゃいましたら遠慮なく仰って下さい。」

湯原相談員 * 衣類の交換について

「入居者様の衣類の交換の際には、衣類紛失の原因となりますので名前の記入をお願い致します。また、入居者様の中には骨粗鬆症等により腰が曲がってしまい、今までのサイズでは衣類の着脱が難しくなっている方もいらっしゃいます。新たな衣類を購入頂くときは事前にユニット職員へご相談頂けると助かります。ご協力お願い致します。」

湯原相談員 * 利用料金について

「利用料金は、月末の翌月20日前後に口座より振替させて頂いております。現金支払の方は、15日以降に請求額が確定しますので、電話等で確認の上、月末までにお支払をお願い致します。現金支払いの際は、お釣の無いようご準備をお願い致します。口座振替の方は、20日までにご入金頂けます様ご協力をお願い致します。」

事務長挨拶
村山事務長

「祥風会の事務長をさせて頂いております村山です。本日はお暑い中、奉仕作業にご協力頂きましてありがとうございました。先ほど話がありましたが、介護報酬という部分の中で、介護職員の処遇改善加算と言う割合に大きく変更がありました。これは国の方針で介護職員の給与を上げなさいよと言うことで、介護職員の人材不足が懸念されている中で、このような介護職員の処遇をより良くしていこうと夜勤手当等の給与引き上げをさせて頂きました。社会福祉法人として、地域から信頼されるように施設の中に留まらず、外に向けて胸を張れるような社会福祉法人を目指して運営して参りますので、今後共お力添え頂けますようお願い致します。本日はありがとうございました。」

5. 懇談会
高野会長

司会: 高野会長・森泉副会長・松崎副会長・腰山監事

「懇談会と言うことですが、要望や質問などありましたら遠慮なく仰って頂きたいと思います。給食に関しても、直営から依託に切り替わったとの事ですし、介護保険の改定で変更になった内容に関しても説明がありましたが、いまいちわからないところもあったかと思いますが、この機会に気付いたことなど、お話頂きたいと思います。」

森泉様

「給食の件ですが、依託が変わって給食センターから配食されているのか、今までの厨房で委託業者が作って提供しているのか、どうなのでしょう？」

施設長

「今まで通り厨房で作って提供をさせて頂いています。」

高野会長

「皆さんが気になるところは、料金の改定の件かと思いますが。事実上、負担増になるのか、その幅はどの程度になるのか、もっと詳しい所を教えてくださいたいと思います。」

湯原相談員

「実際に細かく〇〇円と説明できないですが、介護度により変わってきますが、単位数としては40単位程下がるような形になりますが、処遇改善加算や地域加算は増額になりますので、結果的に増額となります。もっと金額的に概算で構わないので教えて欲しい。」

沼尻様

「実際の金額は計算しないと細かく出ませんので、目安として4月分の請求金額をご確認下さい。」
料金そのものは大きく変わっていませんが、5月、6月に加算の算定が追加になりますので、若干の変更は出てくると思います。

施設長

また、介護保険負担限度額に関しても、8月から制度改定により大きく変更が出る予定です。今回からは、個人の預貯金も算定の対象になる方向です。」

酒井様

「今回面会に来たら、畳部屋がフローリングに改修工事されていましたが、相談員の方には立ち会って頂きましたが、床が滑るので、本人が怪我しないか心配です。じゅうたんを敷いて頂く等の対応をして頂きたいと思います。」

施設長

「フローリング化したことでご心配がありましたら遠慮なく仰ってください。簡易畳等で対応の予定でいます

高野会長

「今年は行事として、納涼祭が大きく変わるようです。従来とは違い、2部構成になるようです。お盆前の忙しい時期かとも思いますが、出来る限り参加頂ける様ご協力下さい。」

6. その他

- ・ 通帳確認して頂く。

会長	施設長	相談員		書記
野	湯原	金沢	湯原	本橋

平成27年度 第2回 家族会 議事録

日 時 平成27年9月20日(日) 10:00~10:40
 場 所 憩いの里 地域交流スペース
 参 加 者 理事長、施設長、湯原生活相談員、広沢施設ケアマネ、福田(事務局)
 家 族 会 高野会長・森泉副会長・腰山監事・ほか家族35名 計38名
 司 会 湯原生活相談員

資料を確認し、議題に入る

1. 理事長挨拶

「皆様こんにちは。先日の水害で庭の端々の方付け等もある方もいらっしゃると思います。世間では、シルバーウィークの2日目の忙しい中、家族会にご参加頂きましてありがとうございます。家族会の際、常に皆様に申し上げているのですが、施設を家の居間の続きと捉えて頂き、気付いた所、思い付いた所などありましたら、施設を少しでも良くしていきたいと思っておりますので、何でも良いです教えて頂きたいと思えます。また、ちょっとでも良い所がありましたら褒めてやって頂けたらと思えます。職員の皆さんの励みになると思えます。」

2. 施設長挨拶

「皆さんこんにちは。シルバーウィークのお忙しい中、ご参加頂きありがとうございます。今年度の8月に介護保険の報酬改正がありまして、8名の方が利用料金の変更がありました。また、8月20日に茨城県の一般検査がありまして、無事にすみましたことをご報告させていただきます。本日家族会後に敬老式典をこの場で開催させていただきます。式典終了後、ご家族様に各ユニットに足を運んで頂きまして、入居者の方と一緒に食事会をお楽しみ下さい。最後に、本日満足度アンケートを実施させていただきます。ご不満という点に関しては、私達としても改善の目安となりますぜひともご記入下さいますようお願い致します。お世話になっているからと遠慮される方もいらっしゃいますが、長く働いていると気付かない点というのが多々出て参ります。施設をより良くすることに勤めることが出来ますので遠慮なく指摘して頂きたいと思えます。ご協力をよろしくお願い致します。」

3. 家族会会長挨拶

高野会長 「皆さんこんにちは。シルバーウィーク2日目。今年はたまたま日曜日と彼岸の入り重なったり皆様大変お忙しい中、来られたかと思えます。その様な中で、若干参加が少ないのかなと感じております。来年からは、日程調整をして頂いて、行事が重ならないように施設のほうへお願いしたいと思えます。今日は施設から色々とお知らせがあるようなんですが、12月13日にクリスマス会を予定しております。毎年のことですが、家族会の会費から入居者の方にクリスマスプレゼントを用意しております。予算的には700円から800円の予算を捻出できるようですので、皆さんご了承下さい。それから今話のあったように、アンケートの記入についてですが、要望も沢山あったほうが宜しいとの事なので、この後の懇談会でも忌憚のないご意見をお願いします。」

4. 施設からのお知らせ

湯原相談員 * マイナンバー『通知カード』に関して

「皆様もご存知の通り、来月10月より国民ひとり一人に対しマイナンバーを表記した通知カード発送が始まります。介護保険上でも、給付金や減額証の申請書類に記入が求められるようになってきます。ご家族様のお手元に届きましたら、施設へお預け頂くようお願い致します。お預りした通知カードは、貴重品預り証を作成の上、厳重に取扱いさせていただきます。」

* 国勢調査について

「皆様のお手元にも届いたかと思えますが、9月から10月にかけて5年に一度の国勢調査があります。入居されている皆様におかれましても同様に調査を実施させていただきますので、ご理解の程宜しくお願い致します。」

* インフルエンザ、肺炎球菌ワクチンの予防接種について

「毎年10月に入居者の皆様にインフルエンザの予防接種を受けて頂いております。接種を受けていただく為には、ご家族様の同意が必要となりますので、希望しない場合のみ医務室へご連絡下さい。ご連絡が無い場合は接種希望とみなし対応させていただきますのでご了承下さい。また、住所地がご自宅にある方は、接種券がお手元に届きますので施設へお持ち頂くようお願い致します。肺炎球菌ワクチンに関しては任意接種となりますので、希望する場合はご連絡下さい。」

* 利用料金について

「先ほど施設長からも話があった通り、今月請求の利用料金より増額になった方がいらっしゃいます。」

該当する方には事前にご説明差し上げましたが、ご不明な点などありましたら遠慮なくお問合せ下さい。」

* 12/13(日)クリスマス会について

「こちら先ほど会長から報告がありました通り、例年通り家族会費より入居者様へのプレゼント代を捻出させていただきますのでご了承下さい。」

* 満足度調査(アンケート)について

「本日、次第と一緒に満足度アンケートを配布させて頂きました。入居者の皆様がより安心して快適に過ごし頂ける環境を整える為のアンケートですので、詳しくご記入頂けるとありがたいと思います。御協力をお願い致します。」

5. 懇談会
高野会長

司会: 高野会長・森泉副会長・腰山監事

「施設からのお知らせ等は以上となります。では続きまして懇談会に入らせて頂きます。

先ほどの理事長さん、施設長さんの話にもありましたように施設に対しての率直なご意見やご要望等忌憚無きご意見を伺えたらと思いますがいかがでしょうか？」

藤田様

「毎月の利用料金の支払のことなのですが、通帳を預ける形ではなく銀行からの自動引落しには出来ないのでしょうか？」

施設長
森泉様

「以前にそのような話が出ており現在検討中です。現段階では、自動振替は行っていません。」

「希望等ではないんですが、9月1日が防災の日ということで、テレビでも特集が組まれていました。

そこに憩いの里での警察の方たちとの合同避難訓練の様子が映っていました。

何度か面会時に避難訓練の様子を目の当たりにし、職員の方たちがキビキビと動いてらっしゃる姿を見ていましたが、平日頃の避難訓練の様子が素晴らしいのでテレビ等に取材されたのだと思います。

この施設の通路が広いこともあり、入居者の皆さんが防災頭巾を被って職員さんに誘導されていました。感心してテレビを見ていました。」

高野会長

「施設の立地的には水害はまずありえない土地ですが、火災等天災の時に平日頃の訓練の成果が発揮できるのだと思います。今後共宜しくお願いします。」

浅介様

「先日の納涼祭の時に職員の方がソーラン節を披露して下さいました。忙しい中で練習をされたのだと大きな感動を与えて頂きました。夏だけでなく、今後も色んな行事で見せて頂きたいなと思いました。

憩いの里の明るい雰囲気、『こんなことも取り入れてるのか』と良い意味で裏切ってくれました。

なんて活気のある施設だろうって、滅多に施設に来ることの出来ない孫達が、『この施設すごいね』とおばあちゃんが過ごしている環境を知って安心していました。」

湯原相談員

「ありがとうございます。納涼祭で披露させて頂いたソーラン節は、練習時間の少ない中、職員が一致団結して行うことが出来て、利用者さんにも喜んで頂いた事、心から嬉しく思っております。

一回きりで終わらせること無く、今後も様々な場面で皆様に楽しんで頂ける様に努力してまいりたいと思いますので宜しくお願い致します。」

腰山様

「希望や要望等を考えてみましたが、ありません。週1回くらい面会に来させてもらっているんですが、事務所の方、現場スタッフの方、キビキビと対応を頂き、適切な返事を頂く事が多いように思います。

先日も、職員さんの方から本人の体調や生活の変化等に対して声を掛けてきてくれました。


積極的な声掛けをして頂いて本当に安心してお願いできているというのが実態です。」

高野会長

「他にご意見等が無いようでしたら、各々アンケートのご記入をお願いして、家族会の終了と致します。ありがとうございました。」

6. その他

- ・ 通帳確認して頂く。

会長	施設長	相談員		書記
				

平成27年度 第3回 家族会 議事録

日 時 平成27年12月13日(日) 13:00～14:00
 場 所 憩いの里 地域交流スペース
 参加者 理事長、施設長、事務長、湯原生活相談員、金沢生活相談員、広沢施設ケアマネ、本橋(事務局)
 家族会 高野会長・森泉副会長・腰山監事・ほか家族36名 計39名
 司 会 湯原生活相談員

資料を確認し、議題に入る

1. 理事長挨拶

「皆さんこんにちは。本日は師走に入り、お忙しい中お集まり頂きありがとうございます。本日は第三回ということで、来年から運用されるマイナンバーカードの件について、また、県からの指導の下、管理費の詳細化に伴う料金変更等について、後ほど詳しく説明ががございます。家族会が終わりましたら、入居者の皆様と一緒にクリスマス会を楽しんで頂けたらと思います。御協力をおねがいします。」

2. 施設長挨拶

「本日はお忙しい中ありがとうございます。今朝、ご家族様からノロウイルスかもしれないので家族会を欠席しますとの御連絡を頂きました。風邪、インフルエンザ、ノロウイルスの感染症が流行る時期となり、体調不良時の面会や外出等に重々気をつけて頂きたいと思っております。また、今後はマスクの着用及び手指消毒に御協力をお願い致します。私の方からは、施設で先日起きました事故の報告をさせていただきます。ショートステイ利用中の方が徘徊の上、誤ってお風呂場で熱湯を浴びてしまい命を落とすという事故が起きました。今回の事故を真摯に受け止め、二度とこのような事故を起さぬよう今後の資質向上、再発防止に取り組んで参ります。」

3. 家族会会長挨拶

高野会長 「皆さんこんにちは。今日は師走のお忙しい中参加頂きありがとうございます。今年は何年にもなく温かな日が続いています。朝夕の気温差で体調を崩さぬようご自愛下さい。本日は家族会の後、クリスマス会が行われます。短い時間ですが、皆様のご協力をお願い致します。」

4. 施設からのお知らせ

湯原相談員 * 利用料金の変更に伴う同意書の記入について

「先ほど理事長からも話が出ていましたが、今まで管理費として月額5000円を一律徴収させて頂いておりましたが、名称を『その他の日常生活費(実費徴収させて頂くもの)』と変更をし、今までより内訳が分かるように細かく金額の設定をさせて頂きました。新しい料金表を元に平成28年1月1日より実施させて頂きたいと思っております。また、同意書への記入もあわせてお願い致します。本日記入の難しい方に関しましては、一度お持ち帰り頂き、お忙しいと思っておりますが今月中に提出頂きます様お願い致します。」

* マイナンバー通知カードについて

「皆様のお手元にも既に届いているかと思いますが、入居者様のマイナンバー通知カードについては、ご家族様のお手元で管理頂きますようお願い致します。入居者様の個人情報だけに留まらずご家族様の個人情報にも触れてしまう可能性があることから、施設管理は妥当ではないと判断しました。施設側としては、毎年6月頃に介護保険減額申請の際にマイナンバーが必要となってくる事が考えられますので、再度その時期にご連絡させて頂きます。」

* インフルエンザ、肺炎球菌ワクチンの予防接種状況について

「インフルエンザ予防接種に関しまして、10月の末から12月の前半にかけて実施させて頂きました。70名中3名の方を除き実施済みです。3名に関しましてはアレルギー反応が出てしまう為、接種を見送りさせて頂きました。肺炎球菌ワクチンの予防接種は、前回家族会以降で希望が出た方はインフルエンザの流行時期を除き、春先を目安に実施していく方向です。」

また、今後インフルエンザ等の感染症が流行る季節になりますので、面会時のマスク着用及び手指消毒の徹底に御協力をお願い致します。マスクに関しましては、施設でも常備してありますが、購入頂く形となりますので、ご自宅よりお持ち下さい。」

金沢相談員 * 健康診断実施報告

「10月19日(月)に入居者様及び職員の健康診断を実施し、胸部レントゲンと血液検査を受けて頂いております。円背等の理由により当日のレントゲン撮影が難しかった入居者様に関しましては、後日宮崎クリニックで撮影を実施しております。」

* 満足度調査アンケート報告

「グラフを参照頂ければ分かるようになってはいますが、補足説明をさせていただきます。

(問5)毎月の利用料金を自動引落しに出来ないか?という質問についてですが、前回の家族会で説明させて頂きましたが、現時点では筑波銀行以外からは手数料等の関係で対応できない状況です。ご了承下さい。

(問8)リハビリに関してですが、施設では積極的なリハビリは行っておりません。生活動作の維持を目的に生活の中で本人様が出来ることを行って頂いております。

(問9)情報が伝わってこないというご意見についてですが、広報誌等に入居者様の声をもっと載せるなど工夫して参ります。

(問10)食事についてですが、昨日、ご家族様から新米の寄付を頂きましたのでおにぎりでも提供しました。今後も季節に合った食事を提供していきたいと思っております。

その他に、トイレ後の手洗いの徹底についてですが、先ほどから話が出ておりますが感染症の流行る時期でもありますので、今まで以上に周知徹底して参ります。」

* 入居者様の確定申告について

「確定申告の際に医療費控除の控えとして、領収証を必要とする方がいらっしゃるかと思います。領収証の用意に多少の時間がかかりますので、事前にご連絡頂けると助かります。」

* 家族会役員変更について

「今まで副会長を務めて頂きました松崎様が退任となられましたので、この場をお借りしまして新しく副会長の選任をさせて頂きたいと思っております。どなたか引き受けて頂ける方いらっしゃいますか?」

高橋様いかがでしょうか?」

高橋様

「では、お引き受けします。」

「皆様、高橋様に家族会副会長を引き受けて頂く形で宜しいでしょうか?」

拍手にて承認

5. 懇談会

高野会長

司会:高野会長・森泉副会長・腰山監事

「施設からのお知らせ等は以上となります。では続きまして懇談会に入らせて頂きます。

高橋副会長

家族会役員の方を、ただいま高橋様に引き受けて頂きましたので、一言頂戴したいと思います。」

「皆様本日はお疲れ様です。高橋と申します。92歳の母親が施設でお世話になっております。力不足とは思いますが、前副会長さんの後任として会長さんを補佐して参りたいと思っておりますので宜しくお願い致します。」

高野会長

「施設への要望以外でも構いません。忌憚のなきご意見をお願い致します。

湯原相談員

アンケート下に要望や意見ということで記載がありますが、それに対し、施設側からは何かありますか?」

腰山様

「沢山のお褒めの言葉を頂き、ありがとうございます。改善策に関しましては真摯に受け止め、利用者様が安心、安全に生活できる環境づくりに取り組んで参ります。」

湯原相談員

「料金支払いの件は、他所の施設さんでは他銀行からの引落しが出来ているようです。新しく口座開設するのではなく既存の口座を利用できるようにしてもらえると、今後の新規入所の方もとても受け入れ易いと思っておりますので、体制作りをお願いできたらと思っております。

高野会長

アンケート上で施設への要望とありますが、逆に私達家族に対しての要望やご協力できることが何かあるようでしたら教えて頂きたいと思っております。私の親がお世話になるだけでなく、職員の皆さんも

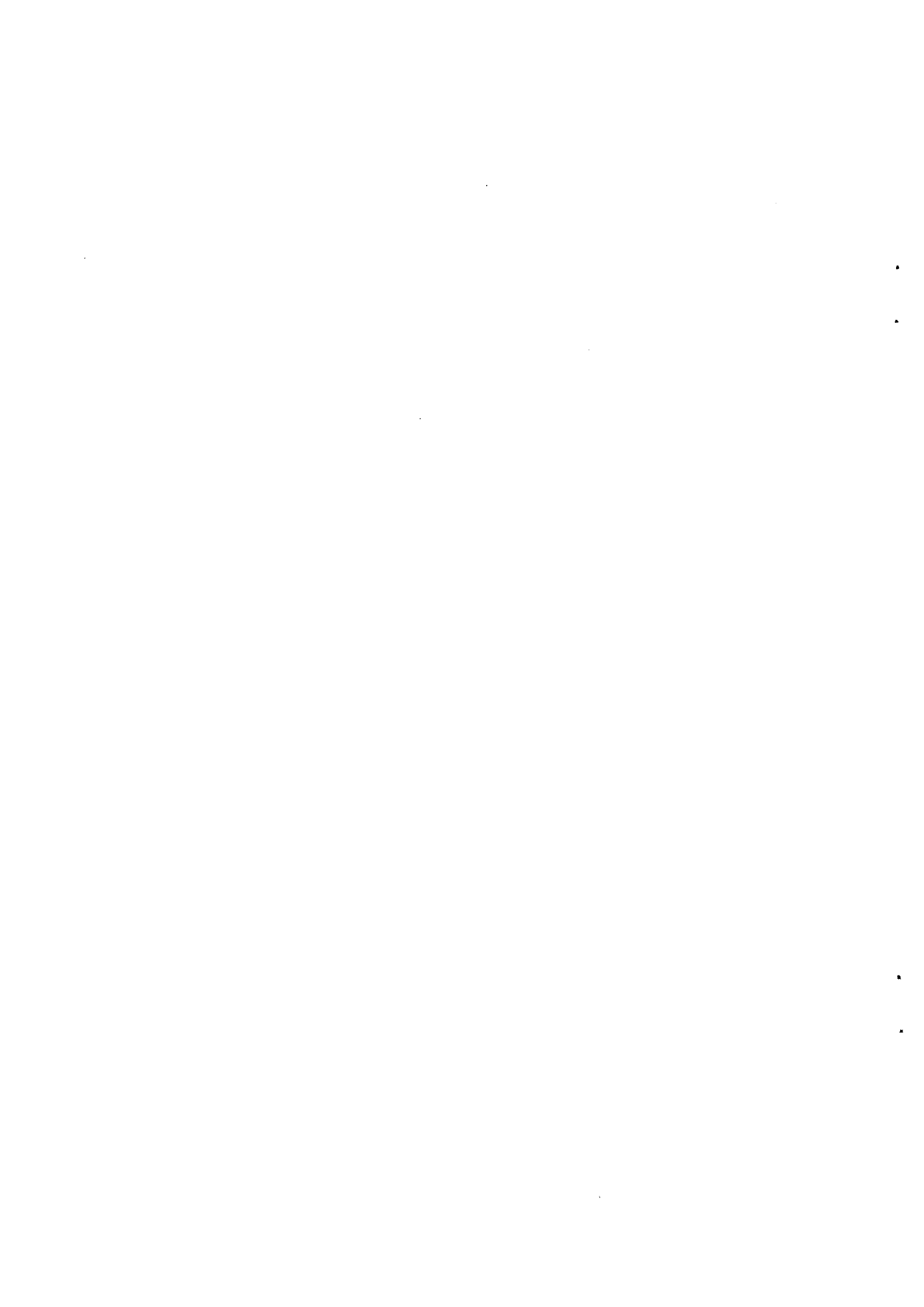
より仕事のし易い環境を作りたいと思っておりますので。」

「ありがとうございます。一点だけ気になることがありましたので、お伝えしたいと思っております。先日、ご家族様が入居者様を移乗介護している姿をお見受けしました。日頃から介護している私達でも危ないと思う場面が多々ありますので、職員に遠慮などせず『移乗して下さい』と声を掛けて頂きたいと思っております。」

「ご意見は他にありませんでしょうか?このような場での発言は、と差し控える方もいらっしゃると思っております。何かありましたら遠慮なく、面会時等に事務局へ話して頂きたいと思っております。では、家族会を閉会と致します。この後のクリスマス会をお楽しみ下さい。ありがとうございました。」

6. その他

- ・ 通帳確認して頂く。



平成27年度 飛羽ノ園デイサービス ながみね 事業報告書

1. 運営

平成27年度の一日平均利用者数は14.5名と、前年度と比較すると0.7名上昇している。特に下半期の数字の伸びが高く、稼働率が下がると予想されていた冬季においても、新規利用の獲得に努め、低下を防いだ。新規利用者の中には水中ウォーキングを目的とされている方が多く、水中ウォーキングの実施曜日を週2日から3日に増やした。

14.5名と数値には忸怩たる思いしかないが、ケアマネジャーとの関係作りや新たなサービスの定着とそれによる利用者の獲得には、手ごたえを感じることができている。併設する居宅支援事業所がないという大きなデメリットを抱えていることを認識したうえで、決してあきらめることなく、気を緩めることなく、根気強く継続して営業活動を続けていき、まずは単年度黒字を目指し利用者拡大に努めたい。

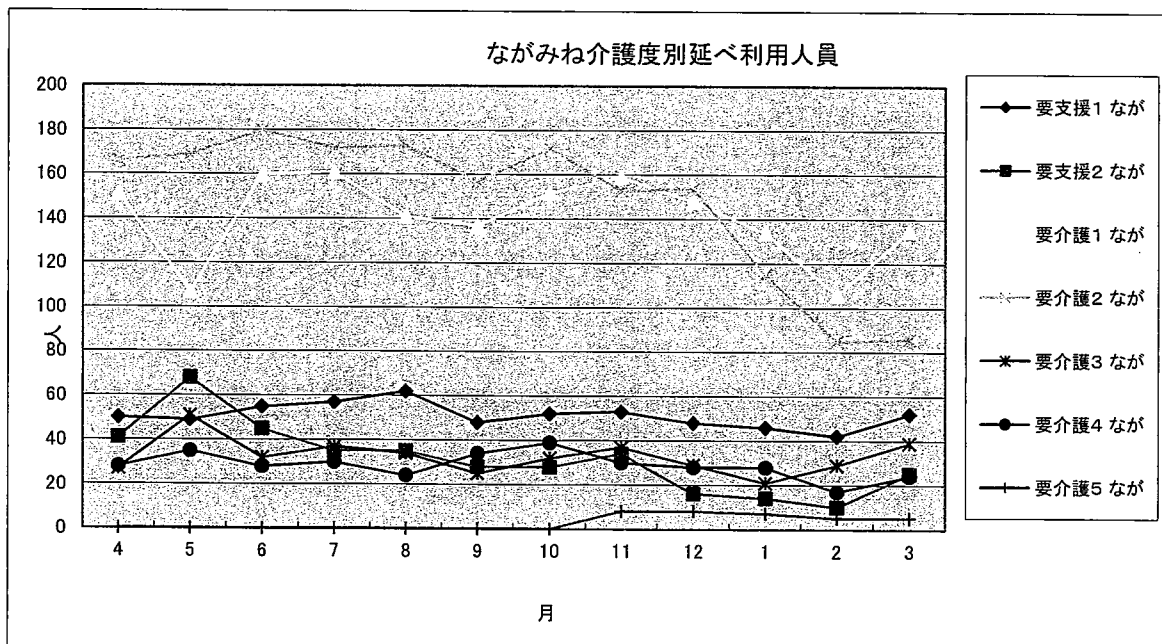
【月別利用状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運営日数	26	27	25	27	26	26	27	25	24	24	24	27	308
登録数(月末)	43	39	41	43	41	42	40	42	43	44	49	52	519
新規利用者数	0	2	2	1	1	0	2	1	1	5	3	0	18
利用終了者数	4	0	0	3	0	3	0	0	2	0	0	1	13
利用実人数	33	36	41	41	41	38	38	38	41	44	47	44	481
最大受け入れ可能数	650	675	625	675	650	650	675	625	600	600	600	675	7,700
延人数	312	354	372	397	386	380	394	348	349	363	381	418	4,454
1日あたりの平均利用人数	12.0	13.1	14.9	14.7	14.8	14.6	14.6	13.9	14.5	15.1	15.9	15.5	14.5
利用率(%)(延人数/最大受け入れ可能数)	48.0%	52.4%	59.5%	58.8%	59.4%	58.5%	58.4%	55.7%	58.2%	60.5%	63.5%	61.9%	57.9%

【介護度別利用状況(実人数)】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度内実人員	延人員
要支援1	2	1	2	1	1	1	1	2	2	2	3	3	21	147
要支援2	3	4	4	4	5	4	4	3	3	3	4	4	45	343
要介護1	10	12	12	13	13	12	11	13	13	14	14	15	152	1,503
要介護2	10	9	11	11	11	10	11	10	13	15	15	11	137	1,244
要介護3	3	3	6	6	5	4	5	4	3	3	5	4	51	467
要介護4	4	6	5	5	5	6	5	5	5	5	5	5	61	669
要介護5	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	16	81
平均介護度※	1.9	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.9	2.0	2.0	2.0	1.9	2.0	2.0

※要支援1は0.375で要支援2は1として算出。



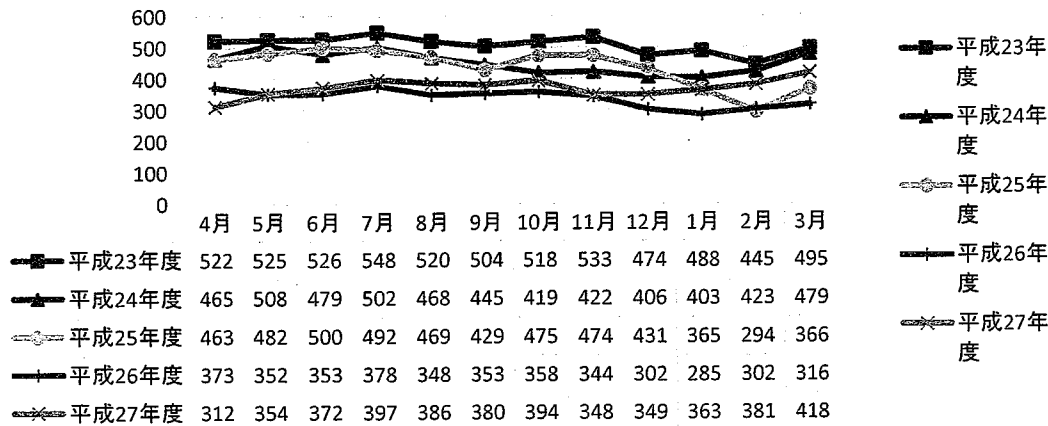
【利用者年齢構成(年度内利用実績ある利用者)】

男女比において男性利用者は全体の3割に満たず、前年度と比較しても男性利用者の数は減少している。また、年齢別においては若干ながら60代が増加し、平均年齢も下がっている。長期で通っている方もいずれは後期高齢者の枠に入り、体調の変化が著しくなる。継続して利用していただくには日頃の状態変化に目を配る必要がある。

	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90以上
男	0	1	2	2	5	3	1
女	1	3	0	7	6	8	9

平均年齢82.5歳 最高年齢 99歳 最低年齢 61歳

ながみね年度別比較表(定員25名/日)



【地区別利用状況(平成28年3月中利用実績あり)】

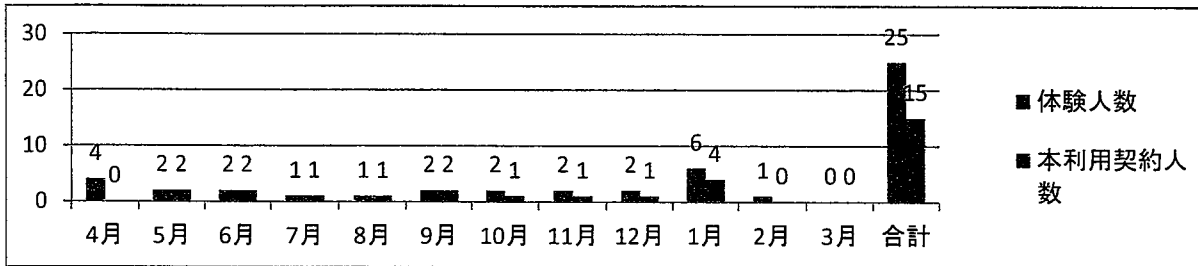
つくば市内の事業所からの新規利用依頼が増加したこともあり、必然的につくば市内在住の新規利用者が増加した。ながみね近隣である3中地区の利用者が減少傾向にあるため、今年度は遠方に力を入れ気味であったが、近隣のケアマネジャーとの関係作りを常に絶やさず新規利用者獲得に力を入れていきたい。

阿見町	3中地区	4中地区	6中地区	つくば市					
うずら野	1	中村南	3	下高津	3	小岩田東	4	下広岡	1
		西根南	1	中高津	1	烏山	2	梅園	1
		荒川沖	3	永国東町	3	右靱	1	稲荷前	1
		中	3	桜ヶ丘	3	摩利山	1		
		荒川沖西	2	小松	4				
		中村西根	3	小松ヶ丘	1				
		乙戸	2	霞ヶ丘	1				
		中村東	1	天川	2				

【体験利用受け入れ状況】

平成26年度と比較すると体験利用者が圧倒的に増加し、そのうちの60%が新規利用に繋がっている。今まで依頼がなかった事業所からの依頼も多かったため、必然的に体験利用が増えていった。また、以前よりふれあいセンターを利用して、デイサービスの契約に結び付いたケースもあったため、今後もふれあいセンターと連携をしつつ、体験利用から新規利用へ繋げるためにも、体験利用時にながみねの良さを全面的に押し出していきたい。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
体験人数	4	2	2	1	1	2	2	2	2	6	1	0	25
本利用契約人数	0	2	2	1	1	2	1	1	1	4	0	0	15

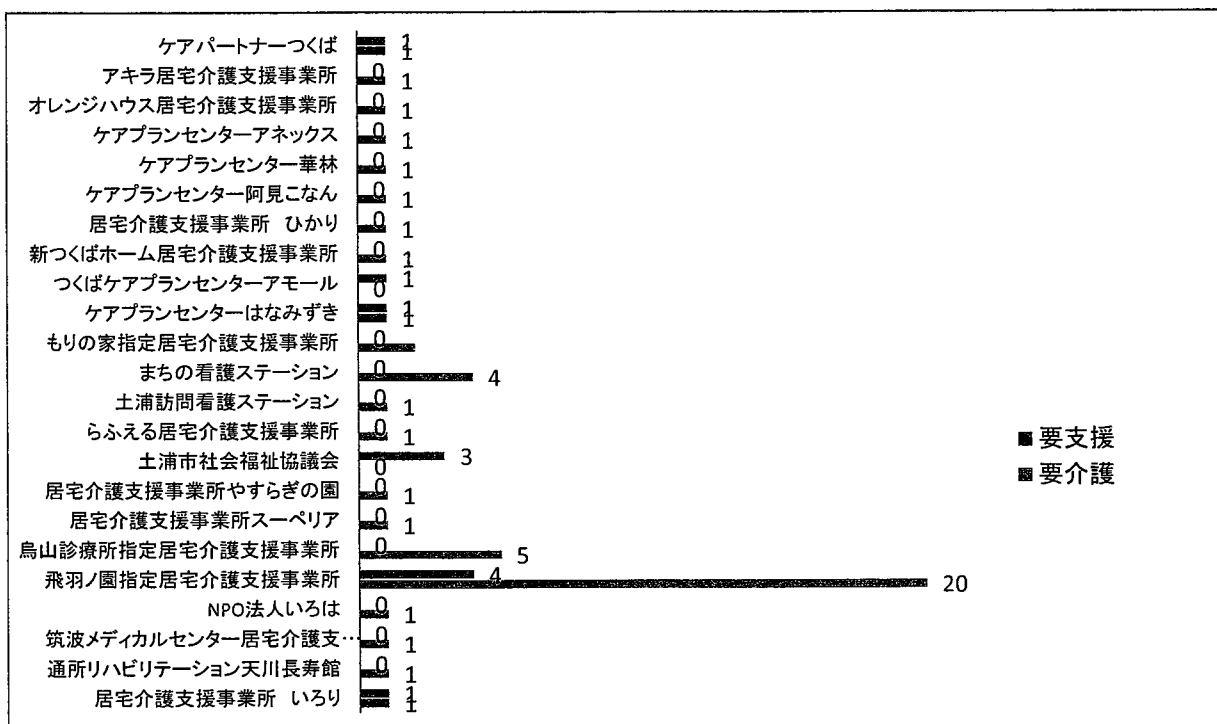


【居宅介護支援事業所別依頼状況(年度内利用実績有り)】

平成27年度はつくば市の事業所からの依頼が大幅に増えた。つくば市を周る送迎ルートを確認することで、今後増加すると見込まれるつくば市からの需要にも柔軟に対応できるようにしていく。また、依頼を受けたことのない事業所からの依頼獲得のためにも、ながみねの売りである昼食を実際に召し上がっていただく等といった営業を進めていく。

	要介護	要支援	
居宅介護支援事業所 いろいろ	1	1	
通所リハビリテーション天川長寿館	1	0	
筑波メディカルセンター居宅介護支援事業所	1	0	つくば
NPO法人いろいろ	1	0	
飛羽ノ園指定居宅介護支援事業所	20	4	
鳥山診療所指定居宅介護支援事業所	5	0	
居宅介護支援事業所スーベリア	1	0	阿見
居宅介護支援事業所やすらぎの園	1	0	
土浦市社会福祉協議会	0	3	
らふえる居宅介護支援事業所	1	0	
土浦訪問看護ステーション	1	0	
まちの看護ステーション	4	0	
もりの家指定居宅介護支援事業所	2	0	
ケアプランセンターはなみずき	1	1	つくば
つくばケアプランセンターアモール	0	1	つくば
新つくばホーム居宅介護支援事業所	1	0	つくば
居宅介護支援事業所 ひかり	1	0	
ケアプランセンター阿見こなん	1	0	阿見
ケアプランセンター華林	1	0	
ケアプランセンターアネックス	1	0	
オレンジハウス居宅介護支援事業所	1	0	
アキラ居宅介護支援事業所	1	0	つくば
ケアパートナーつくば	1	1	つくば

他法人率 59.3%
市外率 16.9%



2. 処 遇

(1) 通所介護計画の作成

日頃から利用者の状態変化に気を付け、何らかのリスクが生じた場合はすみやかに家族とケアマネジャーへ報告し、介護計画書の見直しに努めた。また、筋力の向上や日常生活動作の向上が見られた場合には、自立した生活を送っていただくためにも、本人にとってステップアップしたサービス内容に変更するようにした。また、そのような変化を把握した利用者家族やケアマネジャーから、感謝の言葉が聞かれた。今後とも、介護計画書の内容を職員間での確認及び熟知するように努めていきたい。

(2) 機能訓練・運動機能向上の実施

それぞれの残存機能に応じた声掛けや見守りと一部介助での日常生活動作のリハビリを行なった。そして、四肢の運動機能低下による転倒防止や平行棒を使用しての歩行、階段昇降での運動機能向上に努めた。個別リハでは、理学療法士による個別プログラムを作成して身体能力に合わせたものを実施した。毎日、食前の口腔体操やカラオケによる心肺機能の維持向上にも努めた。昨年度から始まった、水中ウォーキングも昨年度の年間95名から年間144名と定着している。毎月1度個別機能訓練計画モニタリングを実施している。

【リハビリ状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個別	71	91	85	74	88	88	75	111	86	100	80	90	1,039
小グループ	280	304	323	324	288	317	273	274	187	171	182	101	3,024
集団	316	355	364	393	386	371	389	357	341	369	358	411	4,410
理学療法士による	8	4	3	5	3	0	0	12	6	6	6	6	59
マッサージチェア	19	31	37	38	37	32	32	23	34	38	49	55	425
水中ウォーキング	8	14	12	10	10	9	8	15	12	9	15	22	144

【リハビリ内容】

個別・少人数グループで実施	【歩行訓練】【階段昇降】【下肢の運動】①つま先・踵上げ運動(座位)②足上げ(膝伸ばし運動)③足踏み④立ち座り⑤つま先立ち(立位)⑥立位での横方向への片足上げ運動⑦立位で足を後方にゆっくり上げる【上肢の運動】①グーパー②手を組み手首を左右、上下に動かす③手を組み肘の曲げ伸ばし※上肢のマッサージ【上肢の運動】①手を組み上下に動かす②手を組み上→頭部→後頭部→肘を後方へ③右手→左肩、左手→右肩に乗せ、肘を上下に動かす。④肩すくめ運動⑤両肩を回す後ろ、前【身体ねじり】【体幹の支持機能向上】①手を組み前方に伸ばし腰から上部を背筋を伸ばしたまま前後に動かす②腰が椅子から離れないように、おへそを覗き込み上体を丸める【ゴム使用リハビリ】【自転車】【ステッパー】【水中ウォーキング】【足浴・フットケア】
集団・少人数グループで実施	①タオル体操, ②デイ体操, ③音楽リハビリ, ④健康体操
その他	①洗濯物たたみ, ②テーブル拭き, ③カラオケ選曲, ④配布プリント折り
レクリエーション・アクティビティ	塗り絵, 計算, 漢字問題, 月間計画されているもの

(3)健康・看護サービス

送迎時には、家族や利用者本人への声掛けによる体調確認やバイタルチェックをすることで個々の体調を把握して利用者に合わせ、負担にならないようなサービスを提供できた。利用者の必要に応じて軟膏塗布・湿布の貼布・点眼・内服薬の管理を行った。爪切り・耳かきも本人、家族が行なえない方や、希望が有る方には実施した。口腔ケアに対しては、来所時、食後実施し清潔はもとより感染予防・防止、誤嚥による肺炎の予防に努めた。突然の体調不良時などは、家族、主治医、ケアマネジャーへ連絡し、迅速な対応ができた。フットケア(足浴)導入により、下肢の倦怠感が軽減し、血流改善し、睡眠導入がスムーズになったという声が聞かれた。毎月一度は全利用者の体重測定を行いケアマネジャーや家族への報告を行なっている。

【看護状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
処置(回数)	11	16	10	10	9	12	18	9	21	24	28	47	215
軟膏(回数)	39	37	40	39	48	47	32	26	23	32	40	32	435
湿布(回数)	27	30	28	30	22	19	31	23	26	30	34	30	330
貼付薬(回数)	14	15	13	17	24	27	26	15	13	10	1	2	177
内服(人数)	137	158	139	159	158	163	161	139	149	143	159	194	1859
介助(回数)	31	30	26	38	34	42	30	23	23	19	21	26	343
見守り(回数)	116	128	113	121	124	121	131	120	126	124	138	168	1530
点眼(回数)	51	59	55	53	52	46	48	41	31	24	30	29	519
爪きり(回数)	23	19	23	22	9	20	19	13	18	18	11	22	217
耳掻き(回数)	6	5	2	5	2	3	3	3	8	6	5	5	53
HDS-R	0	0	0	4	2	0	0	0	0	5	1	2	14
口腔ケア	313	350	367	393	398	375	398	348	335	353	374	408	4412
体重測定	32	33	39	39	37	38	37	39	41	41	44	40	460
健康チェック(再)	146	162	220	238	238	257	232	192	199	114	245	267	2510

(4)入浴サービス

入浴前にはバイタルチェックをもとに多職種と連携し、安全に入浴出来るよう努めたが長湯によりのぼせてしまったり、気分不快の訴えが聞かれた方がいた。しかし、看護師の迅速な対応により大事には至らなかった。要支援の入浴はしない利用者が増え、入浴率は前年度と比較し、3.4%減少した。

【入浴状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入浴延べ人数(A)	274	310	281	329	319	302	323	269	277	280	291	333	3,588
一般浴	273	307	278	324	315	299	320	265	273	276	288	328	3,546
機械浴	1	3	3	5	4	3	3	4	4	4	3	5	42
利用延べ人数(B)	312	354	372	397	386	380	394	348	349	363	381	418	4,454
入浴率%(A/B)	87.8%	87.6%	75.5%	82.9%	82.6%	79.5%	82.0%	77.3%	79.4%	77.1%	76.4%	79.7%	80.6%

(5) 排泄ケア

サービスを提供するにあたって、プライバシーに十分配慮した。自身で出来ることは自身で行なっていたが、認知症の方は排泄パターンの把握に努めた。自身でズボンの上げ下ろしが出来る様になった方や、家でおむつ内排尿のみだったが排尿が腹圧をかけないと排尿困難になってしまった利用者様をご家族、ケアマネジャーと協力して、しっかりと時間をかけ、トイレ誘導することで排尿を促し、夜間帯の失禁を減らすことができた。他の利用者様でもトイレ誘導等の対応ができた方がおり、ご家族にも自宅でトイレに座っていただく事の大切さに気付いていただけた。

(6) レクリエーション・行事

平成26年度よりレクリエーションの個別化を組み入れて、利用者一人一人に合ったレクリエーションや利用者自身で選択する外出行事を実施する事ができた。外出行事も毎月その時期に合ったものを行ない、季節感を味わって頂けるよう配慮した。来年度は、行事レクリエーションの個別化に新しいものを取り入れ更なる顧客満足度を得られるよう努める。

【レクリエーション内容・参加状況】

実施月	レクリエーション・行事名	参加人数	実施月	レクリエーション・行事名	参加人数
4月	輪投げ、サッカーボウリング、たまご早詰め、輪ゴム通し、+C178:G189ピンポンフリフリ	274	10月	スリッパ飛ばし、なめたらあ缶、卵早詰め、テーブルホッケー、ボール出し	183
5月	数字探し、紙コップ転がし、ホールインワン、パズル、散歩、けつとばしカーリング、魚釣り	299	11月	輪ゴム通し、数字探し、ピンポンゲーム、サッカーボウリング	271
6月	玉落とし、丸太転がし、円盤返し、お手玉乗せ、お手玉落とし、ペットボトルターゲット	279	12月	輪投げ、質屋ののれん、乗ってけゲーム、言葉並べ、けつとばしカーリング	264
7月	サッカーボウリング、輪投げ、ビンゴ、質屋ののれん、缶落とし	328	1月	コロコロころりん上手にとってネ、輪投げ取り、言葉並べ、書道、丸太転がし、カルタ	323
8月	輪投げ、書道、射的、ボウリング、ピンポンゲーム	332	2月	ピンポンフリフリ、お手玉崩し、サッカーボウリング、豆まき、工作、紙コップ転がし、豆運び	369
9月	月見団子作りゲーム、ビンゴ、けつとばしカーリング、丸太転がし、指サッカー	275	3月	ながみねゴルフ、輪ゴム通し、ホールインワン、丸太転がし	333

【個別レクリエーション内容・参加状況】

実施月	レクリエーション・行事名	参加人数	実施月	レクリエーション・行事名	参加人数
4月	フットケア、プール、おやつ教室、散歩、ちぎり絵	44	10月	フットケア、プール、おやつ教室、散歩	40
5月	フットケア、プール、おやつ教室、散歩、ちぎり絵	48	11月	フットケア、プール、おやつ教室、ちぎり絵	44
6月	フットケア、プール、おやつ教室、園芸	50	12月	フットケア、プール、おやつ教室、ちぎり絵	43
7月	フットケア、プール、おやつ教室、パズル	49	1月	フットケア、プール、おやつ教室、ちぎり絵	44
8月	フットケア、プール、おやつ教室、ちぎり絵	49	2月	フットケア、プール、おやつ教室、パズル	47
9月	フットケア、プール、おやつ教室、ちぎり絵、パズル	52	3月	フットケア、プール、おやつ教室、パズル	58

(7)送迎サービス

事故防止と個々に合わせたルートや時間の調整対応など工夫し、利用者や家族の要望に応えられるよう努めた。今年度は4件、車両の接触事故が起きた。事故時の対応についての重要性和、事故時はまず管理者及び生活相談員に必ず連絡し、指示に従って行動することを職員間で再認識した。又、警察、上司に事故の届け出をせず送迎を続けてしまうという事もあり、警察より嚴重注意を受けているので、今後そのような事の無い様対応の徹底を行う。

【送迎状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
送迎延回数	590	673	705	768	738	740	760	671	669	683	713	784	8,494
迎え	300	338	358	384	369	371	380	337	335	339	360	392	4,263
送り	290	335	347	384	369	369	380	334	334	344	353	392	4,231

【車輛状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	車両総走行距離
送迎車輛 走行距離数 (km)	2,788	2,804	3,387	3,036	2,705	2,714	2,821	3,463	2,277	3,214	3,391	3,265	35,865
キャラバン	806	714	980	804	824	789	790	1576	129	841	749	863	9,865
MPV	423	476	743	572	573	699	495	454	724	710	1025	516	7,410
セレナ	1045	1108	993	1066	931	915	1071	970	1070	1164	1016	1154	12,503
ムーブ	514	506	671	594	377	311	465	463	354	499	460	576	5,790
ハイエース※											141	156	297

※ハイエースは、車いす利用者が増加したため、2月から飛羽ノ園より一時的に貸与を受けての例

(8) 理美容サービス

前年度と比較し、14名増加した。新規でデイサービスの利用を開始した方で、独居の方や、移動の困難な方に需要があり、定期的に利用して下さった事も理由として考えられる。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男性	0	1	1	1	2	0	1	0	0	0	0	0	6
女性	3	4	6	5	4	5	4	6	4	3	5	3	52
合計	3	5	7	6	6	5	5	6	4	3	5	3	58

3. 防火と安全管理

今年度は避難の際、救急対応も訓練に加えた、緊張感の有る、良い避難訓練をスムーズに行うことができた。対応できる能力を持っていても、突然の事態には力を発揮できないということもある。できる限り、力を発揮できるよう、今後も緊張感を持ち看護師、介護士共に、いつ避難する事態になっても良いように、目的を理解して避難、防災訓練に臨む。

【避難訓練記録】

実施日	訓練内容	訓練場所	時間	参加人数
10月30日	火災想定避難訓練	デイサービス	14時～	27名

4. ボランティア受け入れ状況

今年度は、新しいボランティアの方3組に依頼をして、利用者様に喜んでいただくことができた。特に、琴等なかなか目にすることのない楽器など利用者の満足を得られた。来年度も、新しいボランティアの受け入れ活動を更に行なっていく。

【ボランティア】

所属・団体名	内容	受入日	総人数
フェルマータ	軽音楽	9月27日	4人
ジャグリング	ジャグリングショー	8月8日	1人
てんとう虫	軽音楽	9月26日	5人
琴さらりん	琴の演奏	9月25日	3人
こもれびの会	4月8, 15 5月13, 20 6月10, 17 7月15, 17, 18 8月8, 12, 19 9月 9, 16, 10月7, 14 11月11, 18 1 2月9, 16 1月13, 27 2月10, 17 3月9, 16	4月8, 15 5月13, 20 6月10, 17 7月15, 17, 18 8月8, 12, 19 9月 9, 16, 10月7, 14 11月11, 18 1 2月9, 16 1月13, 27 2月10, 17 3月9, 16	41人

5. 研修参加状況

研修参加状況は下記の通りだが、現場の職員の研修参加が少なくなってしまった。研修に参加することで技術等を向上させることはもちろん、外部の講師や職員とコミュニケーションをとることで刺激を受けることもできることから、計画的な研修参加を進めていく必要がある。

日時	研修名	場所	参加者
4月8日	新人研修①	法人本部	中嶋
6月2日	新人研修②	法人本部	中嶋
7月10日	本部研修(看護師対象)	法人本部	小島
7月12日	やすらぎの園 生きがいフォーラム	六中地区公民館	山本・佐藤・高橋
7月13日	通所サービス“集客力”向上ワークショップ	常陽銀行	山本・平山
7月29日	在宅医療・介護と看取りにおける現状と課題	ホテルマロウド筑波 2階	山本
9月10日	雇用管理者研修	ワークヒル	山本
9月15日	不当要求対策責任者研修	ワークヒル	山本
9月27日	他職種連携及び摂食嚥下講演会	土浦市うらら生涯学習センター	鈴木由
9月28日	接遇・コミュニケーション技術向上研修会	茨城県総合福祉会館	中島・高橋
10月8日	安全運転管理者研修	土浦市民会館	山本
10月16日	リーダー研修	法人本部	水貝
11月14日	高齢者福祉施設での栄養ケアの進め方	茨城県総合福祉会館	岡田

11月20日	新人研修③	法人本部	中島
12月7日	職場におけるストレスとメンタルヘルス不調について	新治地区公民館	高橋
12月22日	内部研修(ニコニコ献立・栄養士対象)	ふれあいセンターながみね	鈴木陽
1月19日	内部研修(看護師対象)	憩いの里	小島
2月21日	目で見える認知症ケア	土浦市亀城プラザ	山本
2月23日	内部研修(接遇)	法人本部	鈴木由・中嶋
3月15日	総合事業説明会	土浦市役所	山本

ながみね厨房業務

利用者にとって食事は日々の大きな楽しみであると同時に、健康を左右する大切な要素の一つである為、一人ひとりの嗜好と栄養状態にあった食事の提供に努めた。その中で季節感を大切に、利用者に喜ばれるメニュー作りを心掛けた。また、選択食の実施やおやつ作りなどを通して選ぶ楽しみ、作る楽しみを体感して食への関心を持つ手助けをしていく。

1. 栄養所要量

	栄養所要量								
	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	脂質 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミンB1 (mg)	ビタミンB2 (mg)	ビタミンC (mg)	食塩 (g)
4月	681	27.3	18.2	176	4.4	0.39	0.43	53	4.2
5月	696	29	18.5	196	4.6	0.4	0.45	57	4.4
6月	687	28	17.4	158	4.1	0.4	0.39	45	4.2
7月	676	27.3	16.9	188	4.3	0.36	0.41	42	4.7
8月	685	28.4	18.6	180	4.5	0.39	0.45	44	4.4
9月	681	28.2	16.8	190	4.3	0.38	0.43	45	4.5
10月	687	28.1	17.4	182	4.6	0.39	0.42	48	4.4
11月	695	28.2	17.7	182	4.3	0.38	0.43	50	4.4
12月	688	28.5	16.9	169	4.3	0.37	0.42	47	4.5
1月	697	28.4	17.3	206	4.7	0.38	0.45	54	4.5
2月	682	27.3	17.5	170	4	0.35	0.43	48	4.6
3月	690	27.7	17	182	4.4	0.36	0.43	51	4.3
平均	687	28.0	17.5	182	4.4	0.38	0.43	49	4.4

2. 食事提供状況

(1) 食数

平成26年度	
デイ利用者	3595
職員	714
お弁当(500円)	116
おにぎり(100円)	292
実習生	8
新人研修弁当	27
ケアマネジャー食事会	9
他(付添, 体験利用者)	9

平成27年度	
デイ利用者	4366
職員	887
お弁当(500円)	368
おにぎり(100円)	540
実習生	3
延長(夕食)	6
ケアマネジャー食事会	0
他(付添, 体験利用者)	28

(2) 毎食時の検食実施(検食簿記入)

利用者の視点で、主食・副食の分量や味付け、加熱状況などが適切となっているか多業種の職員がチェックすることで、検食等の内容をもとに調理法など、より良い提供ができるよう努めた。

検食者名	主食	分量	多い	普通	少ない
		炊き方	硬い	普通	柔らかい
献立	副食	分量	多い	普通	少ない
		味付け	濃い	普通	薄い
		盛り付け	良い	普通	悪い
		加熱状態	高い	普通	低い
	異物混入	ある()		ない	
	異味・異臭	ある()		ない	
	所見				

(3) 行事食

誕生会や季節の行事には出来るだけ手作りにこだわり、メニューを作成した。旬の物を使用し、季節を感じてもらえるよう心掛けた。また、おやつ作りではホットプレートを使い、目の前でできたてを食べたりトッピングやデコレーションで自分だけのおやつを楽しんだ。

行事名	誕生会	おやつ作り	その他	おやつ教室
4月	献立 1日(水)赤飯 いちごマフィン 3日(金)筍ご飯 スポンジケーキ 14日(火)桜おこわ ヨーグルトムースケーキ	10日(金)桜饅頭 15日(水)カップケーキ	2日(木)お花見弁当	15日(水)カップケーキ 21日(火)スティックパイ
5月	献立 20日(水)筍ご飯 オレンジケーキ	5日(火)こいのぼりロール		21日(木)黒ゴマスティック 26日(火)りんごパイ
6月	献立 10日(水)赤飯 ヨーグルトケーキ 26日(金)鮭ご飯 桃のムースケーキ	16日(火)八橋	12日(金)17日(水)外食会	24日(水)フルーツケーキ 27日(土)おからケーキ
7月	献立 14日(火)ちらし寿司 フルーツケーキ 18日(土)選択食 フルーツケーキ	26日(日)鈴カステラ		10日(金)チョコバナナ 23日(木)ホットケーキ
8月	献立 9日(日)わかめご飯 レモンケーキ 22日(土)赤飯 スポンジケーキ 29日(日)梅干しと枝豆の混ぜご飯 パインケーキ	8日(土)12日(水)13日(木)14日(金) かき氷	8日(土)夏祭り	15日(土)フルーツヨーグルト 25日(火)おやき
9月	献立 4日(金)赤飯 フルーツケーキ 10日(木)赤飯 マロンケーキ	23日(水)紅白まんじゅう 24日(木)紅白まんじゅう	23日(水)~27日(日)敬老週間	3日(木)りんごパイ 19日(土)どらやき
10月	献立 10日(土)赤飯 りんごケーキ	2日(金)ホットケーキ		22日(木)あんまん 28日(水)おからクッキー
11月	献立 6日(金)赤飯 桃のムースケーキ 7日(土)山菜おこわ りんごケーキ		8日(日)10日(火)11日(水)12日(木)14日(土) 外食会	20日(金)フレンチトースト 25日(水)ほかほかせんべい
12月	献立 5日(土)えのきご飯 シフォンケーキ 10日(木)赤飯 カップケーキ	24日(木)25日(金)クリスマスケーキ	26日(土)餅つき 24日(木)25日(金)クリスマス会	12日(土)おしるこ 17日(木)チョコバナナ
1月	献立 7日(木)桜おこわ デザート3種盛り 9日(土)赤飯 デザート3種盛り 29日(金)ひじきご飯 デザート3種盛り	20日(火)たこ焼き		21日(木)鈴カステラ 26日(火)チーズケーキ
2月	献立 2日(火)赤飯 スポンジケーキ 3日(水)いなり寿司 抹茶パウンドケーキ 19日(金)赤飯 ヨーグルトケーキ	5日(金)6日(土)クレープ	3日(水)節分	10日(水)バナナと豆腐のカップケーキ 25日(木)あんみつ
3月	献立 5日(土)山菜おこわ 桃のムースケーキ 23日(水)豆ご飯 桃のムースケーキ 26日(土)桜おこわ いちごのロールケーキ	3日(木)桜もち	3日(木)雛祭り	7日(火)さつまいものおやき 16日(水)焼き大福

(4) 選択食

選択食は、自分で選ぶことの楽しさが利用者の食欲に結びついていると考えられる。聞き取りを行なう上で、利用者とコミュニケーションを図りながら、食事の摂取状況や嗜好の再確認を行う事も出来た。

日時	4/22(水)		5/14(木)	
献立	ご飯 ①酒の甘酢あんかけ ごぼうと白滝の炒り煮 キャベツとツナのサラダ 味噌汁 フルーツ	②チキンロール	ご飯 ①メバルの蒲焼風 筍とふきの土佐煮 人参とツナのサラダ 味噌汁 フルーツ	②豚肉の梅ロール焼き
日時	6/19(金)		7/18(土)	
献立	ご飯 ①白身魚のムニエル風 五目金平 さつま芋サラダ 味噌汁 フルーツ	②野菜たっぷり豚しゃぶ	ご飯 ①茄子のはさみ揚げ 炊き合わせ もずく酢 味噌汁 フルーツ	②豚肉のいんげん巻
日時	8/12(水)		9/17(木)	
献立	ご飯 ①アジフライ 南瓜のサラダ ピーマンの炒め物 味噌汁 フルーツ	②チャーシュー	ご飯 ①豚肉の梅ロール焼き お煮しめ 小松菜のおひたし	②白身魚ときのこのホイル蒸し
日時	10/16(金)		11/28(土)	
献立	ご飯 ①ししゃもの天ぷら 里芋と竹輪の煮物 かぶの梅肉和え のっぺい汁 フルーツ	②信田煮	ご飯 ①蓮根のつくね焼き タラモサラダ 高野豆腐の卵とじ 清まし汁 フルーツ	②鮭のチャンチャ焼き
日時	12/16(水)		1/27(水)	
献立	ご飯 ①ブリの照り焼き 山芋のホクホクサラダ ひじきの炒め煮 味噌汁 フルーツ	②鶏肉のレモン醤油焼き	ご飯 ①和風ロール白菜 生揚げの揚げ出し風 浅漬け 味噌汁 フルーツ	②アジの蒲焼
日時	2/18(木)		3/25(金)	
献立	ご飯 ①鮭のチャンチャ焼き 卵の花炒り 人参の胡麻和え 味噌汁 フルーツ	②とんかつ	①ごぼうたっぷり牛丼 ひじきともやしのナムル かぶのかにかまあん 清まし汁 フルーツ	②春野菜のかき揚げ丼

3. 衛生管理

- (1) 検便 毎月実施 新規採用者は入職前に必ず検査する
- (2) 食品の中心温度の測定の実施(測定結果は給食日誌に記入)
- (3) 原材料及び検食の冷凍保存の実施(14日間)
- (4) 害虫駆除の実施 平成24年5月28日から(株)ダスキンによる害虫駆除の実施及び発生状況の確認 年4回実施
- (5) 厨房内の定期的な清掃の実施(自己衛生管理表に記入)
- (6) 包丁・まな板・調理台・水槽の使い分けの徹底、時間・温度の管理
- (7) 自主点検表による白衣、爪、指輪、マニキュアの有無、手指の傷の有無、下痢・腹痛等の体調不良のチェック
- (8) 食材の定期的な放射性物質測定を毎月実施
- (9) 厨房外下水清掃を毎月実施

4.売り上げ・食材仕入れ額

9月より生鮮食を扱う業者を増やし、地元の野菜を安く仕入れることが出来る様になった。冷凍品や加工品が値上がりするなか、新鮮で安い地元の食材をうまく活用していく。

5. 嗜好調査の実施

2月に利用者や家族にアンケートを実施。また、介護職員・看護職員と連携し、利用者からの要望を聞き取り、食事の様子を厨房職員も一緒に観察することで嗜好を把握した。

平成28年3月 利用者・家族アンケート集計結果

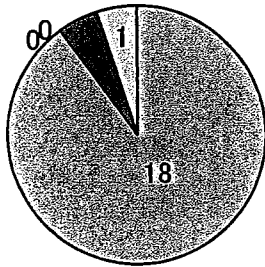
2月1日付で封筒にアンケート用紙を入れ、原則、ご家族の方に直接手渡し、ご家族不在の方には連絡ノートに入れたり、郵便受けに入れ対応し、2月中に持参してもらえようとしたが、お仕事をしておられるご家族も増えたせいか、回収率は思わしくなかった。

配布総数 43枚、返却枚数 20枚、有効回答数 20枚、回収率 46.5%

☆送迎サービスについては満足されていますか？
(送迎時間や乗車場所、介護方法など)

1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	無記入
18	0	0	1	1

送迎サービスについて



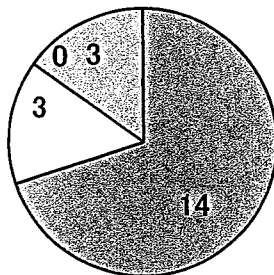
- 1. 満足
- 2. やや満足
- 3. やや不満
- 4. 不満
- 無記入

・毎回明るく迎えていただき、車に乗った途端、元気に過ごせます。
・送迎時間が決まっていない。
・送迎時間に若干のずれがあるも渋滞などの原因でやむを得ないと思います。

☆入浴サービスについて満足されていますか？
(入浴時間や雰囲気、介護方法などにおいて)

1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	無記入
14	3	0	0	3

入浴サービスについて



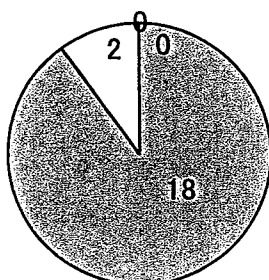
- 1. 満足
- 2. やや満足
- 3. やや不満
- 4. 不満
- 無記入

・在宅では入浴困難なので、大変助かっています。
・脱衣所、浴室、洗い場すべて満足しています。

☆職員の対応は適切でしょうか？
(挨拶や対応の際の言葉遣いや態度について)

1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	無記入
18	2	0	0	0

職員の対応について



- 1. 満足
- 2. やや満足
- 3. やや不満
- 4. 不満
- 無記入

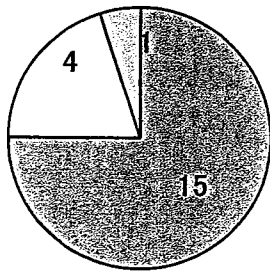
感じが良く、温かさを感じます。職員全員が優しく適切な対応で接してくれるので感謝しています。

☆不満や要望を職員に気軽に伝えられていますか？

1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	無記入
15	4	0	0	1

不満や要望を伝えられていますか？

・話しやすく思います。・遠慮せず伝えていますが、そして気持ちよく応接してくれています。



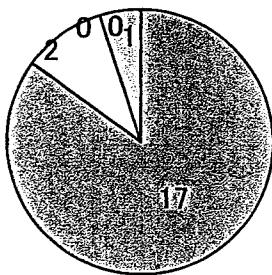
- 1. 満足
- 2. やや満足
- 3. やや不満
- 4. 不満
- 無記入

☆要望や意向などは、すぐに対応できていますか？

1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	無記入
17	2	0	0	1

要望や意向などの対応について

・快く受け答えして下さいます。・遠慮せず伝えていますが、そして気持ちよく応接してくれています。



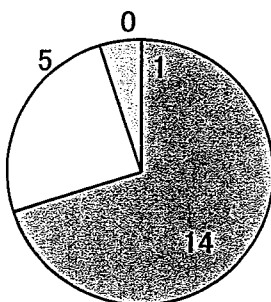
- 1. 満足
- 2. やや満足
- 3. やや不満
- 4. 不満
- 無記入

☆排泄に対するサービスは満足ですか？
(プライバシーや介護方法)

1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	無記入
14	5	0	0	1

排泄サービスについて

・トイレがとても綺麗で掃除が行き届いています。・できる限りできることはしていただくという方針のようです、引き続きお願いします。・ウォシュレットが出ない時がある。・過去にパットがしっかりと当たっていない時があった。

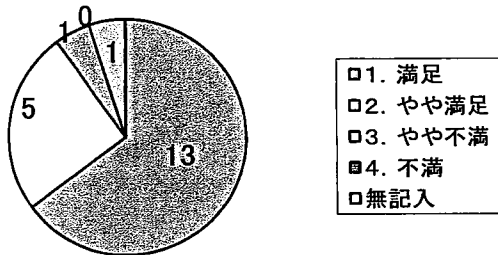


- 1. 満足
- 2. やや満足
- 3. やや不満
- 4. 不満
- 無記入

☆レクリエーションや行事の内容には満足されていますか？
(希望に沿っているか、楽しめるか)

1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	無記入
13	5	1	0	1

レクリエーションや行事の内容
について

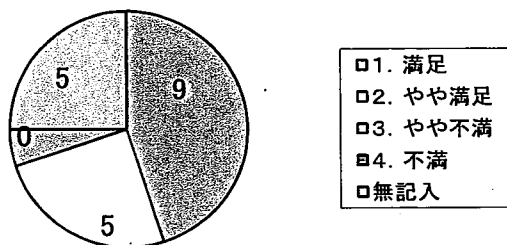


本人喜んでいるので、今後もお願いします。まだ慣れない部分もありますが、満足できると思います。
・連絡ノートに当日の行事内容や動向などが記載されておりわかりやすく良い。
・マンネリ化しないようにお願いします。

☆機能訓練(リハビリ)の内容には満足されていますか？

1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	無記入
9	5	1	0	5

機能訓練の内容
について



大変役に立っております。今まで通りにお願いします。リハビリの一日の個人のメニュー作ってくれたらうれしい。
・下半身を重点的に行なってほしい。

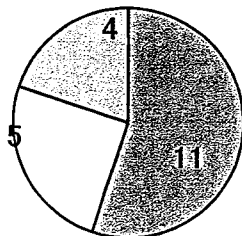
外食会や外出レクリエーションで行きたいところやお勧めの場所などご存知でしたらご記入ください。

・ながみねのお弁当を持って皆さんとお花見がしたい。
・うちは体力的に、無理かと思えます。
・春を教えてくれる物なら興味がわきます。付き添い職員がいるのなら、全て参加します。
・現状にとっても満足しています。

☆余暇の時間の過ごし方はいかがでしょう？
 (入浴を待っている時間やおやつ後の時間など)

1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	無記入
11	5	0	0	4

余暇の時間の過ごし方
 について



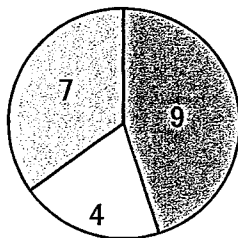
- 1. 満足
- 2. やや満足
- 3. やや不満
- 4. 不満
- 無記入

・昼食後のコーヒーを歯磨き前にいただきたい。
 脳の活性化の為、会話の時間を増やしていただきたい。

☆食事やおやつの内容・量・形態はいかがでしょう？

1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	無記入
9	4	0	0	7

食事やおやつの内容・量・形態
 について

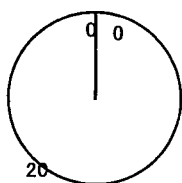


- 1. 満足
- 2. やや満足
- 3. やや不満
- 4. 不満
- 無記入

・御飯の炊き方

1. 硬い	2. 普通	3. 柔らかい	4. 無記入
0	20	0	0

御飯の炊き方

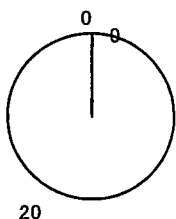


- 1. 硬い
- 2. 普通
- 3. 柔らかい
- 4. 無記入

・味噌汁の味付け

1. 濃い	2. 調度良い	3. 薄い	4. 無記入
0	20	0	0

味噌汁の味付け

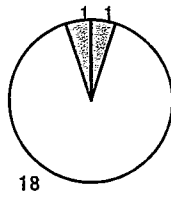


- 1. 濃い
- 2. 調度良い
- 3. 薄い
- 4. 無記入

・おかずの味付け

1. 濃い	2. 調度良い	3. 薄い	4. 無記入
1	18	1	0

おかずの味付け

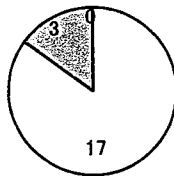


- 1. 濃い
- 2. 調度良い
- 3. 薄い
- 4. 無記入

・おかずの量

1. 多い	2. 普通	3. 少ない	4. 無記入
0	17	3	0

おかずの量

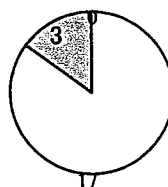


- 1. 多い
- 2. 普通
- 3. 少ない
- 4. 無記入

・おやつ

1. 多い	2. 普通	3. 少ない	4. 無記入
0	17	3	0

おやつ



- 1. 多い
- 2. 普通
- 3. 少ない
- 4. 無記入

・その他、食事形態や今後献立に取り入れてもらいたい食事やおやつがありましたらご記入下さい。

本人に合った形で提供していただき助かってます。・昔懐かしい食べ物を食べながら語りたい。・年をとっても肉類は食べたほうが良いと聞きます、家では魚・野菜が中心になってしまうので、肉料理を増やしてほしい。(特に豚肉料理)・食事、おやつ共に現状通りでお願いします。・咀嚼回数の増える食材を使ってほしい。・いつもおでんの時小皿だが大皿でメインメニューにしてほしい。

☆その他(御要望などありましたらご記入下さい。)

今後とも介護についてアドバイスいただけましたら助かります。学校と連携した企画などあったら、子供たちと触れ合えてうれしい。・月曜日が営業になってくれると、助かる。・今時利用料金の支払いで口座引き落としがしないのは不便。・DSノートの家族欄にデイでの様子が書かれているのを、読むのがとても楽しみです。毎日毎日の生活が家での状況と違い、本人にとって同年代の方々との交流が刺激になってくれればと願っています。認知症により、理解ができなくても出来なくても楽しい一日を過ごせていて幸せだと思います。

平成27年度 土浦市ふれあいセンターながみね事業報告書

1 運営

平成23年度に土浦市から指定管理者として運営を受託し、「市民の福祉の増進を図るとともに世代間交流を支援し、広く福祉の向上に資する」ことの実現をめざし5年目の運営に取り組んだ。

指定期間の最終年度として、これまでの5年間を総括し、課題や問題点を市に報告し、新たな指定管理受託期間につなげていくことを目標とした。

経営面においては、昨年度に引き続き単年度黒字を達成することができた。運営初期の手さぐり状態を脱し、自信をもってさまざまな課題に取り組むことができるようになったと実感している。初期投資を回収し、次の5年間で累積損失を解消できるよう積み上げていく必要がある。

一方で、黒字化を目指す中で、人件費を抑えることに目が向いてしまい、サービスの向上に手がまわらなくなってしまっていたと反省している。日常の業務をこなし、「あたりまえのことをあたりまえに継続していく」だけでなく、地域の福祉の拠点としての役割を、より積極的に果たしていきたい。そのためにも、デイサービスと連携するなかで、単純に人員を増やすだけではなく、より効率的な運用に努め、増加する人件費以上のサービスの向上に努めていきたい。

施設の性格上利用者の増加が収益には結びつきにくく、水光熱費の単価の増大などから、厳しい状況は変わっていない。経費削減を大きな目標に掲げ、継続して安定した運営が可能になるよう努めた。水・光熱費など、大きな部分の削減は一段落し、経営状態の安定に資することができた。今後も、事務費などの見直しを継続し、利用者に不便を感じさせない範囲での経費削減を継続していく。

また、今年度で開館から12年目を迎えたが、建物・設備の維持・修繕について今後さらに問題が出てくるものと思われる。市の財政状況も厳しい折ではあるが、必要なもの・なくても対処できるものを適切に弁別し、担当課と相談しながら必要な修繕を実施していく必要がある。

(1) 職員配置状況

① 祥風会

管理者・・・・・・・・山本 賢太郎

管理職員・・・・・・・・篠崎 加代子、北島 きよ子、高橋 佑次、河田 坦

② 業務委託

浴室・プール管理、機械設備管理、清掃業務、受付業務・・・・・・(株) ビート

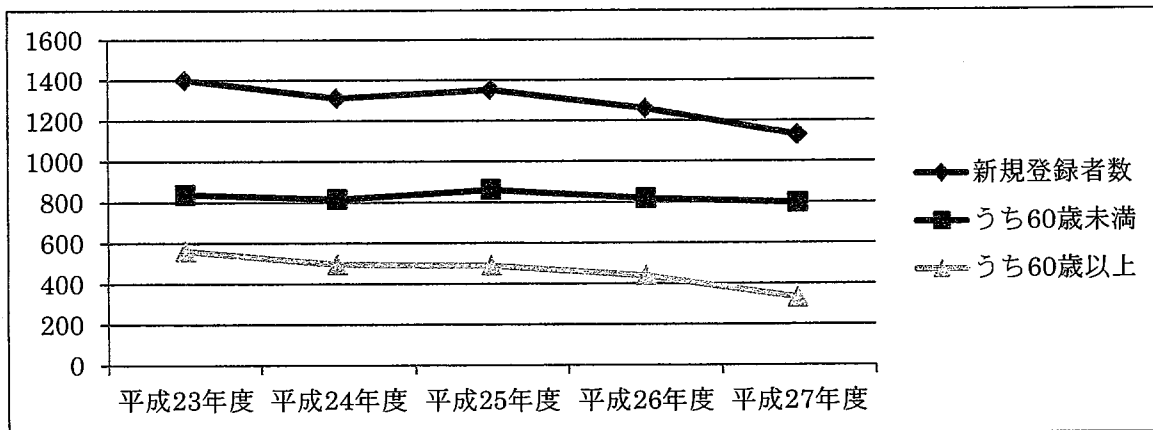
送迎バス運転業務・・・・・・(株) 荒川沖ハイヤー

(2) 市内利用者登録証の発行、プール・浴室、各部屋の利用状況

平成22年度から市内と市外の利用料金区分が変更されたことに伴い、市内の利用者については登録証を発行してきた。平成22年度は有効期限を1年としていたが、利用者の利便性と業務の効率化を考慮し、平成23年度からは3年に変更している。

新規登録者数の推移と年齢別の内訳は次ページの表のとおり。

新規利用登録者数の推移

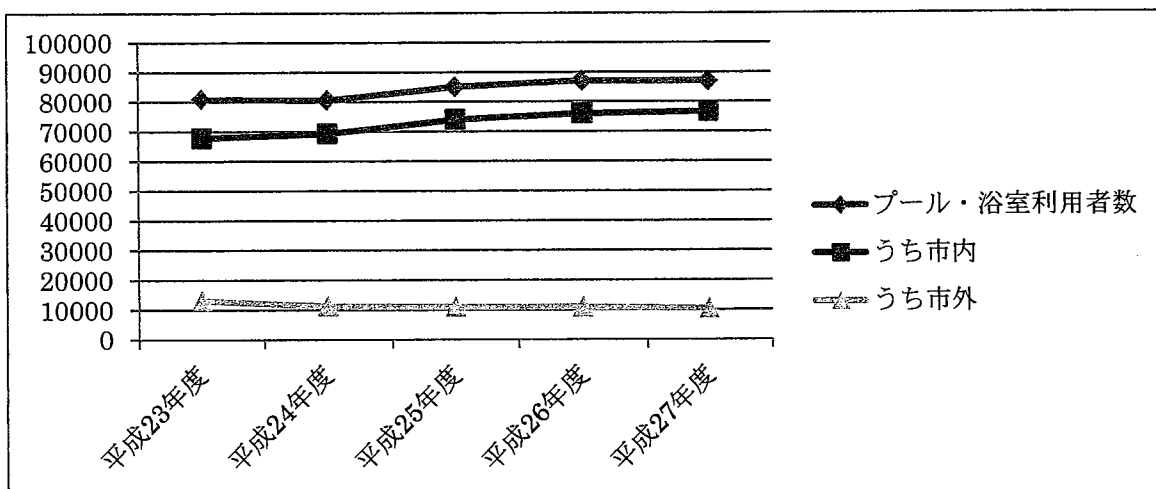


今年度の新規登録者数は、1,130名である。平成23年度比で80.7%と、平成26年度比で89.8%と減少が続いている。

月ごとにみると、今年度は8月から2月までの7ヶ月間にわたって前年割れが続いてしまった。平成28年2月9日に利用登録者10,000人を達成したことから、市報、茨城新聞、シニアふるさと通信に記事を掲載していただき施設の周知に努めた。その効果もあり、3月は前年度超えとなったが、この勢いが平成28年度につながっていくかは未知数である。

新規利用者獲得を目指した広報活動は拡大しているにも関わらず（上述した広報等への掲載や、夏祭りの際の土浦・つくばの児童館へのポスターの掲示、市民会館等の施設へのパンフレットの配布等）、新規登録者数は減少している。新規登録者数の減少が、ひいては利用者数の先細りにつながることは十分に考えられることから、さらなる周知活動に励む必要がある。

プール・浴室の利用者数の推移



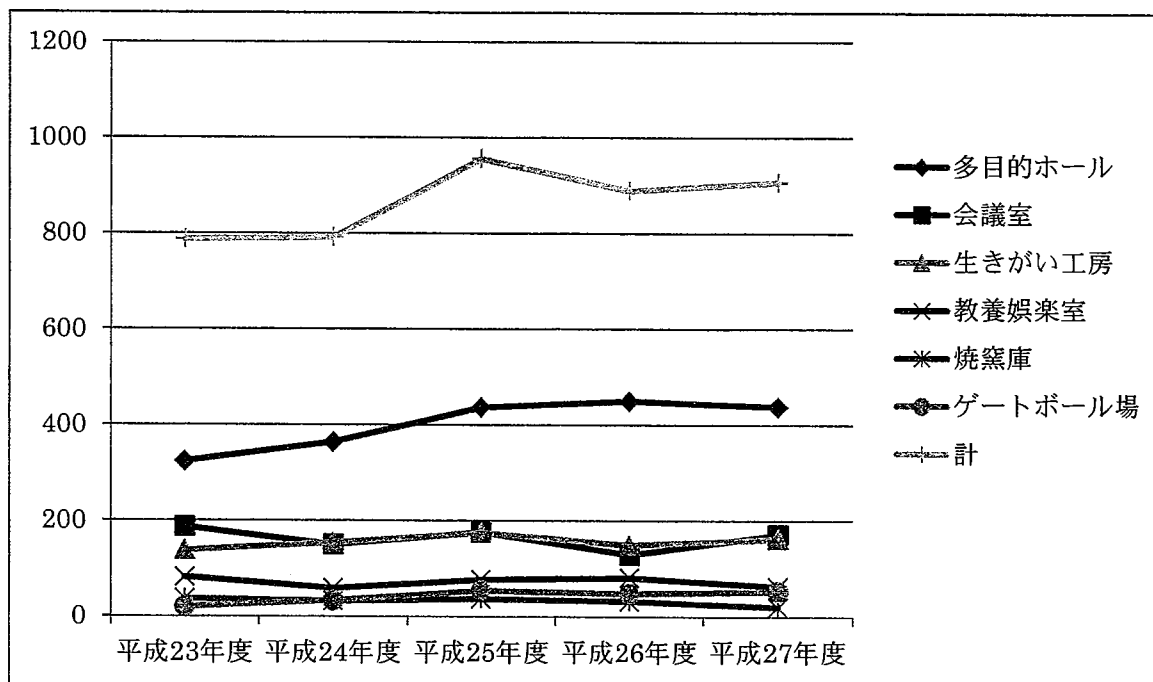
ふれあいセンターながみねの核となるプール・浴室については、平成23年度比で7.6%の増加となっているが、平成26年度比では±0.0%である。5年間の成果としてはそれなりに順調ともいえるが、先ほどの新規登録者の減少とあわせ、今後の課題となる。

市内利用者は増加し続けているが、対照的に市外利用者は減少し続けている。これは収入減にも繋がっており、つくば市との境に立地していることも踏まえ、引き続き市内外問わず、近隣の方々に施設の良さを知っていただけるようアピールしていく必要がある。

来年度は水郷プールが再開することから、夏季の利用者減少が想定される。子供の利用者が少なくな

ると、施設全体の活気もなくなることから、それ以外の季節の、子供連れの家族の利用者の増加につながる対策が必要である。

各部屋の利用回数の推移



各部屋の利用状況としては、平成 23 年度比で 15.1%の増加、平成 26 年度比で 2.0%の増加になっている。

なお、趣味室は、来館された方が自由に囲碁や将棋を行うことで交流の場となっており、ほぼ毎日利用されている。焼窯庫については 1 団体のみ利用となっており、市の施設として幅広い方々に利用していただけるよう検討していくことが必要である。ガス窯であることが手軽な利用を阻害している面もあり、中長期的には、電気窯への変更を考慮していくべきとも考えられる。

部屋の利用が増え、市民の福祉の増進につながることはたいへん意義深いことではあるが、多目的ホール以外は無料となっており、安定した運営のためにも適切な受益者負担が必要であると考えられる。

(3) 「ふれあい」の場として

併設されているデイサービスと合同で夏祭りを開催するなど、デイサービスでの活動を知っていただく機会を設けた。利用者の増加に十分に繋がっているとは言えず、今後も各種行事を施設一体となって企画し、多くの方に参加してもらえるように取り組んでいく。また、福祉活動団体の利用促進や介護教室などへの取り組みは不十分であった。平成 28 年度は、職員体制を充実させることにより、具体的に形にしていきたい。

中庭の花壇整備や、イルミネーションの設置（11月下旬～2月中旬）などは変わらず好評であった。特に、イルミネーションについては、職員それぞれのアイデアを持ち寄って土浦市のマスコットキャラクター「つちまる」のイルミネーションを手作りし、市のホームページに掲載していただくなど、施設の取り組みが市民への周知につながるよう心がけた。今後も、繰り返し訪れたい施設、他の人に紹介したくなる施設となるよう努力をしていく。

(4) 浴槽・プール等の衛生管理

センターの主設備である浴槽・プールは運営上重要な位置づけであり、利用者の方が多く利用する設備である。ながみねではレジオネラ属菌の検査を基準以上の回数実施するなど、水質の管理、清掃の徹底等で利用者が安全に利用できる施設として衛生管理に努めている。

- ・受水槽、貯湯槽清掃（8月24日）
- ・土浦保健所定期立入検査（2月12日）

違反や指導を受けた点はなし。15mプールの過マンガン酸カリウム消費量が高値であり、対応が必要ではないかとの指摘があった。市にも報告書を提出し、対症療法として換水頻度を増やすとともに、抜本的な対策について相談をしていくこととする。

(5) 運営における安全確保

祥風会が運営するようになった当初に防犯カメラを設置した。不特定多数の方が利用する公共施設であり、犯罪抑止効果、また職員が安心して働ける環境という点でも大きく寄与している。今年度も、館内で遺失物横領があったが、防犯カメラのデータを警察に提供し、解決に繋げることができた。

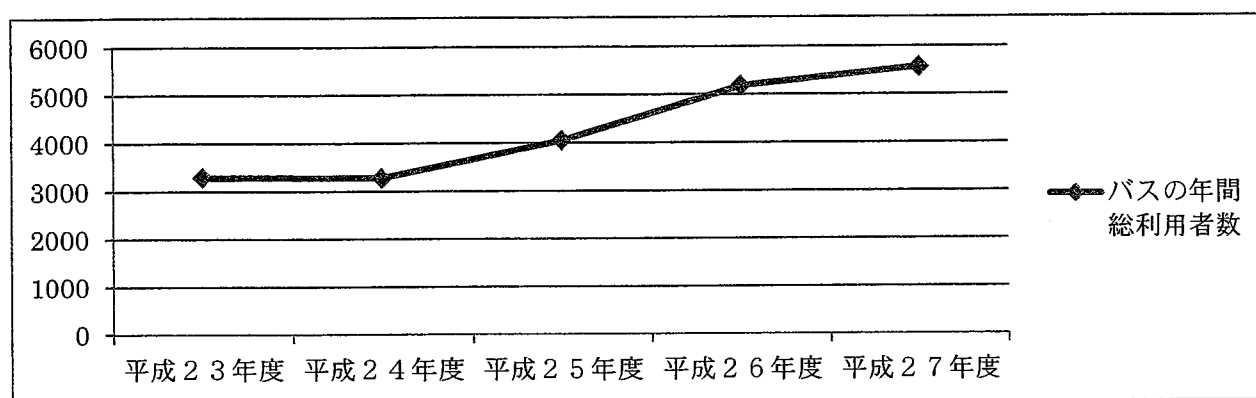
営業時間中は定期巡回を行い、防犯・防火に努めた。営業時間外は、機械による自動警備を行っている。

(6) バスによる団体送迎、定期巡回（乙戸地区：日・水・金 中村地区：火・木・土）

団体送迎は主に高齢者クラブが利用し、定期巡回バスでは乙戸地区の利用が多く、荒川沖西口での乗降がながみねに次いで多い。

定期巡回バスについては、利用者数が多いとは言えないが、公共交通機関も限られているなかで、必要な方にとっては欠かせないながみねまでの足となっている。ながみねを訪れるためのバスであるにも関わらず、荒川沖駅に通うために利用するなど、問題のある利用をされている方もおり、地域の交通のあり方も含め、市と今後の定期巡回バスの運用について引き続き協議していく必要がある。

定期巡回バス利用者数の推移



利用者数は伸びており、一定の需要があることは間違いない。しかし、平成27年度の総利用者が5,574人であることから、

$$5,574 \text{ (人)} \div 308 \text{ (営業日数)} \div 3 \text{ (1日の便数)} = 6.0 \text{ (人/便)}$$

と、1便の運行で6人の利用しかないとわかる。バスの運行目的を市と共有し、適切に運用していく。

- ・バス3カ月点検 4月、7月、1月
- ・バス車検 10月

(7) 他施設との連携

定期的な他の福祉センターとの会議を行うことによりお互いの問題を共通の課題として認識することができた。

同じ利用者が複数の福祉センターで問題となっていることも少なからずあり、情報の共有をはかることで、不安が解消され、安心して対応することができるようになった。今後も、他福祉センターはもちろん、高齢福祉課、警察、保健所等各機関と連携をはかり続ける必要がある。

(8) デイサービスとの連携

デイサービスとの一体運営ということで、特にデイサービス看護師との連携によって、体調不良者（湯あたり等）への対応を迅速かつ適切に行うことができた。デイサービス終了後は、体調不良者や付添い者の意向を踏まえつつ、早急な救急対応に努めた。

また、夏祭りや餅つき大会の共催により、互いの利用者の交流や、施設を知ってもらうことができた。来年度は、祥風会のふれあいセンター職員を拡充することから、より効率的な人員運用に努めたい。

(9) 委託業者との連携

機械設備、プール・浴室管理、清掃の業務委託を一括して（株）ビートに委託をしている。日常的な報告・連絡・相談はもちろんであるが、月1回の定期会議を実施することにより、連携の強化をすることができた。各部署の連携もスムーズであり、利用者の満足度を高めることができるよう、引き続きサービスの向上に努めていく。

- ・ CPR講習実施（6月22日）

(10) 経費削減の実施

運用にかかる水・光熱費は支出全体の1/3ほどを占めている。今年度は、水道使用量で対前年度比10.1%減（カランをオートストップ型に変更したことなどによる）、電気使用量は、対前年度比5.7%減（閉館時、必要ない予備モーターを停止したことなどによる）と節減を達成することができた。昨年度も一昨年度比で水道が約10%、電気が約8%の節減をしているが、経費削減の取り組みには限界があり、サービスの低下も招きかねない。

引き続き、十分な成果が見込めるときは、支出を伴う経費削減案も実行していくが、サービスの向上とバランスを取れるよう配慮していく。

2. 施設建物及び設備等の維持管理

(1) 建物

市との連携のもと、利用者が安心して過ごせるよう異常の早期発見、異常時の修繕に努めた。開館12年過ぎ、経年劣化も目立ってきている。ウッドデッキは、職員が、腐った土台から順次修繕を行っているが、職員の手で行うことには限界もあり、業者に依頼しての抜本的な修繕や、撤去についても検討する必要がある。

- ・ウッドデッキ修繕（7月25日）

(2) 消防設備等の保守点検

- ・消防機器点検（8月10日）
- ・自衛消防訓練実施（10月30日）
- ・消防設備点検（2月22日）

(3) 電気設備

- ・電気工作物点検（毎月）
- ・自家用電気工作物年次点検（11月28日）

(4) 機械日常管理業務（委託）

業務委託者と常日頃から連携をとり、運営に支障がないよう設備機器について日常的に点検、清掃を行い、安全かつ快適に利用できる環境の提供を心掛けたが、開館から12年が経ち設備の老朽化や以前より続くお湯の逆流の影響等により配管の水漏れの修繕が必要となった。特に、補給水配管は、お湯の逆流により配管そのものが歪んだり亀裂が入ったりすることにより、漏水が繰り返されてしまっており、そのたびに、配管をお湯に耐えうるものに変えながら修繕を繰り返し、主要な箇所については安心して運用できる環境になったといえる。

- ・アメニティプール配管洗浄（7月28日）
- ・15mプール配管洗浄（7月21日）
- ・地下補給水配管修繕（12月28日）
- ・貯湯槽圧力弁交換修繕（1月11日）
- ・地下補給水配管修繕（3月）

(5) 地下燃料タンクの保守管理

今年度は、熱交換器の不良もなく、重油の使用は、清掃センターの電気点検時のみであった。法定点検も下記のとおり適正に実施している。

- ・重油タンク漏洩検査（11月30日）
- ・消防署による立ち入り検査（3月7日）

3. 自主事業

(1) 講座の開催

委託業者であるビートと共同で講座を開催した。

講座をきっかけにふれあいセンターを知ったという方も多く、市報への情報の掲載などによって施設の周知につなげることができた。今後も利用者のニーズを探りながら、ふれあいの場の提供ができるように検討していく。

講座の参加人数は次ページの表のとおり。

講座参加延べ利用者数（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
健康体操	28	27	29	25		38	44	23	14	38	27	29	322
ほぐしヨガ	37	32	36	36									141
骨盤体操	40	32	37	27		48	52	43	10	35	29	31	384
カラダが変わるヨガA	41	26	33	34		28	40	30	8	24	13	26	303
カラダが変わるヨガB	27	15	18	11		39	47	41	9	38	20	35	300
水中ウォーキング	52	77	62			67	83	65	17	45	47	44	559
水中ウォーキングプラス	75	70	69			76	86	69	17	53	52	54	621
書道教室A	11	10	12	14		13	16	13	11	13	11	9	133
書道教室B	16	14	16	16		17	15	16	14	17	14	17	172
英会話教室（低学年）	38	62	48	41	29	43	44	37	40	40	40	24	486
英会話教室（高学年）	12	20	15	15	11	16	16	15	16	15	15	11	177
ケーナ入門	17	18	20	18		17	16	16	15	16	16	17	186
計	394	403	395	237	40	402	459	368	171	334	284	297	3,784

(2) 野菜販売

委託会社ビートにより、受付脇で野菜の販売を行った。朝採れたてのものや、市場で仕入れたばかりのものを、B級品を中心に取り揃えて販売した。見た目は不揃いであったりしても、味に変わりはなく、安くておいしい野菜を購入できるとたいへん好評であった。

4. 経営について

水道費用の節減などの効果により、今年度も単年での黒字化を実現できた。

しかし、昨年度の事業報告書の繰り返しになるが、利用者ひとりの平均利用料と、水道使用料（年間水道利用料金÷年間総利用者数）があまり変わらないという状況に変わりはない。利用者が増えれば増えるほどセンターの利益が増大するという単純であたりまえの図式が成り立ってこそ、経営努力には意味がある。今後も、経費の節減に努めていくことはもちろんであるが、当施設が市民のふれあいの場であり続けるためにも、受益者が適正な負担をする必要があることなどを市に諮り、体質改善に努めていきたい。

また、来年度からは、隣接する清掃センターの炉の改修工事が始まる。高齢福祉課、環境衛生課、そして清掃センターとも情報の共有に努めているが、未知数の部分も大きい。さらなる経費負担の増大や、利用者への影響も見込まれることから、特にサービスの低下が起こらないよう先回りの対応を心がけていく。

指定管理者選定委員会を経て、平成28年度～平成32年度も、社会福祉法人祥風会が指定管理者として

ふれあいセンターながみねの運営を担うこととなった。まずは、利用者目線に立って、サービスの質の向上に努めるとともに、ふれあいセンターがひとつの事業所として安定した経営ができるよう、これからの5年、そして10年先の展望を描きながら日々の運営に臨んでいきたい。